



令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事

金抜設計書

工事番号 2025060700

工事名 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事

施工場所 加東市下滝野761番地（加東市立滝野中学校）ほか

兵庫県 加東市

建築工事 前半 科目別内訳

① 校舎棟 小学校(補助金対象)						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
鉄骨		1		式		
既製コンクリート		1		式		
防水		1		式		
石		1		式		
タイル		1		式		
木工		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ネット及びその他		1		式		
	計					

建築工事 前半 科目別内訳

① 校舎棟 中学校(補助金対象外)						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
鉄骨		1		式		
防水		1		式		
木工		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ネット及びその他		1		式		
	計					

⑥ 中学校教室棟						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
防水改修		1		式		
外壁改修		1		式		
建具改修		1		式		
内装改修		1		式		
耐震(躯体)改修		1		式		
環境配慮改修		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

⑦ 連絡通路棟						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
鉄骨		1		式		
既製コンクリート		1		式		
防水		1		式		
タイル		1		式		
木		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		

㉗ 連絡通路棟						
名	称	数	量	単位	金額	備考
塗装		1		式		
内外装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
撤去		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

㉘ E V棟						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
鉄骨		1		式		
既製コンクリート		1		式		
防水		1		式		
木		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
塗装		1		式		
内外装		1		式		

㊸ 駐輪場								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接仮設			1	式				
土工			1	式				
地業			1	式				
鉄筋			1	式				
コンクリート			1	式				
型枠			1	式				
鉄骨			1	式				
防水			1	式				
屋根及びとい			1	式				
金属			1	式				
左官			1	式				
塗装			1	式				
ネット及びその他			1	式				
発生材処理			1	式				
	計							

㊸ 部室棟								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接仮設			1	式				
土工			1	式				
地業			1	式				
鉄筋			1	式				
コンクリート			1	式				
型枠			1	式				
既製コンクリート			1	式				
防水			1	式				
タイル			1	式				
木			1	式				
屋根及びとい			1	式				
金属			1	式				
左官			1	式				
建具			1	式				
塗装			1	式				

⑬ とりこわし								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
大階段	とりこわし		1	式				
E V棟	とりこわし		1	式				
体育館棟	とりこわし		1	式				
体育館倉庫棟	とりこわし		1	式				
渡り廊下2	とりこわし		1	式				
渡り廊下3	とりこわし		1	式				
駐輪場1	とりこわし		1	式				
駐輪場2	とりこわし		1	式				
駐輪場3	とりこわし		1	式				
仮駐輪1	とりこわし		1	式				
仮駐輪2	とりこわし		1	式				
外構	とりこわし		1	式				
	計							

増築校舎棟 共用(補助金対象按分)								
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
電灯設備			1	式				
動力設備			1	式				
雷保護設備			1	式				
受変電設備			1	式				
構内情報通信網設備			1	式				
構内交換設備			1	式				
情報表示設備			1	式				
映像・音響設備			1	式				
拡声設備			1	式				
誘導支援設備			1	式				
テレビ共同受信設備			1	式				
監視カメラ設備			1	式				
防犯・入退室管理設備			1	式				
火災報知設備			1	式				
	計							

設計概要

外部仕上表

1. 工事名称	令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事	13. 面積	イ. 建築面積 本工事部分 5303.82 m ² 本工事以外の部分 3324.39 m ² (合計) 8628.21 m ² 建ぺい率 17.05%																																																											
2. 主要用途	小学校・中学校	ロ. 延べ面積	本工事部分 12377.68 m ² 本工事以外の部分 6579.79 m ² (合計) 18953.46 m ²																																																											
3. 敷地位置	兵庫県加東市下滝野761番地ほか	ハ. 自転車置場床面積	347.29 m ²																																																											
4. 工事種別	増築	ニ. エレベーター昇降床面積	104.81 m ²																																																											
5. 区域の指定	市街化調整区域(86年時点) → 市街化区域(88年3月予定)	ホ. 容積対象延べ面積	18501.36 m ² 容積率 36.56%																																																											
6. 用途地域の指定	指定なし(86年時点) → 第一種中高層住居専用地域(88年3月予定) 許容建ぺい率: 60% 許容容積率: 200%	ヘ. 各階面積表	<table border="1"> <tr> <th colspan="8">棟別各階床面積</th> </tr> <tr> <th>階</th> <th>①増築校舎</th> <th>②プール棟</th> <th>③マイクロス</th> <th>④体育倉庫</th> <th>⑤農具庫</th> <th>⑥仮設駐輪場(1)</th> <th>⑦仮設駐輪場(2)</th> <th>小計①</th> </tr> <tr> <td>3階</td> <td>497.55 m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>3193.48 m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>4393.06 m²</td> <td>199.10 m²</td> <td>0 m²</td> <td>9.12 m²</td> <td>2.73 m²</td> <td>45.66 m²</td> <td>136.98 m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11984.09 m²</td> <td>199.10 m²</td> <td>0 m²</td> <td>9.12 m²</td> <td>2.73 m²</td> <td>45.66 m²</td> <td>136.98 m²</td> <td>12377.68 m²</td> </tr> </table>							棟別各階床面積								階	①増築校舎	②プール棟	③マイクロス	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥仮設駐輪場(1)	⑦仮設駐輪場(2)	小計①	3階	497.55 m ²								2階	3193.48 m ²								1階	4393.06 m ²	199.10 m ²	0 m ²	9.12 m ²	2.73 m ²	45.66 m ²	136.98 m ²		計	11984.09 m ²	199.10 m ²	0 m ²	9.12 m ²	2.73 m ²	45.66 m ²	136.98 m ²	12377.68 m ²
棟別各階床面積																																																														
階	①増築校舎	②プール棟	③マイクロス	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥仮設駐輪場(1)	⑦仮設駐輪場(2)	小計①																																																						
3階	497.55 m ²																																																													
2階	3193.48 m ²																																																													
1階	4393.06 m ²	199.10 m ²	0 m ²	9.12 m ²	2.73 m ²	45.66 m ²	136.98 m ²																																																							
計	11984.09 m ²	199.10 m ²	0 m ²	9.12 m ²	2.73 m ²	45.66 m ²	136.98 m ²	12377.68 m ²																																																						
7. 防火地域の指定	指定なし(86年時点) → 法22条区域(88年3月予定)	※既存建物床面積	<table border="1"> <tr> <th>構造・階数</th> <th>中学校教室棟(EV棟舎)</th> <th>技術棟</th> <th>渡り廊下(1)</th> <th>危険物庫</th> <th>倉庫</th> <th>小計</th> </tr> <tr> <td>RC・4F(S・4F)</td> <td></td> <td>S・1F</td> <td>S・1F</td> <td>OB・1F</td> <td>S・1F</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>4134.22 m²</td> <td>450.00 m²</td> <td>50.00 m²</td> <td>3.99 m²</td> <td>25.20 m²</td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>1162.14 m²</td> <td>450.00 m²</td> <td>50.00 m²</td> <td>3.99 m²</td> <td>25.20 m²</td> <td></td> </tr> </table>							構造・階数	中学校教室棟(EV棟舎)	技術棟	渡り廊下(1)	危険物庫	倉庫	小計	RC・4F(S・4F)		S・1F	S・1F	OB・1F	S・1F		延床面積	4134.22 m ²	450.00 m ²	50.00 m ²	3.99 m ²	25.20 m ²		建築面積	1162.14 m ²	450.00 m ²	50.00 m ²	3.99 m ²	25.20 m ²																										
構造・階数	中学校教室棟(EV棟舎)	技術棟	渡り廊下(1)	危険物庫	倉庫	小計																																																								
RC・4F(S・4F)		S・1F	S・1F	OB・1F	S・1F																																																									
延床面積	4134.22 m ²	450.00 m ²	50.00 m ²	3.99 m ²	25.20 m ²																																																									
建築面積	1162.14 m ²	450.00 m ²	50.00 m ²	3.99 m ²	25.20 m ²																																																									
8. その他の地区、地域の指定	道路斜線制限: 1.5(20m)(86年時点) → 1.25(20m)(88年3月予定) 隣地斜線制限: 1.25(20m) 北側斜線: なし(86年時点) → 1.25(10m)(88年3月予定)	ロ. 前面道路市員	<ul style="list-style-type: none"> ・北側: 市道 5.8m(市道4070号) ・東側: 市道 7.5m(市道4074号) ・南側: 市道 11.0m(市道1205号河高下滝野線) ・西側: 市道 4.0m(市道4070号) 																																																											
9. その他の規制	なし	11. 構造・規模	<table border="1"> <tr> <th>構造・階数</th> <th>①増築校舎</th> <th>②プール棟</th> <th>③マイクロス乗降上屋</th> <th>④体育倉庫</th> <th>⑤農具庫</th> <th>⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)</th> <th>小計②</th> <th>合計(①+②)</th> </tr> <tr> <td>S・1F</td> <td></td> <td>S・1F</td> <td>S・1F</td> <td>S・1F</td> <td>S・1F</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>4.78 m²</td> <td>3.30 m²</td> <td>1.07 m²</td> <td>2.99 m²</td> <td>1.55 m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>4.78 m²</td> <td>3.30 m²</td> <td>1.07 m²</td> <td>2.99 m²</td> <td>1.55 m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							構造・階数	①増築校舎	②プール棟	③マイクロス乗降上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)	小計②	合計(①+②)	S・1F		S・1F	S・1F	S・1F	S・1F				1階	4.78 m ²	3.30 m ²	1.07 m ²	2.99 m ²	1.55 m ²				建築面積	4.78 m ²	3.30 m ²	1.07 m ²	2.99 m ²	1.55 m ²																				
構造・階数	①増築校舎	②プール棟	③マイクロス乗降上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)	小計②	合計(①+②)																																																						
S・1F		S・1F	S・1F	S・1F	S・1F																																																									
1階	4.78 m ²	3.30 m ²	1.07 m ²	2.99 m ²	1.55 m ²																																																									
建築面積	4.78 m ²	3.30 m ²	1.07 m ²	2.99 m ²	1.55 m ²																																																									
10. 敷地	イ. 敷地面積 50608.67 m ²	ロ. 地業	直接基礎(地盤改良併用)																																																											
イ. 敷地面積	50608.67 m ²	ハ. 階数	<table border="1"> <tr> <th>構造・階数</th> <th>①増築校舎</th> <th>②プール棟</th> <th>③マイクロス乗降上屋</th> <th>④体育倉庫</th> <th>⑤農具庫</th> <th>⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)</th> <th>小計③</th> <th>合計(①+②)</th> </tr> <tr> <td>S・2F</td> <td></td> <td>RC・2F</td> <td>S・1F</td> <td>S・1F</td> <td>S・1F</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>324.00 m²</td> <td>1256.25 m²</td> <td>43.00 m²</td> <td>110.78 m²</td> <td>24.70 m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>196.80 m²</td> <td>1076.40 m²</td> <td>43.00 m²</td> <td>138.52 m²</td> <td>24.70 m²</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							構造・階数	①増築校舎	②プール棟	③マイクロス乗降上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)	小計③	合計(①+②)	S・2F		RC・2F	S・1F	S・1F	S・1F				延床面積	324.00 m ²	1256.25 m ²	43.00 m ²	110.78 m ²	24.70 m ²				建築面積	196.80 m ²	1076.40 m ²	43.00 m ²	138.52 m ²	24.70 m ²																				
構造・階数	①増築校舎	②プール棟	③マイクロス乗降上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)	小計③	合計(①+②)																																																						
S・2F		RC・2F	S・1F	S・1F	S・1F																																																									
延床面積	324.00 m ²	1256.25 m ²	43.00 m ²	110.78 m ²	24.70 m ²																																																									
建築面積	196.80 m ²	1076.40 m ²	43.00 m ²	138.52 m ²	24.70 m ²																																																									
※イ. 構造	①増築校舎: 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 (増築校舎=管理交流棟+小学校教室棟+屋内運動場棟+特別教室棟) ②プール棟: 鉄筋コンクリート造 ③マイクロス乗降上屋: 鉄骨造 ④体育倉庫: 鉄骨造 ⑤農具庫: 鉄骨造 ⑥⑦仮設駐輪場(1)(2): 鉄骨造	※ニ. 増築予定考慮	既存校舎改修工事に既存校舎と増築校舎接続の予定																																																											
12. 各部の高さ	イ. 設計GLの指定 45.50	14. 工事範囲	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本体工事 <ul style="list-style-type: none"> イ. 建築工事 <ul style="list-style-type: none"> -1. 建築本体内工事 -2. 外構植栽工事 -3. 昇降機工事 -4. 解体・撤去工事 ロ. 電気設備工事 ハ. 給排水衛生設備工事 ニ. 空調和設備工事 ○ 別途工事 <ul style="list-style-type: none"> イ. 既存校舎改修工事 ロ. 備品家具工事(図中特記外) ハ. カーテン・ブラインド工事 																																																											
ロ. 標準地盤面の設定	設計GL±0	ロ. 建築物の高さ	<table border="1"> <tr> <th>①増築校舎</th> <th>②プール棟</th> <th>③マイクロス乗降上屋</th> <th>④体育倉庫</th> <th>⑤農具庫</th> <th>⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)</th> </tr> <tr> <td>設計GL + 20.070</td> <td>設計GL + 4.450</td> <td>設計GL + 2.818</td> <td>設計GL + 2.056</td> <td>設計GL + 6.20</td> <td>設計GL + 2.302</td> </tr> </table>							①増築校舎	②プール棟	③マイクロス乗降上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)	設計GL + 20.070	設計GL + 4.450	設計GL + 2.818	設計GL + 2.056	設計GL + 6.20	設計GL + 2.302																																									
①増築校舎	②プール棟	③マイクロス乗降上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)																																																									
設計GL + 20.070	設計GL + 4.450	設計GL + 2.818	設計GL + 2.056	設計GL + 6.20	設計GL + 2.302																																																									
ニ. 軒高	<table border="1"> <tr> <th>①増築校舎</th> <th>②プール棟</th> <th>③マイクロス乗降上屋</th> <th>④体育倉庫</th> <th>⑤農具庫</th> <th>⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)</th> </tr> <tr> <td>設計GL + 16.550</td> <td>設計GL + 3.925</td> <td>設計GL + 2.818</td> <td>設計GL + 2.056</td> <td>設計GL + 6.20</td> <td>設計GL + 2.302</td> </tr> </table>	①増築校舎	②プール棟	③マイクロス乗降上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)	設計GL + 16.550	設計GL + 3.925	設計GL + 2.818	設計GL + 2.056	設計GL + 6.20	設計GL + 2.302	ホ. 基礎深さ	①増築校舎1F基礎下端 設計GL - 2.030																																															
①増築校舎	②プール棟	③マイクロス乗降上屋	④体育倉庫	⑤農具庫	⑥⑦仮設駐輪場(1)(2)																																																									
設計GL + 16.550	設計GL + 3.925	設計GL + 2.818	設計GL + 2.056	設計GL + 6.20	設計GL + 2.302																																																									

①. 増築校舎	1) 屋根	屋上	断熱アスファルト防水の上 保護コンクリート厚80 直仕仕上げ
		金属屋根	フッ素ガルバリウム鋼板 厚0.4 立て平葺
		塔屋・室外機置場	複合塗膜防水
		庇	コンクリート打放し(8種)の上塗膜防水 見付部外装収付材B 軒裏部リシン吹付
		アプローチテラス庇	塗膜防水 指定色
	2) 外壁	一般部	コンクリート打放し(8種)の外装収付材A
		足元部	コンクリート打放し(8種)の上カラークリア
	3) 外部建具	一般部	アルミサッシ B8-2種
	4) 床	1階玄関・ピロティ・光庭	床用タイルA
		アプローチテラス・テラス	複合塗膜防水の上 保護コンクリート+床用タイルA
		学習広場	インターロッキングブロック
		配膳室・保健室出入口部	コンクリート引毛仕上げ
	5) 天井	軒天	ケイ酸カルシウム板厚6+6(下縁の上接着工法)の上EP-G塗装
	6) その他	外部手摺(アプローチテラス)	スチールFB 溶融亜鉛めっきの上、DP塗装
		外部手摺(学習広場に面するテラス)	アルミ製 SUS製
②. プール棟	1) 屋根	屋根	複合塗膜防水
		庇	コンクリート打放し(8種)の上塗膜防水 見付部外装収付材B 軒裏部リシン吹付
	2) 外壁	一般部	コンクリート打放し(8種)の外装収付材A
		足元部	コンクリート打放し(8種)の上カラークリア
	3) 外部建具	—	—
	4) 床	フローリング・通路・20-F	FS-F
	5) 天井	軒天	ケイ酸カルシウム板厚6+6(下縁の上接着工法)の上EP-G塗装
	6) その他	外部手摺	スチールFB 溶融亜鉛めっきの上、DP塗装
		種	カラー塩ビ雑種

付近見取図

作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事	図面番号	A003
		図面名称	<前半工事> 設計概要・外部仕上表		
			編尺 A1: - A3: -		

<p>① 一般共通事項</p> <p>② 優先順位</p> <p>③ 適用基準等</p> <p>④ 工事実績情報</p> <p>⑤ 設計図書の取扱い</p> <p>⑥ 品質計画</p>	<p>特記事項</p> <p>① 電気保安技術者</p> <p>② 施工条件明示項目</p> <p>③ 施工中の安全確保</p> <p>④ 発生材の処理等</p> <p>① 材料の品質等</p> <p>① 品質計画</p> <p>① 化学物質を放散する建築材料等</p>	<p>⑩ 特別な材料の工法</p> <p>⑪ 技能士</p> <p>⑫ 化学物質の濃度測定</p> <p>⑬ 完成図等</p>	<p>⑬ 保全に関する資料</p> <p>⑭ 工事写真等</p> <p>⑮ 施工図及び施工計画書</p> <p>⑯ 設備工事との取合い(総合図の作成)</p> <p>⑰ 監督職員事務所</p> <p>⑱ 会議室</p> <p>⑲ 工事用水</p> <p>⑳ 工事用電力</p>																																																																																																																																													
<p>(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁審議部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版」(以下、「仕様」という。)による。</p> <p>(2) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。</p> <p>(3) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。</p> <p>(4) 特記事項に記載の()内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(5) 製造所名は、期不同とし「株式会社」等の記載は省略する。また「」内は製品名を示す。</p> <p>(6) 特記仕様書に記載の「監督職員」とは、工事契約書に基づき、官公庁発注工事においては監督職員、監督員又は監督官をいい、民間発注工事においては監理者をいう。</p> <p>(7) 書面を提出する場合の書式(工事記録等を含む)は、発注者の指定する書式とする</p> <p>発注者の指定がない場合は、東畑建築事務所「監理書類作成要領」による</p> <p>設計図書の優先順位は下記による。(1.1.1)</p> <p>(1) 質疑回答書(②～⑤下記に対するもの)</p> <p>(2) 現場説明書</p> <p>(3) 特記仕様書</p> <p>(4) 図面</p> <p>(5) 標準仕様書</p> <p>① 監理写真等撮影要領 令和5年版 国土交通省大臣官房官庁審議部監修</p> <p>① 公共建築工事標準仕様書(機電設備工事編) 令和4年版 第10編 昇降設備工事</p> <p>工事実績情報(受注時・変更及び完成時は、あらかじめ監督職員の確認(1.1.4)を受け、登録機関に登録する</p> <p>(財)日本建設情報総合センター(JACIC)より発行された登録内容確認書を監督員に提出する</p> <p>本工事設計CADデータの貸与(1.1.6)</p> <p>貸与したCADデータは、本工事に必要な施工図作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない</p> <p>当該CADデータは完成時に全て返却することとし工事受注者において工事期間中に複製または再配布している場合はすべて削除すること</p> <p>貸与するCADデータは設計業務の成果品であり、著作権に該当する場合、著作権法に規定する著作権者の権利は設計者に帰属する</p> <p>① 風圧力及び積雪荷重に対応した品質計画の策定(1.2.2)</p> <p>施工計画書の作成に際しては、以下の項目について指定された条件により建築基準法に基づき定まる風圧力(割増の特記がある場合は割増後の風圧力)積雪荷重に対応した品質及び工法を品質計画で定めること(但し、外部に用いる場合に限る)</p> <p>ALCパネル・押出成形セメント板工工事、石工事(乾式工法)</p> <p>合成高分子系ルーフィング防水工事(機械的固定工法)</p> <p>屋根葺き材及び土工</p> <p>アルミニウム製窓木(固定金具)</p> <p>建具工事(鋼製建具、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、ガラスブロック積み、ガラス)</p> <p>カーテンウォール工事</p> <p>金属板構架、軒天井、庇、屋根・傾壁下地</p> <p>外壁目隠し壁・手すり</p> <p>その他()</p> <p>風圧力の条件</p> <p>風速(Vo) 24 (m/s)</p> <p>地表面粗度区分・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ</p> <p>積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域</p> <p>積雪の条件 (別表)</p> <p>多雪地域の指定 ○あり ○なし</p> <p>①耐震基準を定める場合は次による。</p> <p>「官庁施設の総合耐震・対津波設計基準 令和3年版」(国土交通省大臣官房官庁審議部第25年版制定)及び「官庁施設の総合耐震計画基準及び関係解説 平成8年版」(建設大臣官房官庁審議部監修)による耐震安全性の分類及び特定量の指定)</p> <p>構造体(Ⅰ類 ○Ⅱ類 ○Ⅲ類)</p> <p>建築非構造物材(ⅠA類 ○Ⅱ類)</p> <p>建築設備(Ⅰ甲類 ○Ⅱ類)</p> <p>特定量の指定 ・行う(※図示) ○行わない</p>	<p>工事現場における電気保安技術者は、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督職員の承諾を受け、電気工物の保安業務を行うものとする。</p> <p>② 施工条件明示項目</p> <p>○施工時間(9:00 ~ 18:00) (1.3.5)</p> <p>○その他の条件(施工時間外工事内容は常に学校と協議する)</p> <p>③ 施工中の安全確保</p> <p>建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等に定めるところによる</p> <p>他「建設工事公衆災害防止対策要綱」に従うとともに「建築工事安全施工技術指針」を参考に常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。</p> <p>④ 発生材の処理等</p> <p>1) 発注者に引き渡すを要するもの (1.3.11)</p> <p>2) 特別管理産業廃棄物</p> <p>3) 工事現場において再利用及び再生資源化を図るもの</p> <p>4) 1)から3)以外のものは、全て工事現場外に搬出し、建設リサイクル法、資源有効利用促進法、廃棄物処理法その他関係法令に基づき適切に処理のうえ発注者に報告する</p> <p>① 材料の品質等</p> <p>材料、機器材等の品質及び性能 (1.4.2)</p> <p>1) 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</p> <p>2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合監督職員の承諾を受ける。</p> <p>3) 「国等による環境物品等の調達に関する法律 平成12年 法律第100号(グリーン購入法)」に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努めること</p> <p>4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①～④の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し等)を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。</p> <p>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。</p> <p>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</p> <p>③安定的な供給が可能であること。</p> <p>④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</p> <p>⑤製造または施の実績があり、その信頼性があること。</p> <p>⑥販売、保守等の営業体制が整っていること。</p> <p>5) 製造業者等に関する資料の提出を定めた材料</p> <p>床型抑用鋼製デッキプレート 鋼製建具 移動型仕(スライディングドア)</p> <p>鉄骨下無収縮モルタル 鋼製軽量建具 トイレブレース</p> <p>無収縮グラウト材 ステンレス製建具 煙突成形ポリライニング材</p> <p>押出成形セメント板 錠前頭 天井吊点移り</p> <p>成形伸縮目地材 クローザー組 床点検口</p> <p>乾式保膜材(防水保膜材) 自動ドア機構 グレーチング</p> <p>セラミックタイル 自閉式上吊り引戸機構 壁上げシステム</p> <p>既設合目地材(タイル工事用) 重量シャッター トップライト</p> <p>既設合目地材 軽量シャッター エボキシ樹脂</p> <p>ルーフィング オーバーヘッドドア 外装タイル張り用接着剤</p> <p>破水調整剤(モルタル用) ガラス ポリマーセメントモルタル</p> <p>防水材 現場発泡断熱材 特殊製ふた/マンホールふた</p> <p>アルミニウム製建具 フリーアクセスフロア</p> <p>樹脂製建具 可動間仕切り</p> <p>① 化学物質を放散する建築材料等</p> <p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。</p> <p>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び保温材はホルムアルデヒドを放散しないか☆☆☆☆のものとする。</p> <p>2) 壁紙材、繊維材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。</p> <p>3) 接着剤はフタル酸ジブチルエステル及びフタル酸ジブチルエステルを含有しない難燃発泡性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。</p> <p>4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。</p> <p>5) 1)、3)及び4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。</p>	<p>標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</p> <p>下記の材料・工法については品質・性能保証書を提出すること。</p> <p>・</p> <p>(1.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>工事項目</th> <th>技能検定の職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>・とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>○鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>○取付工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>○コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>鉄骨工事</td> <td>とび</td> <td>○とび作業</td> </tr> <tr> <td>ブロック(CB)</td> <td>ブロック建築</td> <td>○B工作業</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル工事</td> <td>ALCパネル施工</td> <td>・ALCパネル工事作業</td> </tr> <tr> <td>防水工事</td> <td>防水施工</td> <td>○アスファルト防水工事作業 ○レタゴム塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・強化ビニールシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・ウレタン系防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>・石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り</td> <td>○タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>○大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及び土工</td> <td>建築大工</td> <td>○内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上げ施工</td> <td>○内装仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>○外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>○左官作業</td> </tr> <tr> <td>建具工事</td> <td>サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工</td> <td>○サッシ施工 ○ガラス施工 ・自動ドア施工 ○建築フィルム作業</td> </tr> <tr> <td>カーテンウォール工事</td> <td>カーテンウォール施工</td> <td>・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>○塗装塗布作業</td> </tr> <tr> <td>内装工事</td> <td>内装仕上げ施工</td> <td>○プラスチック床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ工事作業 ○ボード系床仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td>表装</td> <td>表装</td> <td>・装飾作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>・建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面表示施工</td> <td>・滑動ペイントマーカー工事作業 ・加熱ペイントマーカー工事作業</td> </tr> <tr> <td>繕修工事</td> <td>造園</td> <td>○造園工事作業</td> </tr> </table> <p>① 行う(適用箇所： 外装吹付材、木製ルーバー、木化粧巻、化粧天井) (1.5.5)</p> <p>① 化学物質の濃度測定</p> <p>工事の施工完了後、引渡しをするまでの間に、ホルムアルデヒド及び、揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを報告すること。また報告書の様式等は監督職員との協議による。</p> <p>(1) 測定時期</p> <p>※完成時(家具搬入前)</p> <p>※引越前(家具搬入後)</p> <p>(2) 測定対象化学物質</p> <p>○ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン</p> <p>その他(○)パラジクロロベンゼン</p> <p>(3) 測定方法</p> <p>※パッシブ法(拡散方式) ・アクティブ法(吸引方式)</p> <p>(4) 測定対象室及び測定箇所数</p> <p>※図示(内部以上表)</p> <p>① 完成図等</p> <p>(1.7.1~2)(表1.7.1)</p> <p>完成時の提出書類 ※東畑建築事務所「監理書類作成要領」による</p> <p>・発注者の指定による</p> <p>完成図の作成方法 ※CAD(CADデータの提出 ※不要) ・不要</p> <p>・発注者の指定による</p> <p>作成日 2025.03</p>	工事項目	技能検定の職種	技能検定作業	仮設工事	とび	・とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	○取付工事作業		コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業	鉄骨工事	とび	○とび作業	ブロック(CB)	ブロック建築	○B工作業	ALCパネル工事	ALCパネル施工	・ALCパネル工事作業	防水工事	防水施工	○アスファルト防水工事作業 ○レタゴム塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・強化ビニールシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・ウレタン系防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	石工事	石材施工	・石張り作業	タイル工事	タイル張り	○タイル張り作業	木工事	建築大工	○大工工事作業	屋根及び土工	建築大工	○内外装板金作業	金属工事	内装仕上げ施工	○内装仕上げ工事作業		建築板金	○外装板金作業	左官工事	左官	○左官作業	建具工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工	○サッシ施工 ○ガラス施工 ・自動ドア施工 ○建築フィルム作業	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業	塗装工事	塗装	○塗装塗布作業	内装工事	内装仕上げ施工	○プラスチック床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ工事作業 ○ボード系床仕上げ工事作業	表装	表装	・装飾作業	排水工事	配管	・建築配管作業	舗装工事	路面表示施工	・滑動ペイントマーカー工事作業 ・加熱ペイントマーカー工事作業	繕修工事	造園	○造園工事作業	<p>提出部数 ※1部 ()部 (1.7.3)</p> <p>① 工事写真等</p> <p>下記により工事写真・竣工写真を撮影し、提出する。(1.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">撮影時期</th> <th rowspan="2">撮影箇所</th> <th rowspan="2">規格</th> <th colspan="2">提出方法</th> </tr> <tr> <th>カラー</th> <th>プリンター用紙</th> </tr> <tr> <td>工事着手前</td> <td>○敷地の状況 (適宜)</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">プリンター用紙 A4ファイル 2部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工事中</td> <td>○隣建物の状況 (適宜)</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">プリンター用紙 A4ファイル 2部</td> </tr> <tr> <td>○監督職員の指示する箇所</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">プリンター用紙 A4ファイル 2部</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">竣工時</td> <td>○全部配管完了時</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">プリンター用紙 A4ファイル 2部</td> </tr> <tr> <td>○各工事の工程に応じ監督職員と協議する</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">アルバム 4部</td> </tr> <tr> <td>○内 部 監督職員の指示(70)箇所</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">アルバム 4部</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">竣工時</td> <td>○外 部 監督職員の指示(30)箇所</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">アルバム 4部</td> </tr> <tr> <td>○風景 監督職員の指示(10)箇所</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">DVD-ROM 4部</td> </tr> <tr> <td>○航空 監督職員の指示(10)箇所</td> <td>カラー</td> <td colspan="2">DVD-ROM 4部</td> </tr> </table> <p>※竣工写真の撮影は、デジタルカメラ2000万画素以上とし、撮影アングルは監督職員の指示による。</p> <p>※竣工アルバムは印刷紙を使用し、出力解像度は1インチの300dpi以上とする。</p> <p>製本方法は、印刷紙の裏面どうしを折り付けた折れ込み製本、又はフォトブックアルバムとする。</p> <p>※竣工写真の電子データ(DVD-ROM)の提出形式</p> <p>内部、外部及び航空写真の内部、監督職員の指示する主要なカットは、A3サイズ(長さ2490px)のJPEG形式(圧縮最高画質)とし、その他のカットは、キャビネットサイズ(長さ2880px)のJPEG形式(圧縮最高画質)とする。</p> <p>※竣工写真として不要なものは電子データの消去、修正を行う。</p> <p>竣工写真の著作権の権利等について、工事受注者は撮影者との契約にあたって以下の事項を条件とする。</p> <p>1. その成果物が「写真の著作権」に該当するかの有無にかかわらず、発注者、設計者、施工者が社内広報誌、業界誌への掲載及び関係取引先への配布、広報など社内外へ公表することに対してその利用を無償許諾すること。</p> <p>2. 設計者の承諾を得た場合以外以下の行為をしてはならない。</p> <p>写真の著作権に該当した場合でも、著作権人格権を行使してはならないこと。</p> <p>3. 竣工写真を第三者に閲覧させ、複製させ、又は譲渡してはならない。</p> <p>竣工写真撮影業者 ※建築写真専門の撮影業者で監督職員の承諾を受けた者</p> <p>② 施工図及び施工計画書</p> <p>提出した施工図及び施工計画書の著作権に係る当該建物に限り利用を無償許諾すること。(1.2.2~3)</p> <p>③ 設備工事との取合い(総合図の作成)</p> <p>設備機器の位置、取合い等の検討する施工図(総合図)を作成して、監督職員の承諾を受ける。(詳細図例・展開図、天井付図 等)</p> <p>免責請求の場合はクリアランスを考慮し、取り合いを調整して監督職員の承諾を受ける。(1.2.3)</p> <p>④ 監督職員事務所</p> <p>※(※ 30㎡程度) ・不要 (2.3.1)</p> <p>監督職員事務所の仕上げは以下を標準とする。</p> <table border="1"> <tr> <th>部 位 等</th> <th>仕 上</th> </tr> <tr> <td>床</td> <td>タイルカーペット(事務室)及びビニル床シート(水廻り)</td> </tr> <tr> <td>内装・天井</td> <td>石こうボードの上EP(合成樹脂エマルジョンペイント)塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>塗装耐融融めつき鋼板張り(断熱材付き)</td> </tr> </table> <p>必要設備：冷暖房、便所、湯沸室、洗面台、冷蔵庫等、及び女性専用更衣室、便所</p> <p>監督職員事務所内の備品</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 複合機(LAN対応)</td> <td>○ 書架棚、図面棚、行李予定表</td> </tr> <tr> <td>(プリンター、コピー、スキャナー)</td> <td>下足箱、時計、ヘルボード</td> </tr> <tr> <td>○ Wi-Fi ルーター (Wi-Fi環境)</td> <td>○ 落着利止用器具 (5) 人用</td> </tr> <tr> <td>○ PCディスプレイ (2) セット</td> <td>○ 検査器具等</td> </tr> <tr> <td>・事務机、椅子 () 人用</td> <td>(巻き尺、懐中電灯、検査用鏡)</td> </tr> <tr> <td>○ 打合せ机、椅子 (10) 人用</td> <td>○ 長靴、雨合羽 (5) セット</td> </tr> <tr> <td>○ 更衣ロッカー (10) 人用</td> <td>○ 事務用品、給茶セット一式</td> </tr> </table> <p>各機器の仕様については監督職員と協議の上、最終決定すること。</p> <p>各A機器の初期設定及び機器間の接続は本工事に含むものとする。</p> <p>⑤ 会議室</p> <p>現場事務所には30名程度が使用できる会議室を設けること。</p> <p>定例会議及び分科会等はWEB会議併用とするため、良好なネット環境を整備し下記の備品を準設すること。</p> <p>(60インチ以上のモニター、WEBカメラ、全指向性マイク)</p> <p>⑥ 工事用水</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償)</p> <p>⑦ 工事用電力</p> <p>構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償・無償)</p>	撮影時期	撮影箇所	規格	提出方法		カラー	プリンター用紙	工事着手前	○敷地の状況 (適宜)	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部		工事中	○隣建物の状況 (適宜)	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部		○監督職員の指示する箇所	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部		竣工時	○全部配管完了時	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部		○各工事の工程に応じ監督職員と協議する	カラー	アルバム 4部		○内 部 監督職員の指示(70)箇所	カラー	アルバム 4部		竣工時	○外 部 監督職員の指示(30)箇所	カラー	アルバム 4部		○風景 監督職員の指示(10)箇所	カラー	DVD-ROM 4部		○航空 監督職員の指示(10)箇所	カラー	DVD-ROM 4部		部 位 等	仕 上	床	タイルカーペット(事務室)及びビニル床シート(水廻り)	内装・天井	石こうボードの上EP(合成樹脂エマルジョンペイント)塗り	屋根	塗装耐融融めつき鋼板張り(断熱材付き)	○ 複合機(LAN対応)	○ 書架棚、図面棚、行李予定表	(プリンター、コピー、スキャナー)	下足箱、時計、ヘルボード	○ Wi-Fi ルーター (Wi-Fi環境)	○ 落着利止用器具 (5) 人用	○ PCディスプレイ (2) セット	○ 検査器具等	・事務机、椅子 () 人用	(巻き尺、懐中電灯、検査用鏡)	○ 打合せ机、椅子 (10) 人用	○ 長靴、雨合羽 (5) セット	○ 更衣ロッカー (10) 人用	○ 事務用品、給茶セット一式
工事項目	技能検定の職種	技能検定作業																																																																																																																																														
仮設工事	とび	・とび作業																																																																																																																																														
鉄筋工事	鉄筋施工	○鉄筋組立作業																																																																																																																																														
コンクリート工事	型枠施工	○取付工事作業																																																																																																																																														
	コンクリート圧送施工	○コンクリート圧送工事作業																																																																																																																																														
鉄骨工事	とび	○とび作業																																																																																																																																														
ブロック(CB)	ブロック建築	○B工作業																																																																																																																																														
ALCパネル工事	ALCパネル施工	・ALCパネル工事作業																																																																																																																																														
防水工事	防水施工	○アスファルト防水工事作業 ○レタゴム塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム塗膜防水工事作業 ・合成ゴムシート防水工事作業 ・強化ビニールシート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ・ウレタン系防水工事作業 ・改質アスファルトシート工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																																																																														
石工事	石材施工	・石張り作業																																																																																																																																														
タイル工事	タイル張り	○タイル張り作業																																																																																																																																														
木工事	建築大工	○大工工事作業																																																																																																																																														
屋根及び土工	建築大工	○内外装板金作業																																																																																																																																														
金属工事	内装仕上げ施工	○内装仕上げ工事作業																																																																																																																																														
	建築板金	○外装板金作業																																																																																																																																														
左官工事	左官	○左官作業																																																																																																																																														
建具工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工	○サッシ施工 ○ガラス施工 ・自動ドア施工 ○建築フィルム作業																																																																																																																																														
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業 ・ビル用サッシ施工作業 ・ガラス工事作業																																																																																																																																														
塗装工事	塗装	○塗装塗布作業																																																																																																																																														
内装工事	内装仕上げ施工	○プラスチック床仕上げ工事作業 ○カーペット系床仕上げ工事作業 ○ボード系床仕上げ工事作業																																																																																																																																														
表装	表装	・装飾作業																																																																																																																																														
排水工事	配管	・建築配管作業																																																																																																																																														
舗装工事	路面表示施工	・滑動ペイントマーカー工事作業 ・加熱ペイントマーカー工事作業																																																																																																																																														
繕修工事	造園	○造園工事作業																																																																																																																																														
撮影時期	撮影箇所	規格	提出方法																																																																																																																																													
			カラー	プリンター用紙																																																																																																																																												
工事着手前	○敷地の状況 (適宜)	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部																																																																																																																																													
工事中	○隣建物の状況 (適宜)	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部																																																																																																																																													
	○監督職員の指示する箇所	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部																																																																																																																																													
竣工時	○全部配管完了時	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部																																																																																																																																													
	○各工事の工程に応じ監督職員と協議する	カラー	アルバム 4部																																																																																																																																													
	○内 部 監督職員の指示(70)箇所	カラー	アルバム 4部																																																																																																																																													
竣工時	○外 部 監督職員の指示(30)箇所	カラー	アルバム 4部																																																																																																																																													
	○風景 監督職員の指示(10)箇所	カラー	DVD-ROM 4部																																																																																																																																													
○航空 監督職員の指示(10)箇所	カラー	DVD-ROM 4部																																																																																																																																														
部 位 等	仕 上																																																																																																																																															
床	タイルカーペット(事務室)及びビニル床シート(水廻り)																																																																																																																																															
内装・天井	石こうボードの上EP(合成樹脂エマルジョンペイント)塗り																																																																																																																																															
屋根	塗装耐融融めつき鋼板張り(断熱材付き)																																																																																																																																															
○ 複合機(LAN対応)	○ 書架棚、図面棚、行李予定表																																																																																																																																															
(プリンター、コピー、スキャナー)	下足箱、時計、ヘルボード																																																																																																																																															
○ Wi-Fi ルーター (Wi-Fi環境)	○ 落着利止用器具 (5) 人用																																																																																																																																															
○ PCディスプレイ (2) セット	○ 検査器具等																																																																																																																																															
・事務机、椅子 () 人用	(巻き尺、懐中電灯、検査用鏡)																																																																																																																																															
○ 打合せ机、椅子 (10) 人用	○ 長靴、雨合羽 (5) セット																																																																																																																																															
○ 更衣ロッカー (10) 人用	○ 事務用品、給茶セット一式																																																																																																																																															

⑤ 仮囲い等	仮囲い ※※ (敷地四圍) ※ H = 1800 ・ H = 3000 ・ 仕様 ※ (※ 図示) ○各種ゲート、交通誘導員は仮設計計画による
⑥ 工事表示板	標示事項 工事名称、建築主名、受注者名、設計監理事務所名、 電気保安技術者等を明記する。 表示板の大きき取付位置は監督職員の指示による。 完成予想図 ○要(900×600程度、2ヶ所) ・不要
① 主工事	① 埋戻し及び盛土 材料及び工法 (3.2.3) (表3.2.1) ・材料 () (工法) ※標準 表 3.2.1.1による 種別 ・A種 適用箇所 () ○B種 適用箇所 () ※現地からの受入済土も含む ・C種 適用箇所 () 土質 () 受変場所 () ・D種 適用箇所 () ② 建設発生土の処理 ※構外搬出処理 (処分先:) (3.2.5) ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し ③ 山留めの撤去 ※撤去する (3.3.3) ・存置する (範囲:) ④ 根切り底 支持地盤の確認 (直接基礎の場合) (3.2.1) 地盤をかき乱した場合は処置 ※監督職員の承認を受け、以下のいずれかの処置を適切に行うこと。 ○地盤改良 ・コンクリート打設 ・砂質土と置き換え締め
④ 地業工事	構造特記仕様書による。
⑤ 鉄筋工事	構造特記仕様書による。
⑥ コンクリート工事	構造特記仕様書による。
⑦ 鉄骨工事	構造特記仕様書による。
⑧ 1 補強コンクリート	材 料 (8.2.2-3) (表8.2.1) ブロック造 ※空用ブロック(C16) モジュール呼び寸法(mm) ※(W)400 × (H)200 ・ 正味厚さ (mm) ・ 各部の配筋 ※ 図示 モルタルの割合 ※表8.2.1による 目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ
⑨ A L C パネル	② コンクリートブロック 構造及び厚 ※標準表8.3.1及び下表による。(8.3.2) 正味厚さ(mm) ○間仕切壁 ・地下二重壁 ・外壁 ○00 ・壁 高さ 2m以下 ※120 ・ 2mを超える ※150 ・ ・衛生配管用裏積みブロック ※100 ・ 各部の配筋 ※ 鉄筋コンクリート標準図による ・ (8.4.2-7) (表8.4.2-4) パネル区分 単位荷重(N/m ²) 厚さ(mm) 耐火性能 表面加工 取付け構造種別 ○外壁パネル ・ ○100 ・1時間 ○平 ○A種 ・B種 ・意匠 ・間仕切壁パネル ・ ・100 ・1時間 ・平 ・C種 ・D種 ・意匠 ・E種 ・屋根パネル ・ ・100 ・30分間 平 F種 ・床パネル ・ ・100 ・1時間 パネル幅の最小限度 ※300mm ・ () mm 役物の有無 ・有り () ・無し パネルの短辺小口相互の接合部の目地幅 ※10~20mm ・ 図示 出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取合い部の伸縮目地幅 ※10~20mm ・ 図示 伸縮目地への耐火目地材の充填 ・有り () ○無し 外壁パネル構法の耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 ・) 倍の風圧力に対応した工法 外壁パネル構法の耐震性能 設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 ・ () 鉛直方向 (KV) ※0.5 ・ () 間仕切パネル構法の耐震性能 設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 ・ () 鉛直方向 (KV) ※0.5 ・ () 取付け金物の耐火保護 外壁 ※行う ○行わない 間仕切壁 ※行う ○行わない

4 押出成形セメント板 (ECP)	(8.5.2-5) (表8.5.1-2) 種 別 表面形状 厚さ(mm) 幅(mm) 構造種別 ・外壁パネル ※フラットパネル ・50 ・60 ・ ※600 ・ ・A種 ・デザインパネル ・50 ・60 ※600 ・ ・B種 ・タイル下地パネル ・62 ・ ※600 ・ ・間仕切壁パネル ※フラットパネル ・50 ・60 ※600 ・ ・B種 ・デザインパネル ・50 ・60 ※600 ・ ・C種 ・タイル下地パネル ・62 ・ ※600 ・ パネル幅の最小限度 ※300mm ・ () mm 耐火構造は建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする 耐火構造以外の目地及び隅隅の処理 ※パネルの製造所の仕様による ・ 役物の有無 ・有り () ・無し パネル相互の目地幅 長辺の目地幅 ・10mm以上 ・ () mm 短辺の目地幅 ・15mm以上 ・ () mm 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地幅 ※15mm程度 (シーリング材充填) ・ 図示 外壁パネル工法の2次防水仕様 ※適用する ・ 適用しない 外壁パネル構法の耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 ・) 倍の風圧力に対応した工法 外壁パネル構法の耐震性能 設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 ・ () 鉛直方向 (KV) ※0.5 ・ () 間仕切パネル構法の耐震性能 設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 ・ () 鉛直方向 (KV) ※0.5 ・ () 取付け金物の耐火保護 ・行う (適用箇所:) ・行わない パネルの欠き込み パネルにやむを得ず欠き込みを行う場合は、欠損部を考慮して強度計算を行い、安全を確認すること。 ドレンパイプ ※SUS304 径8mm 逆流防止弁付 高さ60mを超える建物の外壁に使用する工法 ※材料製造所の指定工法による製造所:) ・無し
① アスファルト防水	③ 屋根保護防水 (9.2.2-5) (表9.2.3-10) 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 総線用シート ・A-1-1 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ※フラットヤーン ○A-1-2 屋上 3種A (スケン覆付) クロス70g/m ² 程度 厚さ ・35 ・40 ※50 ・60 ・B-1-1 ・ ・B-1-2 ・ ・A-1 ※ポリエチレンフィルム ・A-2 厚0.15mm以上 又はフラットヤーン ・B-1 又はフラットヤーン ・B-2 クロス70g/m ² 程度 立上り部の保護方法 (9.2.5) ※乾式保護材 ・押出成形セメント板 (厚さ 15mm) ○図示による ・屋根露出防水 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 総線用シート ・D-1-1 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ※アクリル樹脂 ※D-1-2 ・1号 ※2号 エマルジョン系塗料 (使用量はアスファルト ・D-1 厚さ ・25 ・35 ※50 フルーニング材の製造所 の仕様による) ・D-2 ・D-1 屋根露出断熱工法に使用する硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号は 透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする 高日射反射率防水の適用 ・有 (施工箇所) ・無し ・屋内防水 防水層種別 施工箇所 保護層 ・E-1 ・ 設ける (図示) ・ 設けない ・E-2 ・ 設ける (図示) ・ 設けない アスファルト防水の保証年数 ※10年間
② アスファルト防水	④ 屋根保護防水 (9.2.2-5) (表9.2.3-10) 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 総線用シート ・A-1-1 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材 ※フラットヤーン ○A-1-2 屋上 3種A (スケン覆付) クロス70g/m ² 程度 厚さ ・35 ・40 ※50 ・60 ・B-1-1 ・ ・B-1-2 ・ ・A-1 ※ポリエチレンフィルム ・A-2 厚0.15mm以上 又はフラットヤーン ・B-1 又はフラットヤーン ・B-2 クロス70g/m ² 程度 立上り部の保護方法 (9.2.5) ※乾式保護材 ・押出成形セメント板 (厚さ 15mm) ○図示による ・屋根露出防水 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 総線用シート ・D-1-1 ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ※アクリル樹脂 ※D-1-2 ・1号 ※2号 エマルジョン系塗料 (使用量はアスファルト ・D-1 厚さ ・25 ・35 ※50 フルーニング材の製造所 の仕様による) ・D-2 ・D-1 屋根露出断熱工法に使用する硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号は 透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする 高日射反射率防水の適用 ・有 (施工箇所) ・無し ・屋内防水 防水層種別 施工箇所 保護層 ・E-1 ・ 設ける (図示) ・ 設けない ・E-2 ・ 設ける (図示) ・ 設けない アスファルト防水の保証年数 ※10年間

2 改質アスファルト	(9.3.2-4) (表9.3.1-3) シート防水 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 防湿シート 仕上塗料 ・AS1-T1 ※硬質ウレタンフォーム ・設ける ※アクリル樹脂 ・AS1-J1 断熱材2種 ・1号 ※2号 ・設けない エマルジョン系塗料 厚さ ・25 ・35 ※50 ・AS-T1 (使用量はアスファルト ・AS-T3 フルーニング材の製造所 の仕様による) ・AS-J1 屋根露出断熱工法に使用する硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号は 透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする 高日射反射率防水の適用 ・有 (施工箇所) ・無し 脱気装置の種類及び設置数量は改質アスファルトシート類の製造所の指定 とする。 改質アスファルトシート防水の保証年数 ※10年間
3 合成高分子系	(9.4.2-4) (表9.4.1-3) ルーフィングシート 防水 防水層種別 施工箇所 断熱材の種類及び厚さ(mm) 歩行仕様 仕上塗料 ・S-F1 ※非歩行 ・S-M1 ※軽歩行 (断熱工法) ※硬質ウレタンフォーム ・S1-F1 断熱材2種 ・1号 ※2号 (使用量は製造所の ・S1-M1 断熱材3種A 厚さ ・25 ・35 ※50 仕様による) ※押出法ポリスチレンフォーム 断熱材3種A 厚さ ・25 ・35 ※50 断熱工法に使用する硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号は 透湿係数を除くJIS A 9521の規格に準ずるものとする 高日射反射率防水の適用 ・有 (施工箇所) ・無し ・屋内防水 防水層種別 施工箇所 保護層 立上り部の保護モルタル塗層 ・S-C1 ・ 図示 ・ ※7mm以下 ルーフィング防水シートの種類及び厚さ ※ (表9.4.1-3) による ・ 固定金具の材質及び形状 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面及び 両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ (mm) ※0.4mm以上 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様による ・ 図示 機械的固定方法の場合の耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の(※1.0 ・) 倍の風圧力に対応した工法 合成高分子系ルーフィングシート防水の保証年数 ※10年間
④ 塗膜防水	(9.5.2-4) (表9.5.1-2) 防水層種別 施工箇所 仕上塗料 保護層 ・Y-1 ・ ※製造所の 仕様による ○X-2 ○底、パラペット天 ・Y-1 ・地下外壁防水 シーリング材 ・適用する ・Y-2 ・屋内防水 ※図示 ・ 脱気装置 (種別がY-1工法の場合) (9.3.2) 防水層種別 施工箇所 保護層 ・E-1 ・ 設ける (図示) ・ 設けない 脱気装置の種類及び設置数量は塗膜防水材料の製造所の仕様による 高日射反射率防水の適用 (種別がY工法の場合) (9.3.2) ・有 (施工箇所) ○無し 塗膜防水の保証年数 (地下外壁防水を除く) ※10年間
⑤ ケイ酸質系塗布防水	(9.6.2-3) (表9.6.1-2) 種 別 施工箇所 ※G-U1 EVビット ・G-UP ケイ酸質系塗布防水の保証年数 ○10年間

⑥ その他の防水 (種仕以外の工法)	種 別 施工箇所 製造所・型式等 ○複合塗膜防水 (露出工法) 防水範囲図による 下記による ○複合塗膜防水 (保護工法) 防水範囲図による 下記による ○塗膜防水 消火水槽 下記による 使用量等は防水製造所の仕様による 保証年数 種別 (複合塗膜防水) ○10年間 種別 (塗膜防水) ○10年間 複合塗膜防水 (シーリング材) 「超導硬化ウレタン複合防水」 又は同等品 露出工法 (UPM-10) 保護工法 (UPM-10C) 塗膜防水: 大間化学 「塗膜防水 B-1工法」 又は同等品 下表以外は、標準表9.7.1による。(9.7.2-5) (表9.7.1) 施工箇所 シーリング材の種類(記号) ○図示 ・変成シリコーン系 (MS-2) 耐久性区分10030の製品 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 シーリング材の保証年数 ※7年間 ○10年間 (但し外部に施工するシーリング材で防水性能を維持する部分) ⑦ シーリング 試験箇所 (屋内外の防水範囲全般) 試験方法 ドレン廻りをルーフィング類やウェス類で仮の蓋をし、防水層の 立上り端部を越えないように水を張り、24時間以上そのままに おいて、その後、周辺や下階への濡れの有無を確認する。 ⑧ 水張り試験 ⑨ 石材の割付け 石材の割付け ※図示 水打継ぎ部、異種下地の取合い部等は、原則として1枚の石材をまたいで 取り付けてはならない。 止むを得ず取り付ける場合は、工法を監督職員と協議し、承諾を得ること。 ⑩ 石材等 (10.1.3) ・天然石 (10.2.1) (表10.2.1-2) 施工箇所等 種類 産地・名称 厚さ 仕上りの種類 床材 花崗石 中国産・6381 万年青 図示 本磨き 定礎 花崗石 中国産・御影石 (黒) 図示 本磨き カウンター 花崗石 中国産・御影石 (白) 図示 本磨き 上り敷 花崗石 中国産・6381 万年青 図示 水磨き 石材は上記により見本品提出の上決定する。(10.3.1-3) 3 外壁湿式工法 外壁の湿式工法 (石厚70mm以下の石材を1階の腰壁または根石部分に取り付ける 工事) に適用 受造物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 形状・寸法 ※L-75×75×6(mm) (長さ ・100mm ・150mm) アンカーの材質・寸法 材質: ※SS400 寸法: あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類: 材質: 寸法: 上記以外の受造物の材質、形状・寸法 石材の厚さ (mm) ・ 石表面処理 ※適用する (小口共) ・適用しない 裏打ち処理 ・適用する 浸透性防水防止剤 ・適用する 浸透性防水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー 構造流し工法 ・あと施工アンカー工法 目地 一般目地 目地幅 ※図示 (6mm以上) シーリング材 ・適用する ・適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6m程度ごと シーリング材の目地寸法 ※ 図示 (幅・深さとも10mm以上) 4 内壁空積工法 (10.2.2) (表10.2.3) (10.4.2-3) 内壁の空積工法 (石厚70mm以下の石材を高さ4mm以内の内壁に取り付ける工事) に適用 受造物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 形状・寸法 ※L-75×75×6(mm) (長さ ・100mm ・150mm) アンカーの材質・寸法 材質: ※SS400 寸法: あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類: 材質: 寸法: 上記以外の受造物の材質、形状・寸法
--------------------	--

5	外壁乾式工法	<p>石表面処理 ※適用する (小口共) ・適用しない</p> <p>裏打ち処理 ・適用する</p> <p>浸透性吸水防止剤 ・適用する</p> <p>浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない</p> <p>下地ごしらえ ※あと施工アンカー 横筋施工工法</p> <p>・あと施工アンカー工法</p> <p>目地 一般目地 目地幅 ※図示 (6mm以上)</p> <p>シーリング材 ※適用する ・適用しない</p> <p>伸縮調整目地 位置 ※ 6m程度ごと</p> <p>シーリング材の目地寸法</p> <p>※ 図示 (幅・深さも10mm以上)</p> <p>(10.5, 1~3)</p> <p>外壁の乾式工法 (石厚70mm以下の石材を高さ31m以下の建物の外壁に取付ける工事) に適用</p> <p>乾式工法的方式による金物の種類、形状、寸法等</p> <p>※仕様 表10.2.4による</p> <p>方式 ・スライド方式 ・ロッキング方式 ・図示による</p> <p>アンカーの材質・寸法</p> <p>材質: ※SS400 寸法:</p> <p>あと施工アンカーの種類、材質及び寸法</p> <p>種類: 材質: 寸法:</p> <p>上記以外の金物の材質、形状・寸法</p> <p>・図示による</p> <p>石材の厚さ(mm)</p> <p>たば用の穴の位置 ※ 標仕10.5.2(2)(7)による ・図示</p> <p>幅木の取付 ※ 標仕10.3.3(3)(7)による ・図示</p> <p>裏打ち処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>浸透性吸水防止剤 ・適用する</p> <p>目地 ※ シーリング ・空目地 ・図示</p> <p>目地幅 ※ 図示 (8mm以上)</p> <p>シーリング材 ※適用する (標仕9.7による) ・適用しない</p> <p>外壁の耐風圧性能</p> <p>※ 建築基準法により定まる風圧力の(※1.0・)倍の風圧力に対応した工法</p>
	6	内壁乾式工法
7	床及び階段の石張り	<p>床石張り</p> <p>石表面処理(小口共) ※適用する ・適用しない</p> <p>裏打ち処理 ・適用する</p> <p>浸透性吸水防止剤 ・適用する</p> <p>浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない</p> <p>目地 (10.6, 2~3)</p> <p>一般目地 ・セメントモルタル ・シーリング</p> <p>目地幅 ※ 層外 4mm以上、層内 3~6mm ・図示</p> <p>伸縮調整目地</p> <p>位置 ※ 床面積30㎡程度ごと、縦長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取合う箇所</p> <p>・図示</p> <p>シーリング材の目地寸法</p> <p>※ 幅・深さも10mm以上 ・図示</p> <p>階段張り</p> <p>石表面処理(小口共) ※適用する ・適用しない</p> <p>石表面処理(小口共) ・適用する</p> <p>浸透性吸水防止剤を適用する箇所は、裏面処理は行わない</p> <p>表面仕上りの確認</p> <p>磨り仕上げの場合、耐滑性試験値(JIS A 1509: CSR値)に準ずる等データを監督職員に提出し、承諾を得ること</p> <p>(10.7, 2~3)</p>
	⑧	特殊部位の石張り

⑨	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地	<p>位置 ※ 図示及び標仕11.1.1による ・図示</p> <p>目地寸法 ※ 図示 (11.1, 3)(表11.1.1)</p>
	⑩	タイルの品質・種類
3	セメントモルタルによるタイル張り	<p>外装壁タイルの下地及びタイルごしらえ (11.2, 1~7)(表11.2, 1~3)</p> <p>下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理方法</p> <p>※自見し工法 (超高压水洗 (150MPa程度)) (15, 3, 4, (4))</p> <p>・MCR工法</p> <p>壁タイル張りの工法</p> <p>内装壁タイル</p> <p>・密着張り ・改良圧着張り ・ユニットタイル張り</p> <p>外装壁タイル</p> <p>・密着張り ・改良圧着張り</p> <p>内装壁タイル以外のユニットタイル</p> <p>・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>床タイル張りの工法</p> <p>300mm×300mmを超える大きさの床タイル張りは、タイル製造所の標準工法による既設コンクリート及び既設舗装目地材</p> <p>※ 品質を証明する資料を提出し、監督職員の承諾を受ける</p> <p>(特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による</p> <p>施工箇所 (11.3, 1~6)(表11.3, 1~2)</p> <p>○内装壁タイル ○外装壁タイル(プール棟)</p> <p>外装壁タイルの工法</p> <p>※タイル製造所による標準工法(有機系下地調整材による下地調整)</p> <p>下地コンクリート素地面の処理方法</p> <p>コンクリート打放し仕上げB種、コンクリートの仕上げが平坦さはa種とし</p> <p>高压水洗工法(〜50MPa程度)を行い、表面の付着物や接合部を除去する</p> <p>・標準仕様書に基づく工法(セメント系下地調整材による下地調整)</p> <p>セメント系下地調整剤塗りは、標仕15.3.5(4)(7)による</p> <p>コンクリート素地面の処理方法</p>

5	その他のタイル張り工法(標仕以外の工法)	<p>※自見し工法 (超高压水洗 (150MPa程度)) (15, 3, 4, (4))</p> <p>コンクリート打放し仕上げB種、平坦さはa種とし表面の自見しを行う</p> <p>・MCR工法 (6, 8, 2(5))</p> <p>外装壁タイルの目地詰め ※行う ・行わない</p> <p>外装タイル施工記録の提出</p> <p>工事完成時には定期検査用の下記各施工記録を提出する</p> <p>施工記録一覧、仕上後、下地補修範囲図、下地確認、タイル割りプロセス検査</p> <p>引換検査記録図、工事写真、外観自視・打診検査及び張替範囲図</p> <p>・外装壁乾式工法</p> <p>・タイル製造所及び製造所の仕様の種類等</p>																																																																																																																																																																								
	⑫	木工	<p>①一般 (12, 2.1)</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 (12, 2.1)</p> <p>※標仕12.2.1(1)(4)のいずれかとする</p> <p>(12, 2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)</p> <p>・下地用製材「JAS 1083-5 に基づく下地用製材」</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>寸法(mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>2級</td> <td>・</td> <td>図示</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3級</td> <td>・</td> <td>図示</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>③造作用製材「JAS 1083-2 に基づく造作用製材」</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>寸法(mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td>※上小節</td> <td>図示</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td>※小節以上</td> <td>図示</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不透明塗料の塗装面</td> <td>・小節</td> <td>図示</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・広葉樹製材「JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材」</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>寸法(mm)</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1等</td> <td>・</td> <td>図示</td> <td>※10%以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>④JAS 1083以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>材面の品質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>木製パーラー</td> <td>造作材の場合</td> <td>図示</td> <td>※A種</td> <td>・適用する</td> <td>松</td> </tr> <tr> <td>羽目板</td> <td>※A種・B種</td> <td></td> <td>・B種</td> <td>○適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑤樹種</p> <p>樹種は、特記なき限り標仕12.4.1, 12.5.1, 12.6.1, 12.7.1による</p> <p>⑥代用樹種の場合</p> <p>⊙下地材 米つが、北洋えぞ松、ひのき、米松、米ひば、米ひ</p> <p>⑦造作材 米つが、スプルース、米ひのき、米松、米ひ、台ひ</p> <p>⑧造作用集材材(「集材材の日本農林規格」による) (12, 2.1(3))</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種名</th> <th>見付け材面</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td>下見入</td> <td>※仕上材(塗装)</td> <td>松</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※1等・2等</td> </tr> <tr> <td>枕梁・応接家具</td> <td>※仕上材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> </tr> <tr> <td>縁線・カゴボックス</td> <td>※仕上材(塗装)</td> <td>タラモ</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※1等・2等</td> </tr> <tr> <td>・見切、各種見切</td> <td>※仕上材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等・2等</td> </tr> <tr> <td>ベンチ、手摺、笠木</td> <td>※仕上材(塗装)</td> <td>なら</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※1等・2等</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり造作用集材材(「集材材の日本農林規格」による)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td>化粧薄板</td> <td></td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※1等</td> </tr> <tr> <td>芯材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・2等</td> </tr> </table> <p>・上記以外の造作用集材材(「集材材の日本農林規格」以外)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種名</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td>化粧薄板</td> <td></td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td>芯材</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・2等</td> </tr> </table> <p>⑨造作用単板積層材(「単板積層材の日本農林規格」による) (12, 2.1(4))</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質(表面の化粧加工)</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td>※仕上材</td> <td>※図示</td> <td>・有(加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td>・未仕上材</td> <td></td> <td></td> <td>・無(等級: ・1等・2等・3等)</td> <td>・無</td> </tr> </table> <p>・上記以外の造作用単板積層材(「単板積層材の日本農林規格」以外)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>寸法(mm)</th> <th>表面の品質(表面の化粧加工)</th> <th>含水率</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・有(加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)</td> <td>※14%以下</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・無(等級: ・1等・2等・3等)</td> <td>・無</td> <td>・無</td> </tr> </table>	施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考	2級	・	図示	※A種・B種			3級	・	図示	※A種・B種			施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考	見え掛り面	※上小節	図示	※A種・B種			見え掛り面以外	※小節以上	図示	※A種・B種			不透明塗料の塗装面	・小節	図示	※A種・B種			施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考	1等	・	図示	※10%以下			施工箇所	材面の品質	寸法(mm)	含水率	防虫処理	備考	木製パーラー	造作材の場合	図示	※A種	・適用する	松	羽目板	※A種・B種		・B種	○適用しない		施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質	下見入	※仕上材(塗装)	松	※図示	※図示	※1等・2等	枕梁・応接家具	※仕上材				※1等・2等	縁線・カゴボックス	※仕上材(塗装)	タラモ	※図示	※図示	※1等・2等	・見切、各種見切	※仕上材				※1等・2等	ベンチ、手摺、笠木	※仕上材(塗装)	なら	※図示	※図示	※1等・2等	施工箇所	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質	化粧薄板		※図示	※図示	※1等	芯材				・2等	施工箇所	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	化粧薄板		※図示	※図示	※15%以下	芯材				・2等	施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	防虫処理の適用	※仕上材	※図示	・有(加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・有	・有	・未仕上材			・無(等級: ・1等・2等・3等)	・無	施工箇所	寸法(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	含水率	防虫処理の適用	※図示	・有(加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下	・有	・有			・無(等級: ・1等・2等・3等)	・無
施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考																																																																																																																																																																					
2級	・	図示	※A種・B種																																																																																																																																																																							
3級	・	図示	※A種・B種																																																																																																																																																																							
施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考																																																																																																																																																																					
見え掛り面	※上小節	図示	※A種・B種																																																																																																																																																																							
見え掛り面以外	※小節以上	図示	※A種・B種																																																																																																																																																																							
不透明塗料の塗装面	・小節	図示	※A種・B種																																																																																																																																																																							
施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考																																																																																																																																																																					
1等	・	図示	※10%以下																																																																																																																																																																							
施工箇所	材面の品質	寸法(mm)	含水率	防虫処理	備考																																																																																																																																																																					
木製パーラー	造作材の場合	図示	※A種	・適用する	松																																																																																																																																																																					
羽目板	※A種・B種		・B種	○適用しない																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法(mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																																					
下見入	※仕上材(塗装)	松	※図示	※図示	※1等・2等																																																																																																																																																																					
枕梁・応接家具	※仕上材				※1等・2等																																																																																																																																																																					
縁線・カゴボックス	※仕上材(塗装)	タラモ	※図示	※図示	※1等・2等																																																																																																																																																																					
・見切、各種見切	※仕上材				※1等・2等																																																																																																																																																																					
ベンチ、手摺、笠木	※仕上材(塗装)	なら	※図示	※図示	※1等・2等																																																																																																																																																																					
施工箇所	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	見付け材面の品質																																																																																																																																																																						
化粧薄板		※図示	※図示	※1等																																																																																																																																																																						
芯材				・2等																																																																																																																																																																						
施工箇所	樹種名	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																						
化粧薄板		※図示	※図示	※15%以下																																																																																																																																																																						
芯材				・2等																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	防虫処理の適用																																																																																																																																																																						
※仕上材	※図示	・有(加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	・有	・有																																																																																																																																																																						
・未仕上材			・無(等級: ・1等・2等・3等)	・無																																																																																																																																																																						
施工箇所	寸法(mm)	表面の品質(表面の化粧加工)	含水率	防虫処理の適用																																																																																																																																																																						
※図示	・有(加工: ・天然木化粧加工 ・塗装加工)	※14%以下	・有	・有																																																																																																																																																																						
		・無(等級: ・1等・2等・3等)	・無	・無																																																																																																																																																																						
6	直交集材材(OLT)	<p>図示(直交集材材の特記仕様)による (12, 2.1(5))</p>																																																																																																																																																																								

⑪	合板等	<p>①下地用普通合板(「合板の日本農林規格」による) (12, 2.1(6))</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td>掲示壁</td> <td>※5.5</td> <td>ラワン</td> <td>※1類・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上</td> <td>・有 ○無</td> </tr> </table> <p>②下地用構造用合板(「合板の日本農林規格」による)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>保存処理</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>湿度調整の適用</th> </tr> <tr> <td>二重床(79ナ)</td> <td>※12</td> <td></td> <td>・1級</td> <td>※0-D以上</td> <td>○有</td> <td>・有</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○15</td> <td></td> <td>・2級</td> <td>※2級以上</td> <td>・</td> <td>・無</td> <td>・無</td> </tr> </table> <p>接着の程度 常温湿潤気候となる場所での使用 ※特種</p> <p>その他の場合 ※1類以上</p> <p>・化粧ばり構造用合板(「合板の日本農林規格」による)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の程度</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・特種</td> <td>・無</td> <td></td> </tr> </table> <p>・天然木化粧合板(「合板の日本農林規格」による)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工に使用する程度</th> <th>防虫処理の適用</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1類</td> <td>・有</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・2類</td> <td>・無</td> <td></td> </tr> </table> <p>・特殊加工化粧合板(「合板の日本農林規格」による)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・オーバーレイ</td> <td>・1類</td> <td>・有</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・プリント</td> <td>・2類</td> <td>・無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・塗装</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>③パーティクルボード(「JIS A 5908」)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td>一般家具</td> <td>※15</td> <td>※素地(樹脂塗)</td> <td>※13タイプ</td> <td>※または</td> <td></td> </tr> </table> <p>・構造用パネル(「JAS 0360 (構造用パネル)による)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)「JIS A 5905 (繊維板)」</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・DV・DC・D0</td> <td>※25</td> <td>・P・M</td> <td>・2級・3級</td> </tr> </table> <p>④接合具等 (12, 2.2)(表12.2, 3~5)</p> <p>造作材の化粧面の釘打ち</p> <p>○適用する (※隠し釘打ち) ・適用しない</p> <p>積層物の形状、寸法及び材質</p> <p>※標仕 12.2.2(7)による</p> <p>・防腐・防蟻処理を省略できる仕様による製材 (12, 3, 1~2)</p> <p>適用部位: ()</p> <p>・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・K2 ・K3 ・K4</td> </tr> </table> <p>・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※薬剤の製造所の仕様 ※JIS K 1571に適合又は同等の性能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※薬剤の製造所の仕様</td> </tr> </table> <p>・薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理</p> <p>適用部位: ()</p> <p>・合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理</p> <p>適用部位: ()</p> <p>・防虫処理</p> <p>適用部位: ()</p> <p>ラワン材を使用する場合は、JAS08-6iに基づく保存処理性能区分K-1の防虫処理を行う</p> <p>・間仕切軸組の木材 ※杉又は松 (12, 4.1~2)</p> <p>・床組 (一般部) ※杉又は松</p> <p>・床組 (土間スラブ類の場合の土台等) ※ひのき又は保存処理木材</p> <p>○縁甲板及び上がりがまら ※ひのき</p>	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	掲示壁	※5.5	ラワン	※1類・2類	広葉樹 ※2等以上	・有 ○無	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	保存処理	防虫処理の適用	湿度調整の適用	二重床(79ナ)	※12		・1級	※0-D以上	○有	・有	・有		○15		・2級	※2級以上	・	・無	・無	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の程度	防虫処理の適用	備考				・1類	・有					・特種	・無		施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工に使用する程度	防虫処理の適用	備考				・1類	・有					・2類	・無		施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の方法	接着の程度	防虫処理の適用				・オーバーレイ	・1類	・有				・プリント	・2類	・無				・塗装			施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	一般家具	※15	※素地(樹脂塗)	※13タイプ	※または		施工箇所	品名	寸法(mm)			・図示	施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分			・DV・DC・D0	※25	・P・M	・2級・3級	適用部材	保存処理性能区分		・K2 ・K3 ・K4		・K2 ・K3 ・K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類			※薬剤の製造所の仕様 ※JIS K 1571に適合又は同等の性能			※薬剤の製造所の仕様
	施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用																																																																																																																																									
掲示壁	※5.5	ラワン	※1類・2類	広葉樹 ※2等以上	・有 ○無																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	保存処理	防虫処理の適用	湿度調整の適用																																																																																																																																								
二重床(79ナ)	※12		・1級	※0-D以上	○有	・有	・有																																																																																																																																								
	○15		・2級	※2級以上	・	・無	・無																																																																																																																																								
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の程度	防虫処理の適用	備考																																																																																																																																										
			・1類	・有																																																																																																																																											
			・特種	・無																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工に使用する程度	防虫処理の適用	備考																																																																																																																																										
			・1類	・有																																																																																																																																											
			・2類	・無																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	化粧加工の方法	接着の程度	防虫処理の適用																																																																																																																																										
			・オーバーレイ	・1類	・有																																																																																																																																										
			・プリント	・2類	・無																																																																																																																																										
			・塗装																																																																																																																																												
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分																																																																																																																																										
一般家具	※15	※素地(樹脂塗)	※13タイプ	※または																																																																																																																																											
施工箇所	品名	寸法(mm)																																																																																																																																													
		・図示																																																																																																																																													
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																										
		・DV・DC・D0	※25	・P・M	・2級・3級																																																																																																																																										
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																														
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																														
	・K2 ・K3 ・K4																																																																																																																																														
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																													
		※薬剤の製造所の仕様 ※JIS K 1571に適合又は同等の性能																																																																																																																																													
		※薬剤の製造所の仕様																																																																																																																																													
⑬	鉄筋コンクリート等	<p>内部間仕切軸組及び床組</p>																																																																																																																																													

作成日	2025.03	図面番号	A006
工事名称	令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事	図面名称	<前半工事> 特記仕様書 その3 幅尺 A1: - A3: -

13 屋根及びとい工事	①長尺金属板葺	(13.2.2~3)(表13.2.1~2)	②ステンレスの表面仕上げ	(14.2.1)(表14.2.1)	⑥軽量鉄骨壁下地	(14.5.2~4)(表14.5.1)	既製地目材 ・設ける 施工箇所() 形状(・図示・) ・設けない 床の目地 ※設ける 目地割 ※2mm程度(最大目地間隔 3mm程度) 種類 ※押し目地 ・設けない 外装タイル張り下地等のモルタル塗り及び下地調整材塗り 硬化後、全面打診を行い、浮き及び精度について確認し、結果を監督職員に報告すること。 外装タイル張り下地等のモルタル塗り及び下地調整材塗りの接合力試験(表13.3.5) ※行う・行わない コンクリートの仕上げが早たんきの標準値(表6.2.5)	
	②折板葺	(13.3.2~3)(表13.2.1)	③アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.2)(表14.2.2)	7 金属成形板張り	(14.6.2~3)(表14.2.1)		③床コンクリートの直均し仕上げ
③とい	④ルーフトレン	(13.5.1~3)(表13.5.1~4)	④鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.2)(表14.2.2)	8 アルミニウム製空木	(14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)	④セルフレベリング材塗り	(15.5.1~5)(表15.5.1)
	⑤一般事項	(14.1.3)	⑤軽量鉄骨天井下地	(14.4.2~4)(表14.4.1~2)	⑨床見切目地	(15.5.1~5)(表15.5.1)	⑤仕上塗材仕上げ	(15.6.2)(表15.6.1)
13 金属工事	①一般事項	(14.1.3)	⑥軽量鉄骨天井下地	(14.4.2~4)(表14.4.1~2)	⑩アルミ庇	(15.5.1~5)(表15.5.1)	⑥マスチック塗材塗り	(15.7.2)(表15.7.1)
	②ステンレス鋼板	(14.1.3)	⑦アルミミニウム製空木	(14.7.2)(表14.2.1)(表14.7.1)	⑪天井ルーバー	(15.5.1~5)(表15.5.1)		⑦ロックウール吹付
							⑧建築工事	建築特記仕様書による。
							⑨カーテンウォール工事	

天井のボードの重ね積りの貼り付け方法(ロックウール吸音板を除く)
 ・天井にロックウール吸音板直貼り工法を行う場合、設備器具等の開口箇所には製造所の仕様により、必要箇所にて裏面の補強を行う

せっこうボードの目地工法
 ◎目地処理工法(・テーパーエッジ ◎ペベルエッジ)
 ◎突付け工法(◎ペベルエッジ ◎スクエアエッジ)
 ・目造し工法(・ペベルエッジ ・スクエアエッジ)

吹付硬質ウレタンフォーム下地に直張り用接着材を施工する場合は、施工に先立ち、吹付硬質ウレタンフォーム下地とプライマーの接着力を確認すること。
 各板の張り付け ・A種 ※種

※塗装下地の場合は寒冷却が剥きを除き、目地裏にして割れ防止を行う
 ◎化粧FKのジョイント・見切り金物はA種既製品、指定色(基材色合せ)とする。
 製造所: 化粧FK 7(A工業 「ルナライト」受注生産品) 又は同等品
 耐火遮音壁 吉野石膏 「M'n-ウ42・W1」 又は同等品
 耐火壁A 吉野石膏 「M'n-ウ42」 又は同等品
 耐火壁B 吉野石膏 「5ウ42(標準仕様)」 又は同等品
 ※特許外、シャカ区画・DS全て
 (表19.7.1)

◎吸音材

種 類	JISの記号	厚さ(mm)	仕 様
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	※25	・厚手ガラスクロス貼
※グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※25	・厚手ガラスクロス貼

◎壁紙張り (19.8.2~3)

名 称	壁紙の種類						防火性能	備 考
	紙	織	プラスチック	無機質	強化ビニル	その他		
壁紙	・	・	・	◎	・	・	◎	◎燃・非燃・難燃・難燃・耐火性

系地ごしらえ (表18.2.4・5・7)
 モルタル、プラスチック面 ※B種 ・A種(施工箇所:)
 コンクリート、ALUパネル面 ※B種 ・A種(施工箇所:)
 せっこうボード面、けい酸カルシウム板面 ※B種 ・A種(施工箇所:)
 製造所: サングツ「FAITH」

◎断熱材 (19.9.2~3)

種 類	厚さ(mm)	施工箇所
◎押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキム層なし)	※3種 6A ・ 35 ・ 50	◎土に接する部分(コンクリート床下) ◎行入、屋上部
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	※2種 6A ・ 25 ・ 50	◎外壁の内断熱 ◎屋根の内断熱
◎硬質ウレタンフォーム断熱材	※2種 2号A ・ 20 ・ 40	◎大切屋根
◎フェノールフォーム断熱材	※1種 2号A ・	

◎断熱材現場発泡工法
 断熱材の種類 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム ※A種 1 ・ A種 1 H
 吹付け厚さ(mm) ◎25一般部 35 軒天部
 施工箇所 ※図示による 上記のほか、断熱材打込み部の取合補修箇所

製品の品質
 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける
 (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による

14 浴室天井材
 ◎他の材料
 ・塩ビフィルム 粘着材塩化ビニル樹脂 厚0.2mm
 製造所: スリーエム ジャパン「ARシリーズ」 又は同等品

◎人造木材 材質: 無機質系人造木材
 製造所: 太平洋マテリアル「エースライト」 又は同等品

◎ガラス用フィルム(建具特記による)

◎2重床下床材 スポーツ仕様 H300
 製造所: 染野製作所「ジム・エース 900-1型」 又は同等品

鋼製支持脚・大引・根太 トナカ仕様(指結構造用合板厚15) ステージ(FL1000)
 製造所: 染野製作所「ジム・エース ステージ型」 又は同等品

◎16化粧吸音壁
 タム様(難燃)音響調整パネル 厚12(9)3ウ4厚15 C.L.塗装品
 製造所: 関西アール「アコンウォール」 又は同等品

◎17化粧リブ壁
 木製型材 三角リブ リブH1 ◎20
 製造所: サカイ「サカリブ 4 4」 又は同等品

◎18メラミンパネル
 メラミン鏡面パネル
 製造所: アイカ工業「セラー」 又は同等品

◎19ストランドボード
 樹種: 松 16・14有孔タイプ CL塗装品
 製造所: エスウッド「絶ストランドボード 標準タイプ・有効タイプ」 又は同等品

◎20フリーアクセス (20.2.2)

種 類	内部仕上表による	
施工箇所	・ 凹嵌式	◎支柱調整式
所定荷重	※3,000N ・ 5,000N	※3,000N ・ 5,000N
耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	◎1.0G ・ 0.6G
パネル寸法(mm)	・ 500X500	◎600X500
高さ(mm)	・	◎図示
表面仕上材	※タイルカーペット	※タイルカーペット
	・ 帯電防止床タイル	・ 帯電防止床タイル

帯電防止性能 ※リ ≧ 1.2
 漏えい抵抗 ※R ≧ 1×10 Ω 6
 耐衝撃性能、耐摩耗性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法及び性能 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)による
 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)による
 表面仕上材の品質、性能 ※特記仕様書19章による。
 スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ◎図示
 配線取り出し機能
 パネルは配線取り出し機能を有し、配線開口の開設ができるもの
 空額用吹き出しパネル
 ◎なし ※有り(型式、施工箇所: 図示)
 製品の品質
 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける
 (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による
 製造所: センクシア「WSB500NC」 又は同等品 (20.2.3)

◎2可動間仕切 (バードバージョン)

構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上	遮音性能 (db/500Hz)	防火性能
◎スタッド式(内蔵式)	※鋼製	◎ラミネ樹脂積層付	・ 0	・ 不燃
・スタッド式(露出式)	・	又はアクリル樹脂積層付	・ 12	・
・スタッド式パネル式	・	・ 壁紙張り	・ 20	・
・パネル式	・	◎強化ガラス	・ 28・36	・

パネル内の取付けの建具 ※図示
 表面仕上材を壁紙張りとする場合の壁紙の品質は 標準仕様書19章による
 製品の品質
 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける
 (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による
 製造所: 小松ウォール工業「マイティ・G WALL」 又は同等品 (20.2.4)

遮音性能 (db/500Hz)	操作方式	圧接装置の操作方法	パネル表面材	
			材質	仕上げ
・一般タイプ	・手動式	・フッシュ式	※鋼板	・焼付塗装
・(36db未満)	・電動式	・ハンドル式	・	・壁紙張り
・遮音タイプ (※36db以上) (・ db以上)	・部分電動式	・	・	・

表面仕上材を壁紙張りとする場合の壁紙の品質は 標準仕様書19章による
 製品の品質
 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける
 (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による
 製造所:

3 移動間仕切 (スライディングウォール)

◎4トレブレス 陶て板
 表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板(シート貼り・シート加工) (20.2.5)
 ・ポリエステル樹脂系化粧板
 ※幅木型(ステンレス製) ・見金物型(ステンレス製)
 パネルの材質 ※トレブレスの製作所の仕様による
 製品の品質
 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける
 (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による
 製造所: 小松ウォール「アコンウォール」 又は同等品
 ※非常設開閉付

◎5階段滑止め (ノリ剤付 金物)
 材 種 ステンレスSUS304 (20.2.7)
 形 状 ビニルタイヤ入り
 両端フックタイプ
 ※有り(・ステンレス製 ※ビニル製) ・無し
 幅(mm) 約35
 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法
 製造所: ナカ工業「S-37D」 又は同等品

◎6手すり及び トラップ
 材料及び表面処理 (20.2.6)(表14.2.2)

種 類	材料の種類	表面処理 (塗装仕上は図示による)
手すり	◎ステンレスSUS304	※H.L.程度 ・鏡面程度
	◎鋼製	◎滑触距離のつき 外部 ※C種
トラップ	※ステンレスSUS304	・ 研磨無し ◎HL程度
	・ 鉄	・ 滑触距離のつき 内外部 ※C種

ハンドレール
 種 類 取付箇所 仕上・形状・型式等
 ◎集成材 ◎壁内階段 ◎タム CL 38φ
 ◎ビニル製 ◎壁外階段 ◎ビニル製既製品 38φ
 ハンドレール
 製造所: 屋外用: ナカ工業「グラウDD-432GM」 又は同等品

補助手すり
 種 類 取付箇所 仕上・形状・型式等
 ・歩行補助手すり ・
 ・動作補助手すり ・

◎7黒板及び ホワイトボード
 ◎黒板
 区分 ※焼付 ・種類 ・鋼製 ◎ほうろう
 その他は図示による
 ◎ホワイトボード
 製造所: 黒板: 白板 青井黒板 又は同等以上
 昇降式黒板 青井黒板「UDスライダ」 又は同等品
 ◎8鏡
 取付箇所(◎図示) (20.2.10)
 寸法(mm) ◎図示
 厚さ(mm) ◎6mm ◎6(四角SUSFB4.5×32 HL) [化粧鏡A,B,E~1]
 製造所: 化粧鏡 TOTO 「YMK304A」 又は同等品
 化粧鏡 TOTO 「YMK304SA」 又は同等品
 鏡見鏡 TOTO 「YMK50K」 又は同等品
 引き分け鏡見鏡 体器器具詳細による

◎9表示標識 (サイン)
 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他はサイン図による。(20.2.11)
 製造所: 阪神コンテンツリンク
 衝突防止表示
 ※図示(既成品 ※ステンレス製 径 30mm) (・ 両面 ◎片面)
 ・無し
 表示標識、案内用図記号についてはJIS Z 8210による。

◎10 煙突用成形ライニング
 ・煙突用成形ライニング材 (20.2.13)
 適用安全使用温度
 キャスタブル耐火材は、煙突用ライニング材の製造所の指定する製品とする
 工法:
 製品の品質

11 ブラインド
 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける
 (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による (20.2.14)

形 式	種 類	スラットの材質	スラットの幅(mm)
※横型	※ギヤ式 ・コード式	※アルミニウム合金製	※25
	・操作棒式 ・電動	・	・
・縦型	・1本操作コード	・アルミスラット	・ 80
	・2本操作コード ・電動	・クロススラット	・ 100

取付箇所 ※図示
 縦型ブラインドのクロススラットは防炎性能を有するものであること
 製造所:
 (20.2.15)

材 質	操作方式	品 質	幅、高さ	取付箇所
・ポリエステル	◎電動式	・	※図示	※図示
◎ガラス繊維	・スプリング式	・	・	・
	・チェーン式	・	・	・

13 カーテン
 防火性能の有無 ◎あり
 巻取りタイプ、ウエイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
 ※製造所の仕様による
 製造所: [小アリーナ] 立川ブラインド工業「FIRE60タコスII 生地グラント」 又は同等品
 [多目的ホール] 立川ブラインド工業「FIRE100タコスII 生地ミント」 又は同等品 (20.2.16)(表20.2.1)

形 式	開閉操作方式	ひだの種類	生地の種類、品質、特殊加工等	備 考
・シングル	・片引	・手引	・つまみひだ	
・ダブル	・引分	・ひも引	(三つ山ひだ、二つ山ひだ)	
	・電動	・箱ひだ、片ひだ	・ブレーションひだ	

取付箇所 ※図示
 暗幕用カーテンの両端・上部及び目隠せの重なり ※300mm以上
 防火性能の有無 ※あり
 製造所:

◎14カーテンレール
 材料等 (20.2.18)
 材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押出成形材
 ・ ステンレス製
 強度による区分 ※ 10-90
 仕上げ ※アルマイト
 形状 ※角形
 カーテンボックス内、カーテンレール設置とする
 外壁側ダブル、廊下側シングルとする
 製造所: 立川ブラインド工業「F20」 又は同等品

◎15ブラインドボックス 及び カーテンボックス
 材質 ・鋼製(仕上: 図示) ()
 ・ アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
 ◎標準色 ・特注色
 ◎木製
 溝幅、深さ ※図示
 製造所:
 材 質 ・鋼製式 ・壁張り式 ・差込式
 寸法及び施工箇所 ・図示による
 製造所:

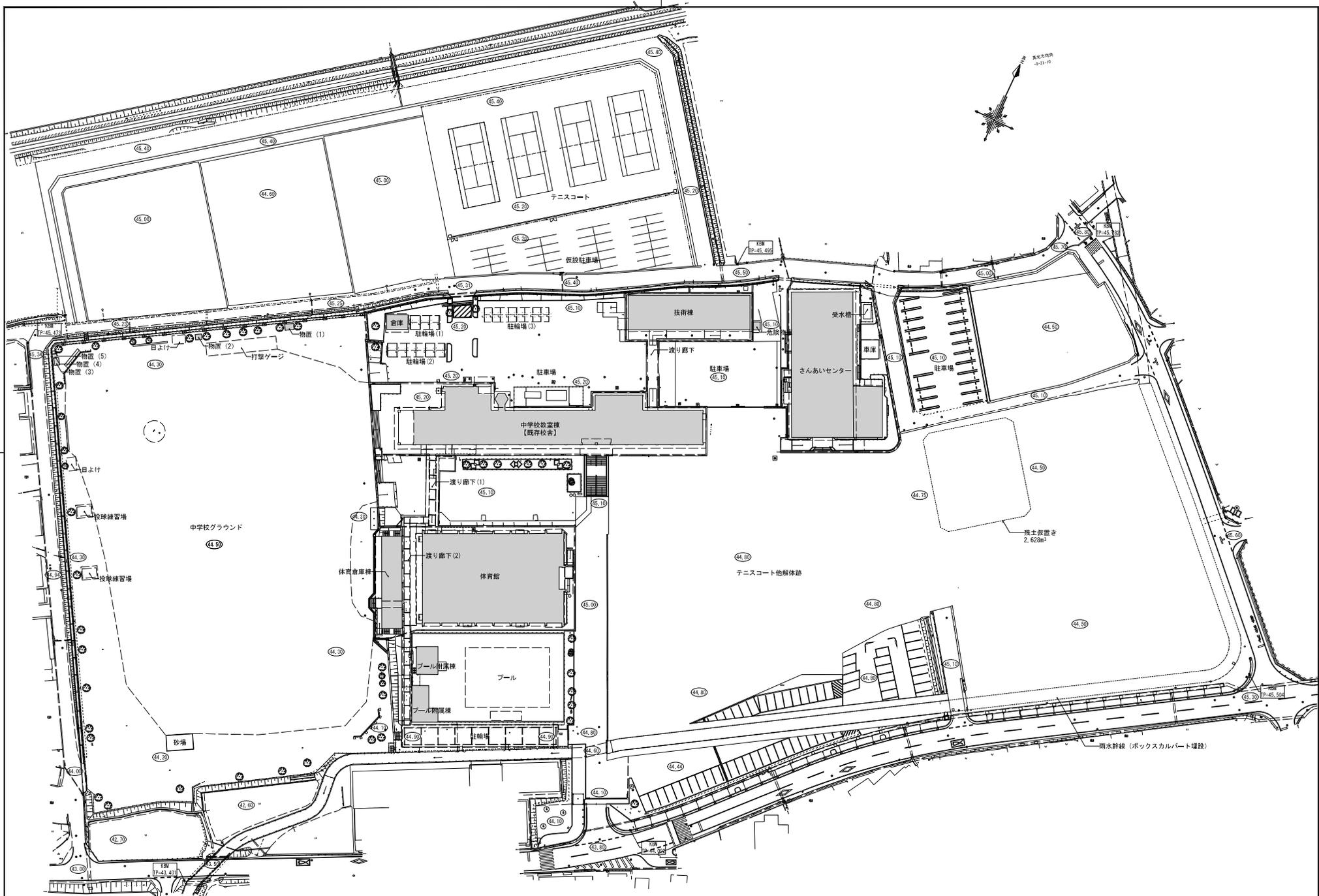
◎17灰井点検口

材 種	寸法(mm)	形 式	外 径	内 径
・アルミニウム製	◎450X450	◎一般	◎屋内外用	◎縦線タイプ ・縦線タイプ
・	・ 600X600	◎屋内外用	◎目地タイプ	◎目地タイプ
		・ 気密形	・	・

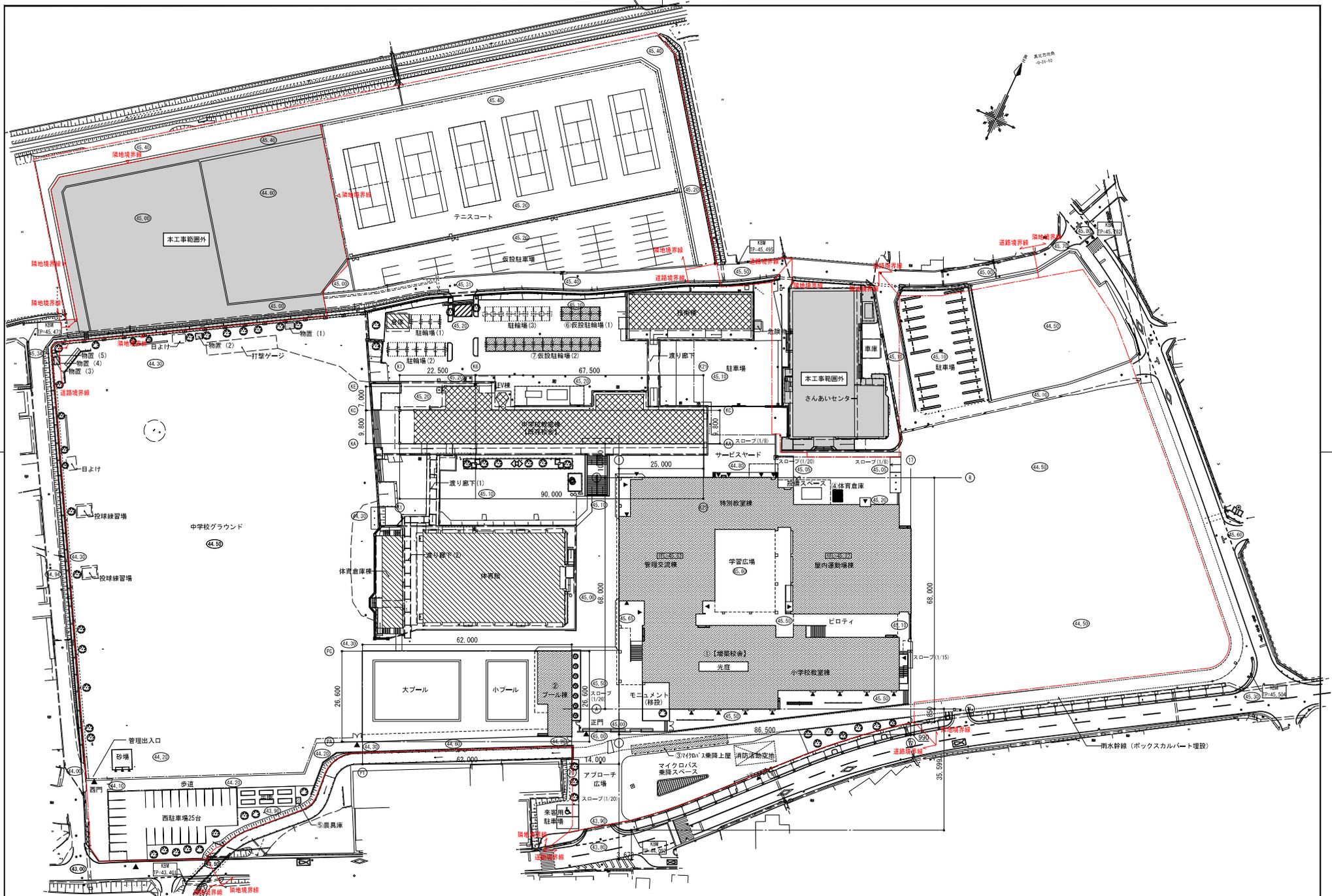
 取付箇所 ※図示
 製品の品質
 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける
 (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による

作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事	図面番号	A009
図面名称	＜前半工事＞	図面名称	特記仕様書 その6	図面番号	
図面名称	その6	図面名称	特記仕様書	図面番号	

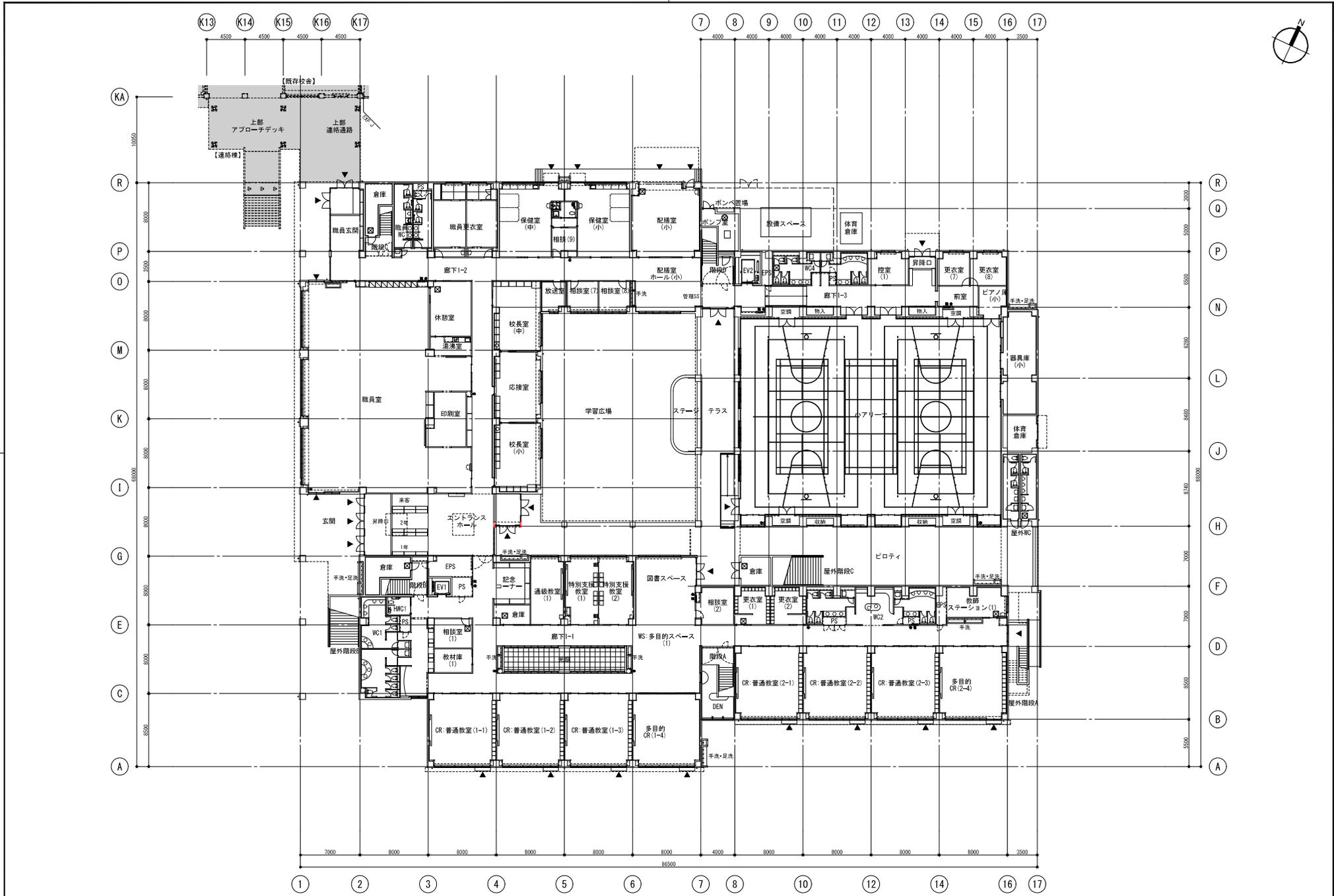
<p>② 路盤</p> <p>路盤の厚さ ○明示による (22.3.1~2)(表22.3.1)</p> <p>路盤材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ・再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ</p>	<p>③ ブロック系舗装</p> <p>・コンクリート平板舗装 (22.8.1~3)(表22.8.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>クッション材</th> <th>目地材</th> <th>表面仕上</th> </tr> <tr> <td>・普通平板(N)</td> <td>※300角</td> <td>※60</td> <td>※砂</td> <td>※砂</td> <td>※標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性平板(P)</td> <td></td> <td></td> <td>・空罫りモルタル</td> <td>・モルタル</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・保水性平板(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上りの平坦性 ※コンクリート平板間の段差3mm以内</p> <p>○インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種 類</th> <th rowspan="2">部 位</th> <th colspan="2">形状</th> <th rowspan="2">曲げ強度 (N/MM2)</th> <th rowspan="2">色彩</th> </tr> <tr> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※普通ブロック(N)</td> <td>車路</td> <td>・明示</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>・標準品</td> </tr> <tr> <td>・透水性ブロック(P)</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・保水性ブロック(M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※普通ブロック(N) 歩行者用 明示 ※60 ※3.0 ・標準品 ・透水性ブロック(P) 通路 - - - ・保水性ブロック(M) 通路 - - -</p> <p>仕上りの平坦性 ※インターロッキングブロック間の段差3mm以内 製造所：イナバ物置「BP-28VPL」 又は同等品</p>	種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	クッション材	目地材	表面仕上	・普通平板(N)	※300角	※60	※砂	※砂	※標準品	・透水性平板(P)			・空罫りモルタル	・モルタル	・	・保水性平板(M)						種 類	部 位	形状		曲げ強度 (N/MM2)	色彩	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面加工等	※普通ブロック(N)	車路	・明示	※80	※5.0	・標準品	・透水性ブロック(P)		-	-	-	-	・保水性ブロック(M)						<p>④ 砂利敷き (22.9.1~3)(表22.9.1)</p> <p>※B種 (施工箇所 明示 ・建物周囲 ・) ・ (施工箇所 明示 ・)</p> <p>⑩ 路面標示用塗料</p> <p>路面標示用塗料は JIS K 5665 による</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>色</th> <th>幅(mm)</th> <th>塗布厚さ(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>※3種1号</td> <td>溶融 白</td> <td>・明示</td> <td>※1.5程度</td> <td>低揮発性有機溶剤型</td> </tr> <tr> <td>-1種</td> <td>常温</td> <td>・150</td> <td>・</td> <td>路面標示用水性塗料</td> </tr> <tr> <td>-2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種 類	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	備 考	※3種1号	溶融 白	・明示	※1.5程度	低揮発性有機溶剤型	-1種	常温	・150	・	路面標示用水性塗料	-2種	加熱				<p>⑤ 樹木</p> <p>樹種、寸法、株立数 ※明示による</p> <p>⑥ 支柱材</p> <p>種 別 ※加圧式防露処理丸太材 (23.3.2~3) ・杉の焼丸太(間伐材) ・真竹 形状 ・添え柱形 ・扇形 ・ハツ掛け形 ・布掛け形 ・ワイヤ掛け形 ・地下埋設形 ○明示 製造所：</p> <p>⑦ 幹巻き用テープ</p> <p>※幹巻き用テープ(中高木に適用) ・わら及びこも (23.3.2)</p> <p>8 芝張り</p> <p>種 別 ※コウライシバ ・ノシバ (23.4.2)</p> <p>⑨ 新植・移植樹木、芝等の枯損償</p> <p>※引き渡しから1年 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)</p> <p>10 屋上緑化 (23.5.1~4)</p> <p>⑪ 樹名札</p> <p>再生樹脂製ベースプレート 形状・仕様は図示 製造所 アポック「ハツタガキ」 又は同等品</p>	<p>⑫ 仮設駐輪場</p> <p>材 質 柱：一般構造用炭素鋼鋼管、屋根：溶融亜鉛めっき鋼板 一般仕様 寸 法 図示 製造所 イナバ物置「BP-28VPL」 又は同等品</p> <p>⑬ 体育倉庫</p> <p>材 質 7R300合金押出型材 その他 引き引キイグ 一般仕様 寸 法 図示 製造所 淀川製作所「F3」物置「#E LMD-3625H」 又は同等品</p> <p>⑭ 農具庫</p> <p>材 質 7R300合金押出型材 その他 引き引キイグ 一般仕様 寸 法 図示 製造所 淀川製作所「F3」物置「#E LMD-1615型」 又は同等品</p> <p>⑮ フラッグポール</p> <p>材 質 ※アルミニウム合金製 形 式 ※チーバー型 ・同一断面型 地上高さ(m) ・6 ○8 ○10 ・12 操作方法 ※ハンドル式 ・ロープ式 固定方法 ○埋込式 ・ベース式 ・バンド式 製造所 SDAT「F8EP-Uz、10EP-Uz」 又は同等品</p> <p>⑯ PC構壁</p> <p>寸 法 図示 製造所 日本興業「アラウンドウォール」 又は同等品</p> <p>⑰ 人工芝舗装</p> <p>バヨル長さ：19mm 材質：ポリエチレン(高耐久仕様) テニスコート廻りの排水溝蓋はゴム製とする 製造所 住ヨム工業「オムニコートXPH」 又は同等品</p> <p>⑱ ゴムチップ舗装</p> <p>材質：t15.0 2色混合 製造所 四国化成「チップロードソフト 盛装タイプ」 又は同等品</p> <p>⑳ 車止め</p> <p>外内蔵型3R300合金(上下式) 径76.3mm H=GL+700mm ※反射板付 ※スプリング無し 製造所 帝念「311C」 又は同等品</p>
種 類	寸法(mm)	厚さ(mm)	クッション材	目地材	表面仕上																																																																						
・普通平板(N)	※300角	※60	※砂	※砂	※標準品																																																																						
・透水性平板(P)			・空罫りモルタル	・モルタル	・																																																																						
・保水性平板(M)																																																																											
種 類	部 位	形状		曲げ強度 (N/MM2)	色彩																																																																						
		寸法(mm)	厚さ(mm)			表面加工等																																																																					
※普通ブロック(N)	車路	・明示	※80	※5.0	・標準品																																																																						
・透水性ブロック(P)		-	-	-	-																																																																						
・保水性ブロック(M)																																																																											
種 類	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)	備 考																																																																							
※3種1号	溶融 白	・明示	※1.5程度	低揮発性有機溶剤型																																																																							
-1種	常温	・150	・	路面標示用水性塗料																																																																							
-2種	加熱																																																																										
<p>③ アスファルト舗装 (22.4.1~6)(表22.4.1~6)</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示による</p> <p>材料 アスファルト ※再生アスファルト(※60~80 ・80~100(寒冷地域)) ・ストレートアスファルト</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>種 類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>○一般地域</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td> </tr> <tr> <td>・寒冷地域</td> <td>※密粒度アスファルト混合物(13F)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">基層 (基層を設ける場合)</td> <td>※粗粒度アスファルト混合物(20) ・</td> </tr> </table> <p>プライムコート用乳剤(JISK2208) 種別 PK-3 タックコート用乳剤(JISK2208) 種別 PK-4</p> <p>試験 アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う</p> <p>4 半たわみ性舗装</p> <p>半たわみ性舗装の構成及び厚さ ※図示による 表層：半たわみ性舗装用アスファルト混合物(13) ※全浸透 ・半浸透型 基層：密粒度アスファルト混合物(13) 浸透用セメントミルク ※普通タイプ ・早強タイプ ・超早強タイプ</p>	区 分		種 類	表層	○一般地域	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	・寒冷地域	※密粒度アスファルト混合物(13F)	基層 (基層を設ける場合)		※粗粒度アスファルト混合物(20) ・	<p>④ コンクリート舗装 (22.5.1~3)(表22.5.1~3)</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ ※図示 (22.5.1~6)(表22.5.1~3)</p> <p>材料 コンクリート ※普通コンクリート(標仕表22.5.1による)</p> <p>早強ポルトランドセメント ・適用する ※適用しない 法人目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ</p> <p>目地の種類、間隔、構造 ※標仕表22.5.3及び図22.5.1による ・図示</p>	<p>⑫ 植栽地の確認等 (23.1.3)</p> <p>植 栽 及 び 塵 上 緑 化 工 事</p> <p>⑬ 植栽基礎整備 (23.2.1~4)(表23.2.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>適 用</th> <th>有効土層の厚さ(m)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>※行う ・行わない</td> <td>※20</td> <td>・</td> <td>※植栽範囲 ・図示</td> </tr> </table> <p>⑭ 植栽</p> <p>樹木 (23.2.2~4)(表23.2.1~2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(m)</th> <th>工 法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>○12以上</td> <td>※100</td> <td>・</td> <td>※A種 ・葉取りの範囲</td> </tr> <tr> <td>○7以上~12未満</td> <td>※80</td> <td>・</td> <td>・B種</td> </tr> <tr> <td>○3以上~7未満</td> <td>※60</td> <td>・</td> <td>・C種 ○明示</td> </tr> <tr> <td>○3未満</td> <td>※50</td> <td>・</td> <td>・D種</td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで補込み用土で盛土を行う。</p>	適 用	有効土層の厚さ(m)	工 法	整備範囲	※行う ・行わない	※20	・	※植栽範囲 ・図示	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(m)	工 法	整備範囲	○12以上	※100	・	※A種 ・葉取りの範囲	○7以上~12未満	※80	・	・B種	○3以上~7未満	※60	・	・C種 ○明示	○3未満	※50	・	・D種	<p>⑫ ユニツト及びその他の工事(外構)</p> <p>⑯ 正門・袖門扉</p> <p>材 質 7R3製7R3・支柱、基礎含む、詳細は図示による 寸 法 H1800 その他図示 製造所 三協立山「大型引戸扉 ライディートM型」 又は同等品 (袖門扉：電気錠対応)</p> <p>⑰ 通用門</p> <p>材 質 7R3製7R3・支柱、基礎含む、詳細は図示による 寸 法 H1800 その他図示 製造所 三協立山「大型門扉「フレラインフォルテ」1型 格子タイプ」 又は同等品</p> <p>⑱ サービスマン</p> <p>材 質 7R3製・支柱、基礎含む、詳細は図示による 寸 法 W2000×H1800 製造所 四国化成「ALXF18-(S)2010F」 又は同等品</p> <p>⑳ 駐車場門扉</p> <p>材 質 7R3製・支柱、基礎含む、詳細は図示による 寸 法 図示 製造所 四国化成「ALXF18-(S)705S」 又は同等品</p>	<p>㉑ 防球ネット(8m) [防球ネットA]</p> <p>コックルネット(H=8.0+基礎3m) ネット φ1.26 40mm間隔以上 ジョイントビーム・ハンド金物・ボルト類は溶融亜鉛メッキ仕上 製造所 大日エンジニアリング 又は同等品</p> <p>㉒ 防球ネット(8m) [防球ネットB]</p> <p>鋼製φ4(H=8.0+基礎1.95m) 菱形金網φ2.6 40mm目 防球ネット1mm目 同等以上 ジョイントビーム・ハンド金物・ボルト類は溶融亜鉛メッキ仕上 製造所 朝日スチール工業「朝日S-P防球フェンスH8-1型」 又は同等品</p> <p>㉓ 防球ネット(5m) [防球ネットC]</p> <p>鋼製φ4(H=5.0+基礎1.8m) エコネット365T/56本40mm目、防球ネット1mm目 同等以上 ジョイントビーム・ハンド金物・ボルト類は溶融亜鉛メッキ仕上 製造所 朝日スチール工業「朝日S-P防球フェンスH5-3型」 又は同等品</p> <p>㉔ 遊具</p> <p>仕様 ※詳細図参照 製造所 ニシオカ 又は同等品 ※強度・安全性に関してはメーカー責任とすること</p>																																
区 分		種 類																																																																									
表層	○一般地域	※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)																																																																									
	・寒冷地域	※密粒度アスファルト混合物(13F)																																																																									
基層 (基層を設ける場合)		※粗粒度アスファルト混合物(20) ・																																																																									
適 用	有効土層の厚さ(m)	工 法	整備範囲																																																																								
※行う ・行わない	※20	・	※植栽範囲 ・図示																																																																								
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(m)	工 法	整備範囲																																																																								
○12以上	※100	・	※A種 ・葉取りの範囲																																																																								
○7以上~12未満	※80	・	・B種																																																																								
○3以上~7未満	※60	・	・C種 ○明示																																																																								
○3未満	※50	・	・D種																																																																								
<p>作成日 2025.03</p> <p>工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事</p> <p>図面名称 <前半工事> 特記仕様書 その8 幅尺 A1: - A3: -</p> <p>図面番号 A011</p>																																																																											



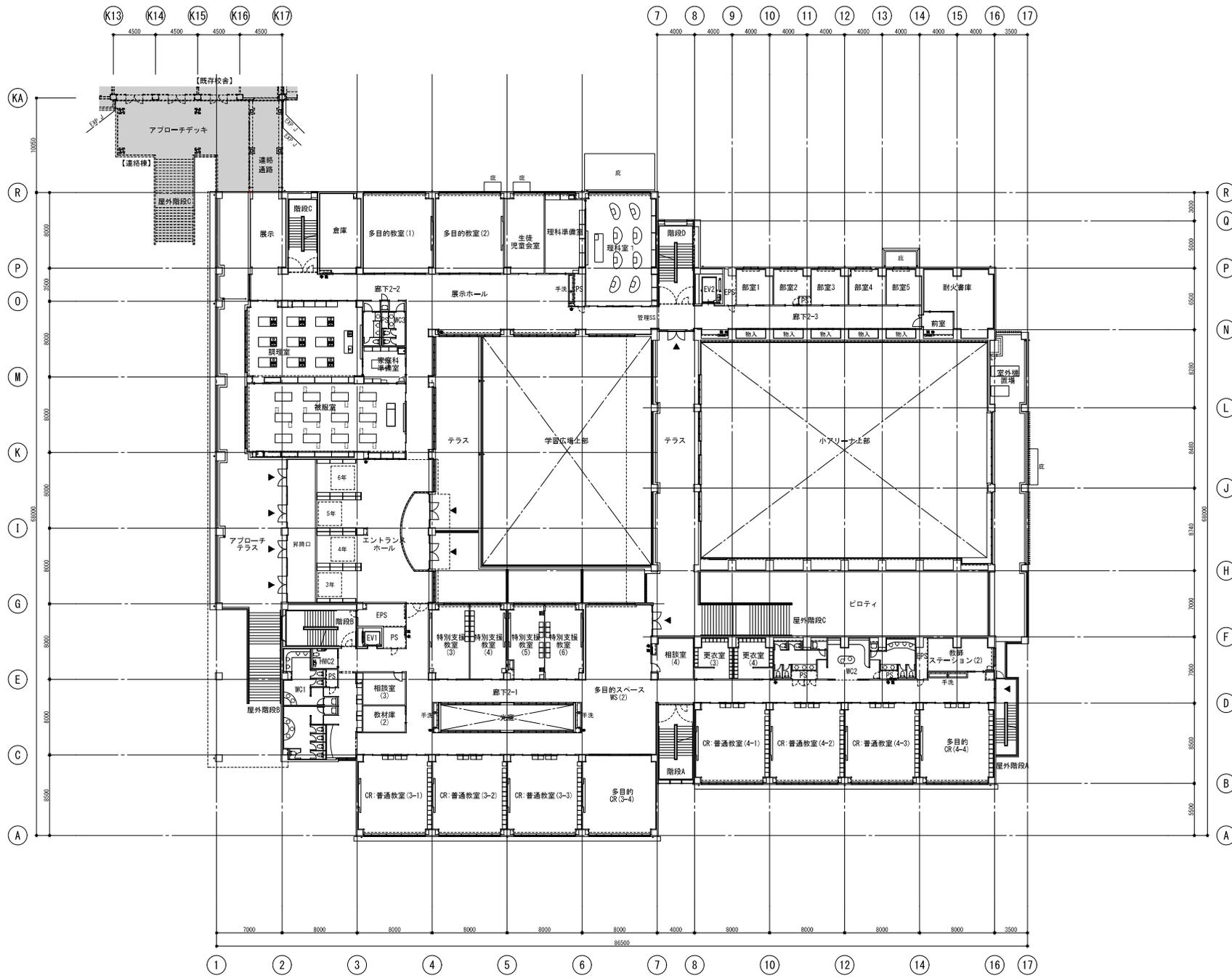
既存建物		作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 現況図 縮尺 A1: 1/500 A3: 1/1000	図面番号 A018
------	--	----------------	--	--------------



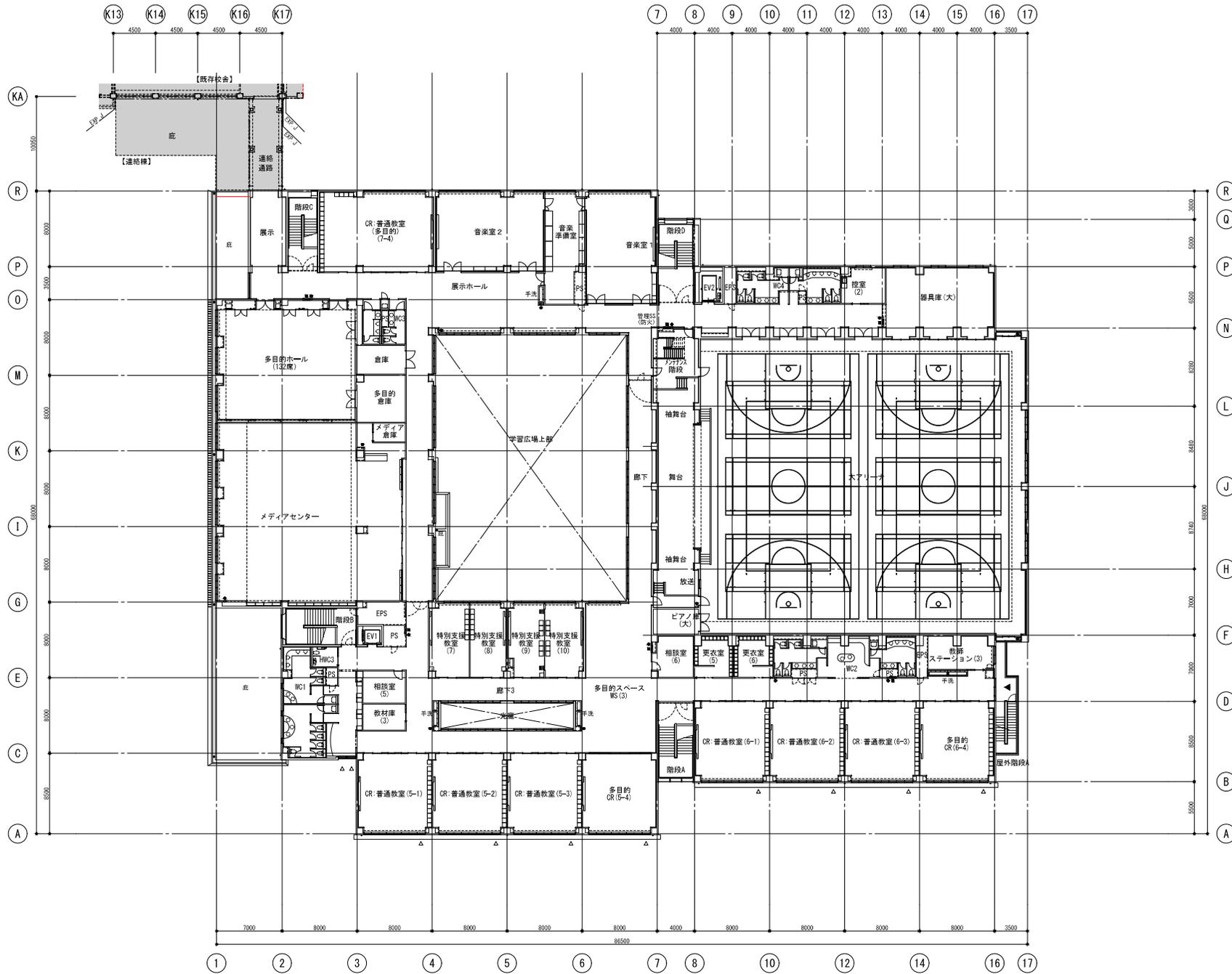
<p>■ 計画建物 (前半工事)</p> <p>▨ 改修予定建物 (後半工事)</p> <p>▤ 解体予定建物 (後半工事)</p> <p>□ 工事外範囲</p>	<p>作成日 2025.03</p>	<p>工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 配置図 縮尺 A1: 1/500 A3: 1/1000</p> <p>図面番号 A019</p>
---	--------------------	---



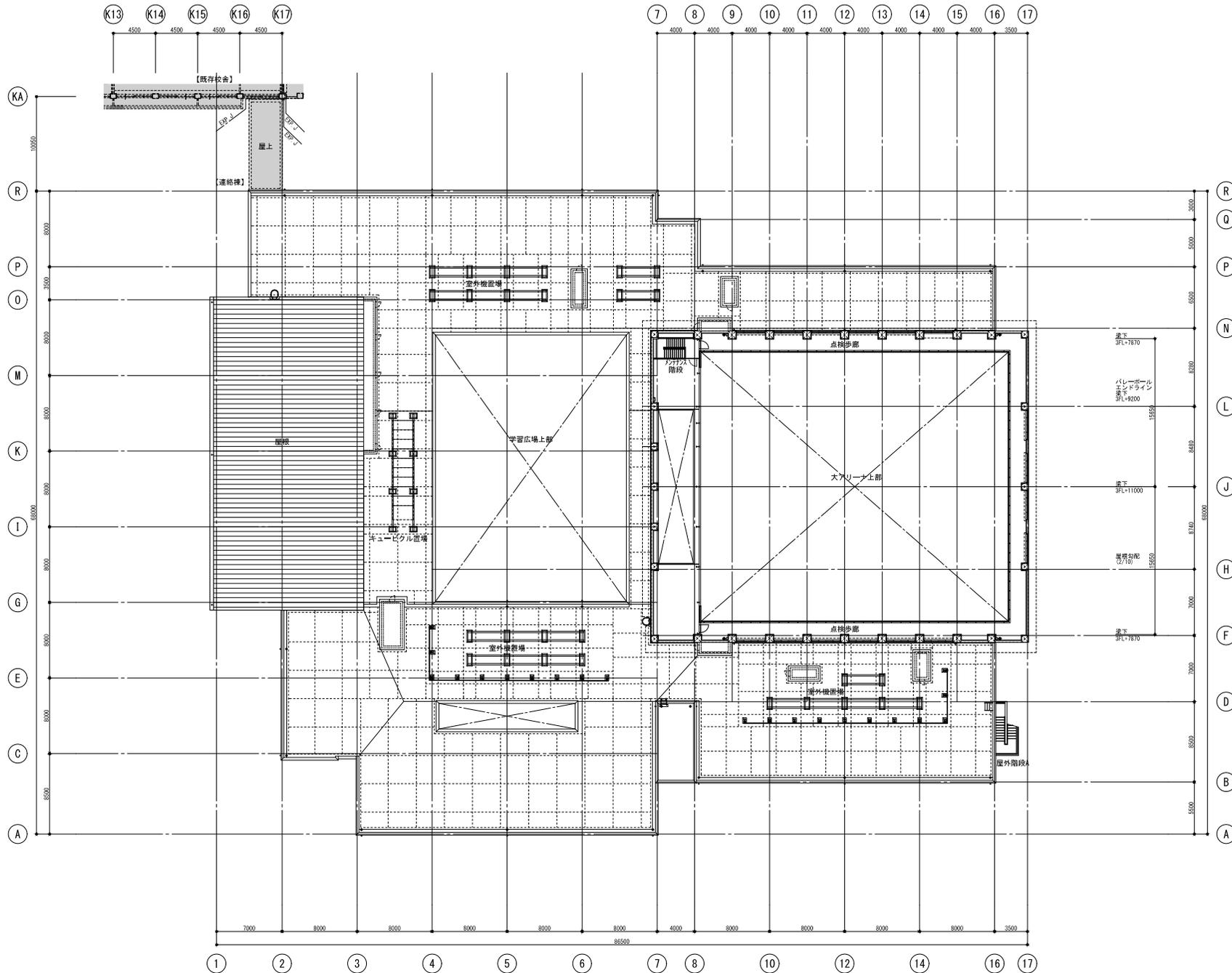
凡例	☐	屋内消火栓 (設備工事)	SS	網懸シャッター	後半工事範囲	作成日	2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号
	☑	屋内消火栓+消火器 (設備工事)	☑	床下床下口 (500×600) 下部SUS317 4段					
	☑	消火器ボックスA (全埋込)	☑	モンテール (600C) 下部SUS317 4段				縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	
	●	消火器ボックスB (露型)							A021



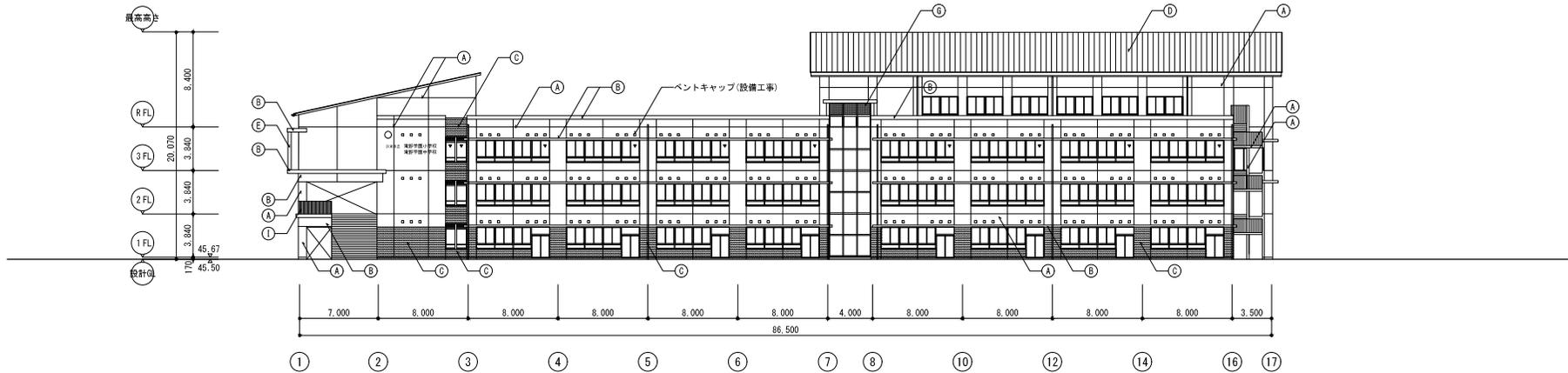
凡例	■ 屋内消火栓 (設備工事)	SS	網製シャッター	後半工事範囲	作成日	2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号
	■ 屋内消火栓+消火器 (設備工事)						図面名称 <前半工事> 2階平面図	A022
	■ 消火器ボックスA (全埋込)						縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	
	● 消火器ボックスB (露型)							



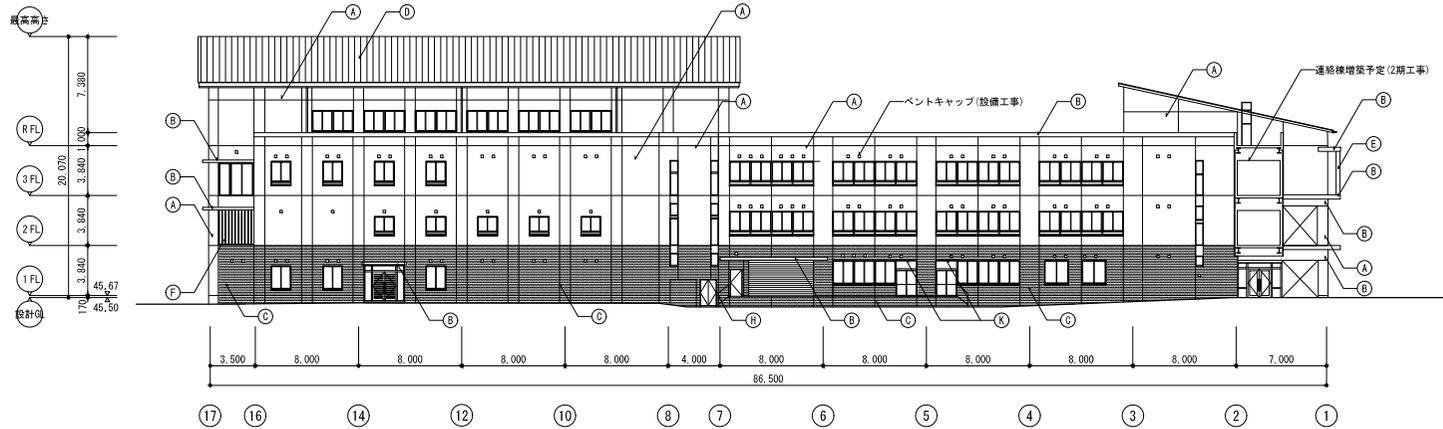
凡例	<ul style="list-style-type: none"> ■ 屋内消火栓 (設備工事) ■ 屋内消火栓+消火器 (設備工事) ■ 消火器ボックスA (全埋込) ● 消火器ボックスB (露型) 	SS	網製シャッター	竣工工事範囲	作成日	2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 3階平面図	図面番号 A023
							縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	



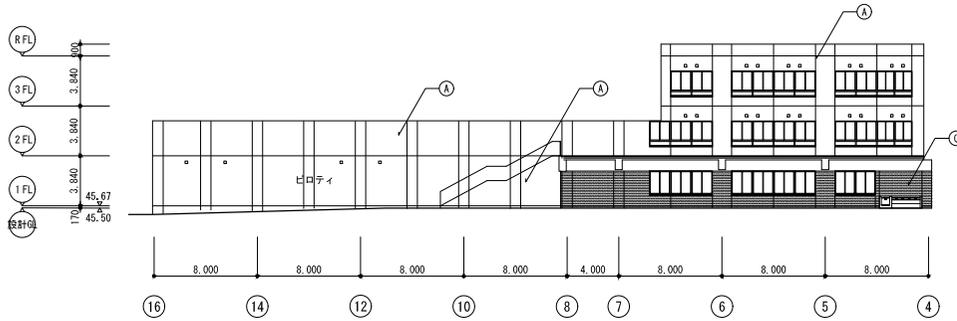
凡例		屋内消火栓（設備工事）	SS	網製シャッター	後半工事範囲	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 屋上階平面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A024
		屋内消火栓+消火器（設備工事）						
		消火器ボックスA（全埋込）						
		消火器ボックスB（露型）						



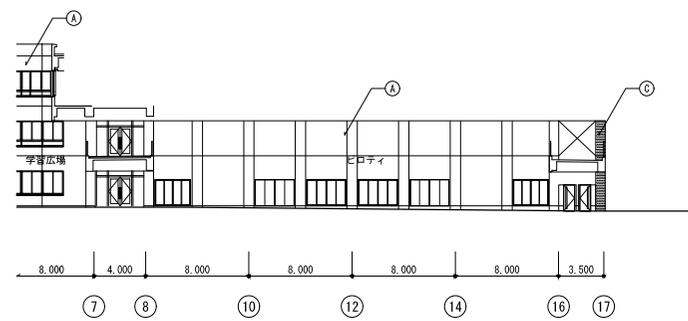
南立面図



北立面図

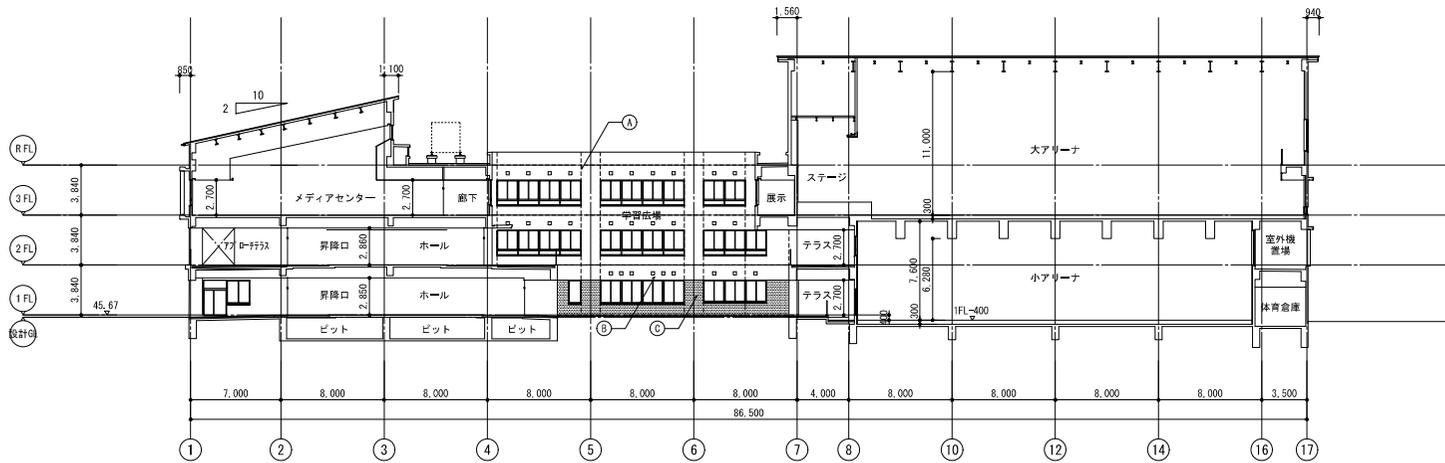


学習広場・ピロティ立面図

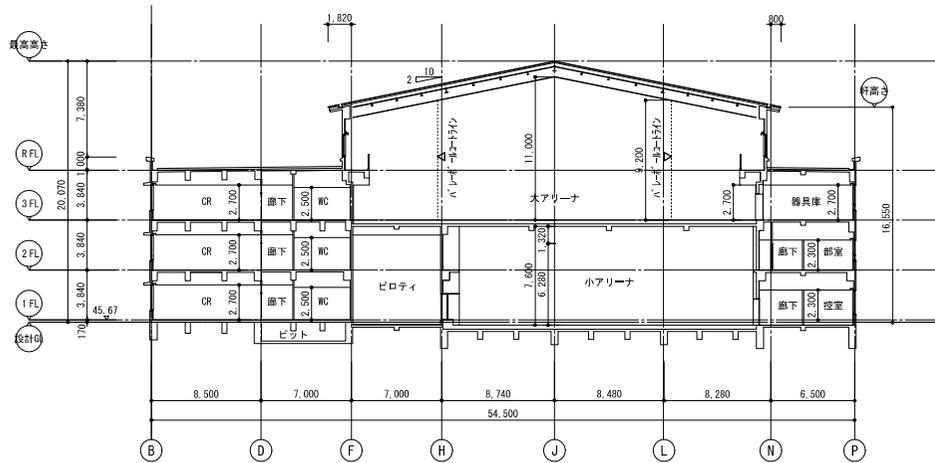


学習広場・ピロティ立面図

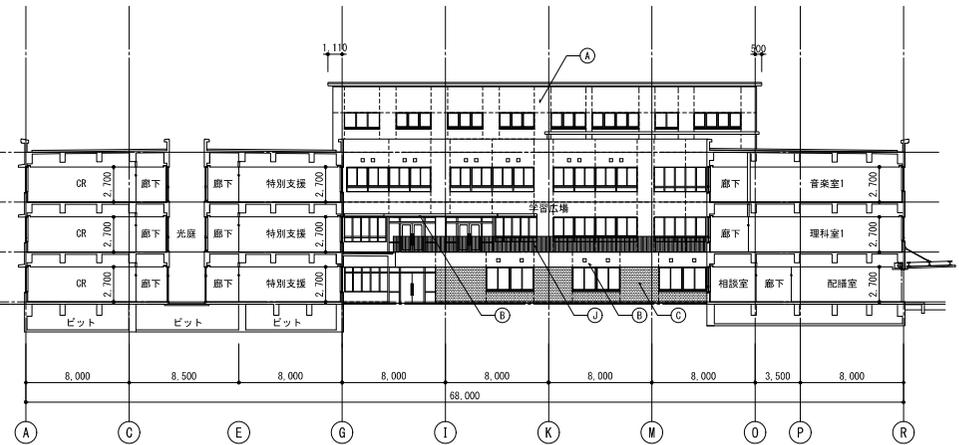
Ⓐ 外装吹付材A	Ⓔ ECPルーバー	⓫ 外部手摺2					作成日	2025_03	工事名称	令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事	図面番号
Ⓑ 外装吹付材B	Ⓚ アルミルーバー	⓬ 外部手摺1							図面名称	<前半工事>	A025
Ⓒ RC打敷し(A)の上カラークリア	Ⓛ アルミサンドレル	Ⓜ アルミ庇							立面図	その他	
Ⓓ 金属屋根	Ⓝ 転落防止手摺								縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400	



イ - イ 断面図

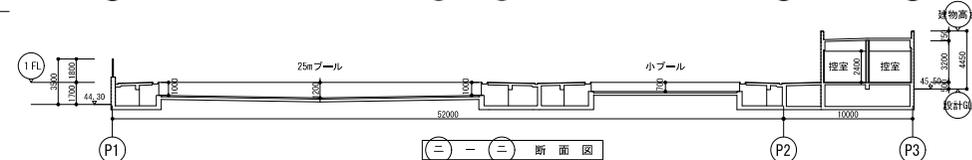
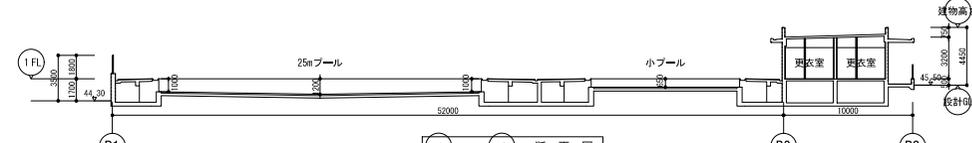
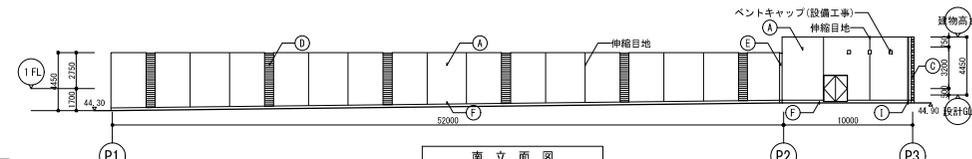
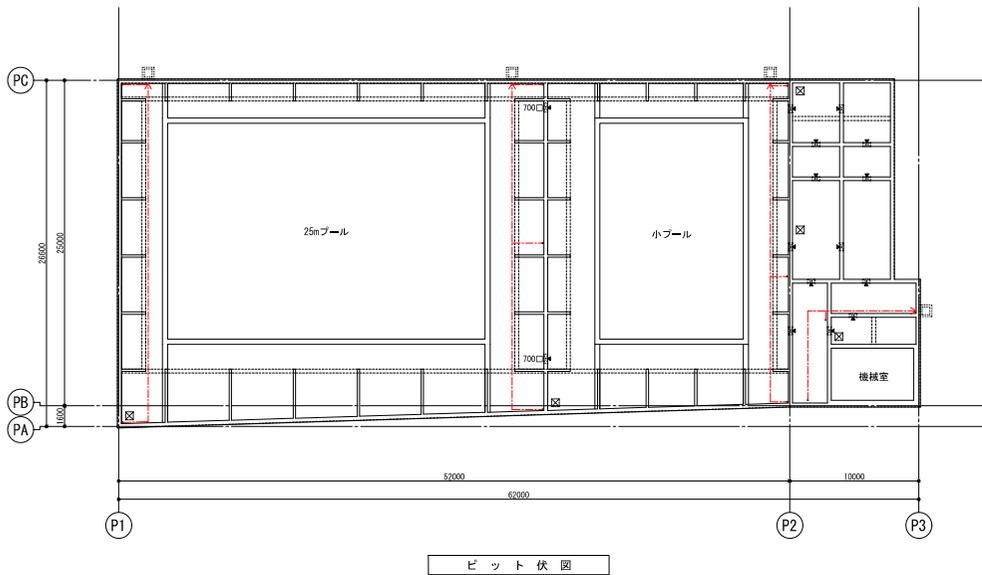
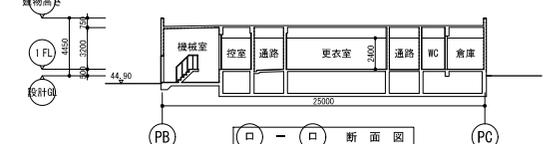
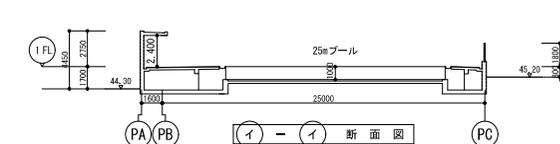
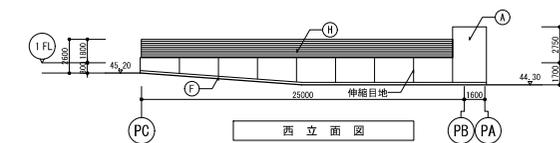
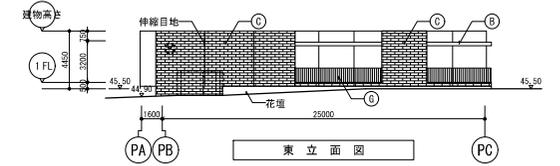
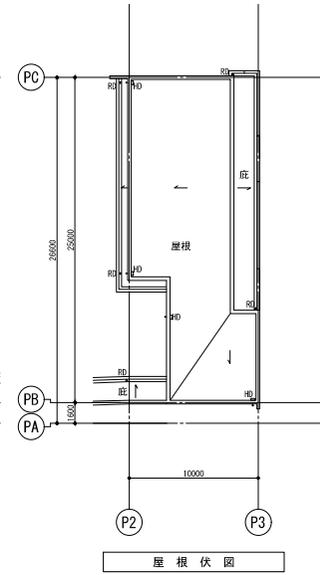
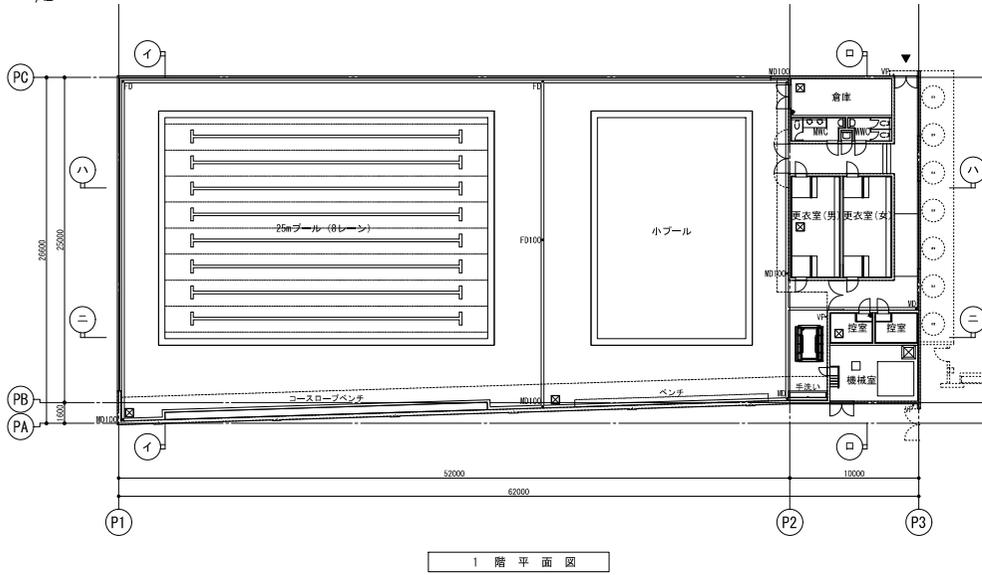


ロ - ロ 断面図



ハ - ハ 断面図

<ul style="list-style-type: none"> Ⓐ 外装吹付材A Ⓑ 外装吹付材B Ⓒ RC打放し(A)の上カラークリア Ⓓ 金属屋根 	<ul style="list-style-type: none"> Ⓔ ECPルーバー Ⓕ アルミルーバー Ⓖ アルミハンドレル Ⓗ 落下防止手摺 	<ul style="list-style-type: none"> ① 外部手摺? ② 外部手摺! 	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> 断面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A027
--	--	--	----------------	---	--------------



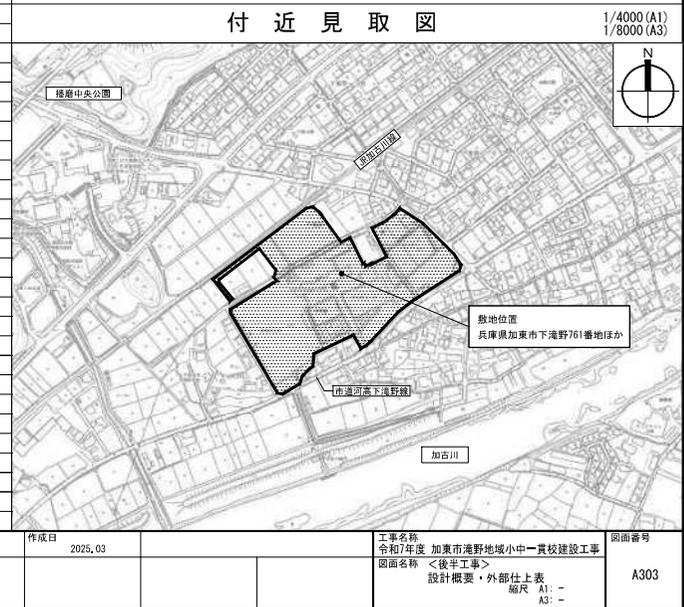
平面図凡例 ① 換気口(ラップ4段付) ② 大天井 特形ない張り 600φ (VP用) ③ 浴衣室 (VPφ100並列)及び通気室 (VPφ100)を各2ヶ所 ④ 浴衣室 ⑤ 特形ない張り VP75	立面図凡例 ① 外装タイル張り ② 外装タイル張り ③ 外装タイル張り ④ 外装タイル張り ⑤ 外装タイル張り ⑥ 外装タイル張り ⑦ 外装タイル張り ⑧ 外装タイル張り ⑨ 外装タイル張り ⑩ 外装タイル張り	① R/R付き型特打放し(A)の上カラークリア ② R/R付し(A)の上カラークリア ③ R/R付し(A)の上撥水材塗布	① 外部手摺 ② 目隠しフェンス ③ 塩ビ製壁種	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <前半工事> プール棟 平面図・立面図・断面図 幅A1: 1,200 幅A3: 1,400	図面番号 A028
---	--	--	--------------------------------	----------------	---	--------------

設計概要

外部仕上表

1. 工事名称 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事				13. 面積				⑥、中学校教室棟																																																																																																											
2. 主要用途 小学校・中学校				イ、建築面積 本工事部分 2662.13 m ² 本工事以外の部分 5271.46 m ² (合計) 7933.59 m ² 建ぺい率 15.68%				1) 屋根 屋上 シート防水 バルコニー、庇 塗膜防水																																																																																																											
3. 敷地位置 兵庫県加東市下滝野761番地ほか				ロ、延べ面積 本工事部分 5394.97 m ² 本工事以外の部分 12212.72 m ² (合計) 17607.69 m ²				2) 外壁 一般部 外装吹付材C 3) 外部建具 一般部 既存サッシカバー工法改修 BB-2種																																																																																																											
4. 工事種別 増築・改修				ハ、自転車置場床面積 579.60 m ²				4) 床 1階中央ホール 床用タイルA 5) 天井 軒天 リシン吹付																																																																																																											
5. 区域の指定 市街化調整区域 (R6年時点) → 市街化区域 (R8年3月予定)				ニ、エレベーター昇降路の面積 87.89 m ²				⑦、連絡通路棟																																																																																																											
6. 用途地域の指定 指定なし (R6年時点) → 第一種中高層住居専用地域 (R8年3月予定) 許容建ぺい率 : 60% 許容容積率 : 200%				ホ、容積対象延べ面積 16940.20 m ² 容積率 33.47%				1) 屋根 屋上 複合塗膜防水 2) 外壁 一般部 押出成形セメント板の上装吹付材A 3) 外部建具 一般部 アルミサッシ BB-2種 4) 床 2階アプローチデッキ 床用タイルA 5) 天井 軒天 ケイ酸カルシウム板厚6+6(下梁の上接着工法)の上FP-G塗装																																																																																																											
7. 防火地域の指定 指定なし (R6年時点) → 法22条区域 (R8年3月予定)				ヘ、各階面積表				⑧、EV棟																																																																																																											
8. その他の地区、地域の指定 道路斜線制限 : 1.5 (2.0m) (R6年時点) → 1.25 (2.0m) (R8年3月予定) 隣地斜線制限 : 1.25 (2.0m) 北側斜線 : なし (R6年時点) → 1.25 (1.0m) (R8年3月予定)				<table border="1"> <tr><th colspan="8">＜前半工事＞ 棟別各階床面積</th></tr> <tr><th>階</th><th>①増築校舎</th><th>②プール棟</th><th>③バス停上屋</th><th>④体育倉庫</th><th>⑤農具庫</th><th></th><th>小計①</th></tr> <tr><td>3階</td><td>4397.55 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2階</td><td>3193.48 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1階</td><td>4393.06 m²</td><td>199.10 m²</td><td>0.00 m²</td><td>9.12 m²</td><td>2.73 m²</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>11984.09 m²</td><td>199.10 m²</td><td>0.00 m²</td><td>9.12 m²</td><td>2.73 m²</td><td></td><td>12195.00 m²</td></tr> </table>				＜前半工事＞ 棟別各階床面積								階	①増築校舎	②プール棟	③バス停上屋	④体育倉庫	⑤農具庫		小計①	3階	4397.55 m ²							2階	3193.48 m ²							1階	4393.06 m ²	199.10 m ²	0.00 m ²	9.12 m ²	2.73 m ²			計	11984.09 m ²	199.10 m ²	0.00 m ²	9.12 m ²	2.73 m ²		12195.00 m ²	1) 屋根 屋上 複合塗膜防水 2) 外壁 一般部 押出成形セメント板の上装吹付材A 3) その他 種 カラー塩ビ縦種																																																											
＜前半工事＞ 棟別各階床面積																																																																																																																			
階	①増築校舎	②プール棟	③バス停上屋	④体育倉庫	⑤農具庫		小計①																																																																																																												
3階	4397.55 m ²																																																																																																																		
2階	3193.48 m ²																																																																																																																		
1階	4393.06 m ²	199.10 m ²	0.00 m ²	9.12 m ²	2.73 m ²																																																																																																														
計	11984.09 m ²	199.10 m ²	0.00 m ²	9.12 m ²	2.73 m ²		12195.00 m ²																																																																																																												
9. その他の規制 なし				<table border="1"> <tr><th colspan="8">＜後半工事＞ 棟別各階床面積</th></tr> <tr><th>階</th><th>⑥中学校教室棟</th><th>⑦連絡通路棟</th><th>⑧EV棟</th><th>⑨技術棟</th><th>⑩駐輪場</th><th>⑪部室棟</th><th>⑫ごみ庫</th><th>⑬防災倉庫</th><th>小計②</th></tr> <tr><td>R階</td><td>27.96 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4階</td><td>1023.97 m²</td><td></td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3階</td><td>1023.97 m²</td><td>35.17 m²</td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2階</td><td>1019.31 m²</td><td>42.17 m²</td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1階</td><td>935.84 m²</td><td>0.00 m²</td><td>15.30 m²</td><td>450.00 m²</td><td>579.60 m²</td><td>176.04 m²</td><td>10.33 m²</td><td>9.41 m²</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>4031.05 m²</td><td>77.34 m²</td><td>61.20 m²</td><td>450.00 m²</td><td>579.60 m²</td><td>176.04 m²</td><td>10.33 m²</td><td>9.41 m²</td><td>5394.97 m²</td></tr> </table>				＜後半工事＞ 棟別各階床面積								階	⑥中学校教室棟	⑦連絡通路棟	⑧EV棟	⑨技術棟	⑩駐輪場	⑪部室棟	⑫ごみ庫	⑬防災倉庫	小計②	R階	27.96 m ²									4階	1023.97 m ²		15.30 m ²							3階	1023.97 m ²	35.17 m ²	15.30 m ²							2階	1019.31 m ²	42.17 m ²	15.30 m ²							1階	935.84 m ²	0.00 m ²	15.30 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²		計	4031.05 m ²	77.34 m ²	61.20 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²	5394.97 m ²	⑨、技術棟 1) 屋根 屋上 改修なし 2) 外壁 一般部 外装吹付材C 3) 外部建具 一般部 既存サッシカバー工法改修 BB-2種 4) 天井 軒天 リシン吹付																													
＜後半工事＞ 棟別各階床面積																																																																																																																			
階	⑥中学校教室棟	⑦連絡通路棟	⑧EV棟	⑨技術棟	⑩駐輪場	⑪部室棟	⑫ごみ庫	⑬防災倉庫	小計②																																																																																																										
R階	27.96 m ²																																																																																																																		
4階	1023.97 m ²		15.30 m ²																																																																																																																
3階	1023.97 m ²	35.17 m ²	15.30 m ²																																																																																																																
2階	1019.31 m ²	42.17 m ²	15.30 m ²																																																																																																																
1階	935.84 m ²	0.00 m ²	15.30 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²																																																																																																											
計	4031.05 m ²	77.34 m ²	61.20 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²	5394.97 m ²																																																																																																										
10. 敷地 イ、敷地面積 50608.67 m ² ロ、前面道路市員 ・北側 : 市道 5.8m (市道4070号) ・南側 : 市道 11.0m (市道1205号河高下滝野線) ・東側 : 市道 7.6m (市道4074号) ・西側 : 市道 4.0m (市道4070号)				<table border="1"> <tr><th colspan="8">＜後半工事＞ 棟別各階床面積</th></tr> <tr><th>階</th><th>⑥中学校教室棟</th><th>⑦連絡通路棟</th><th>⑧EV棟</th><th>⑨技術棟</th><th>⑩駐輪場</th><th>⑪部室棟</th><th>⑫ごみ庫</th><th>⑬防災倉庫</th><th>小計②</th></tr> <tr><td>R階</td><td>27.96 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4階</td><td>1023.97 m²</td><td></td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3階</td><td>1023.97 m²</td><td>35.17 m²</td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2階</td><td>1019.31 m²</td><td>42.17 m²</td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1階</td><td>935.84 m²</td><td>0.00 m²</td><td>15.30 m²</td><td>450.00 m²</td><td>579.60 m²</td><td>176.04 m²</td><td>10.33 m²</td><td>9.41 m²</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>4031.05 m²</td><td>77.34 m²</td><td>61.20 m²</td><td>450.00 m²</td><td>579.60 m²</td><td>176.04 m²</td><td>10.33 m²</td><td>9.41 m²</td><td>5394.97 m²</td></tr> </table>				＜後半工事＞ 棟別各階床面積								階	⑥中学校教室棟	⑦連絡通路棟	⑧EV棟	⑨技術棟	⑩駐輪場	⑪部室棟	⑫ごみ庫	⑬防災倉庫	小計②	R階	27.96 m ²									4階	1023.97 m ²		15.30 m ²							3階	1023.97 m ²	35.17 m ²	15.30 m ²							2階	1019.31 m ²	42.17 m ²	15.30 m ²							1階	935.84 m ²	0.00 m ²	15.30 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²		計	4031.05 m ²	77.34 m ²	61.20 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²	5394.97 m ²	⑩、駐輪場 1) 屋根 屋上 折半屋根 フッ素ガルバリウム鋼板 2) 外壁 柱・梁 海融塗料めっきの上PP塗装 3) その他 種 カラー塩ビ縦種																													
＜後半工事＞ 棟別各階床面積																																																																																																																			
階	⑥中学校教室棟	⑦連絡通路棟	⑧EV棟	⑨技術棟	⑩駐輪場	⑪部室棟	⑫ごみ庫	⑬防災倉庫	小計②																																																																																																										
R階	27.96 m ²																																																																																																																		
4階	1023.97 m ²		15.30 m ²																																																																																																																
3階	1023.97 m ²	35.17 m ²	15.30 m ²																																																																																																																
2階	1019.31 m ²	42.17 m ²	15.30 m ²																																																																																																																
1階	935.84 m ²	0.00 m ²	15.30 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²																																																																																																											
計	4031.05 m ²	77.34 m ²	61.20 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²	5394.97 m ²																																																																																																										
11. 構造・規模 ※イ、構造 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 増築校舎 鉄筋コンクリート造 プール棟 鉄骨造 鉄骨造 バス停上屋、体育倉庫、農具庫 EV棟、連絡通路、技術棟、駐輪場 ごみ庫、防災倉庫				<table border="1"> <tr><th colspan="8">＜後半工事＞ 棟別各階床面積</th></tr> <tr><th>階</th><th>⑥中学校教室棟</th><th>⑦連絡通路棟</th><th>⑧EV棟</th><th>⑨技術棟</th><th>⑩駐輪場</th><th>⑪部室棟</th><th>⑫ごみ庫</th><th>⑬防災倉庫</th><th>小計②</th></tr> <tr><td>R階</td><td>27.96 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4階</td><td>1023.97 m²</td><td></td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3階</td><td>1023.97 m²</td><td>35.17 m²</td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2階</td><td>1019.31 m²</td><td>42.17 m²</td><td>15.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1階</td><td>935.84 m²</td><td>0.00 m²</td><td>15.30 m²</td><td>450.00 m²</td><td>579.60 m²</td><td>176.04 m²</td><td>10.33 m²</td><td>9.41 m²</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td>4031.05 m²</td><td>77.34 m²</td><td>61.20 m²</td><td>450.00 m²</td><td>579.60 m²</td><td>176.04 m²</td><td>10.33 m²</td><td>9.41 m²</td><td>5394.97 m²</td></tr> </table>				＜後半工事＞ 棟別各階床面積								階	⑥中学校教室棟	⑦連絡通路棟	⑧EV棟	⑨技術棟	⑩駐輪場	⑪部室棟	⑫ごみ庫	⑬防災倉庫	小計②	R階	27.96 m ²									4階	1023.97 m ²		15.30 m ²							3階	1023.97 m ²	35.17 m ²	15.30 m ²							2階	1019.31 m ²	42.17 m ²	15.30 m ²							1階	935.84 m ²	0.00 m ²	15.30 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²		計	4031.05 m ²	77.34 m ²	61.20 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²	5394.97 m ²	⑪、部室棟 1) 屋根 屋上 塗膜防水 (指定色) 2) 外壁 一般部 コンクリート打放し (B種) の上装吹付材A 3) 外部建具 一般部 鋼製建具 DP塗装 4) 天井 軒天 リシン吹付 5) その他 種 カラー塩ビ縦種																													
＜後半工事＞ 棟別各階床面積																																																																																																																			
階	⑥中学校教室棟	⑦連絡通路棟	⑧EV棟	⑨技術棟	⑩駐輪場	⑪部室棟	⑫ごみ庫	⑬防災倉庫	小計②																																																																																																										
R階	27.96 m ²																																																																																																																		
4階	1023.97 m ²		15.30 m ²																																																																																																																
3階	1023.97 m ²	35.17 m ²	15.30 m ²																																																																																																																
2階	1019.31 m ²	42.17 m ²	15.30 m ²																																																																																																																
1階	935.84 m ²	0.00 m ²	15.30 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²																																																																																																											
計	4031.05 m ²	77.34 m ²	61.20 m ²	450.00 m ²	579.60 m ²	176.04 m ²	10.33 m ²	9.41 m ²	5394.97 m ²																																																																																																										
ロ、地 業 増築校舎 : 直接基礎 (地盤改良併用) ・ EV棟 : 既製杭				<table border="1"> <tr><th colspan="8">※既存建物床面積</th></tr> <tr><th>階</th><th>⑭渡り廊下 (1)</th><th>⑮危険物庫</th><th>⑯物置 (1)</th><th>⑰物置 (2)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> <tr><td>構造-階数</td><td>S・IF</td><td>CB・IF</td><td>S・IF</td><td>S・IF</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>0.00 m²</td><td>3.99 m²</td><td>4.78 m²</td><td>3.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>43.00 m²</td><td>3.99 m²</td><td>4.78 m²</td><td>3.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				※既存建物床面積								階	⑭渡り廊下 (1)	⑮危険物庫	⑯物置 (1)	⑰物置 (2)						構造-階数	S・IF	CB・IF	S・IF	S・IF						延床面積	0.00 m ²	3.99 m ²	4.78 m ²	3.30 m ²						建築面積	43.00 m ²	3.99 m ²	4.78 m ²	3.30 m ²																																																																	
※既存建物床面積																																																																																																																			
階	⑭渡り廊下 (1)	⑮危険物庫	⑯物置 (1)	⑰物置 (2)																																																																																																															
構造-階数	S・IF	CB・IF	S・IF	S・IF																																																																																																															
延床面積	0.00 m ²	3.99 m ²	4.78 m ²	3.30 m ²																																																																																																															
建築面積	43.00 m ²	3.99 m ²	4.78 m ²	3.30 m ²																																																																																																															
ハ、階 数 増築校舎 : 地上3階 プール棟、バス停上屋、体育倉庫、農具庫 : 地上1階				<table border="1"> <tr><th colspan="8">※既存建物床面積</th></tr> <tr><th>階</th><th>⑭渡り廊下 (1)</th><th>⑮危険物庫</th><th>⑯物置 (1)</th><th>⑰物置 (2)</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr> <tr><td>構造-階数</td><td>S・IF</td><td>CB・IF</td><td>S・IF</td><td>S・IF</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>延床面積</td><td>0.00 m²</td><td>3.99 m²</td><td>4.78 m²</td><td>3.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>43.00 m²</td><td>3.99 m²</td><td>4.78 m²</td><td>3.30 m²</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				※既存建物床面積								階	⑭渡り廊下 (1)	⑮危険物庫	⑯物置 (1)	⑰物置 (2)						構造-階数	S・IF	CB・IF	S・IF	S・IF						延床面積	0.00 m ²	3.99 m ²	4.78 m ²	3.30 m ²						建築面積	43.00 m ²	3.99 m ²	4.78 m ²	3.30 m ²																																																																	
※既存建物床面積																																																																																																																			
階	⑭渡り廊下 (1)	⑮危険物庫	⑯物置 (1)	⑰物置 (2)																																																																																																															
構造-階数	S・IF	CB・IF	S・IF	S・IF																																																																																																															
延床面積	0.00 m ²	3.99 m ²	4.78 m ²	3.30 m ²																																																																																																															
建築面積	43.00 m ²	3.99 m ²	4.78 m ²	3.30 m ²																																																																																																															
12. 各部の高さ イ、設計GLの指定 4.5、5.0 ロ、標準地盤面の設定 校舎棟 (45.349)、プール棟 (45.208)、部室棟 (44.855)、駐輪場 (45.389)、ごみ庫 (45.200)、技術棟 (45.283)、バス停上屋 (45.000)、体育倉庫 (45.120)、農具庫 (43.900)、防災倉庫 (45.200)				<table border="1"> <tr><th colspan="8">⑱物置 (3)</th></tr> <tr><th>階</th><th>⑱物置 (3)</th><th>⑲物置 (4)</th><th>⑳物置 (5)</th><th></th><th>小計③</th><th>合計 (①+②+③)</th><th></th></tr> <tr><td>1階</td><td>1.07 m²</td><td>2.99 m²</td><td>1.55 m²</td><td></td><td>17.68 m²</td><td>17607.69 m²</td><td></td></tr> <tr><td>建築面積</td><td>1.07 m²</td><td>2.99 m²</td><td>1.55 m²</td><td></td><td>60.68 m²</td><td>7933.59 m²</td><td></td></tr> </table>				⑱物置 (3)								階	⑱物置 (3)	⑲物置 (4)	⑳物置 (5)		小計③	合計 (①+②+③)		1階	1.07 m ²	2.99 m ²	1.55 m ²		17.68 m ²	17607.69 m ²		建築面積	1.07 m ²	2.99 m ²	1.55 m ²		60.68 m ²	7933.59 m ²																																																																													
⑱物置 (3)																																																																																																																			
階	⑱物置 (3)	⑲物置 (4)	⑳物置 (5)		小計③	合計 (①+②+③)																																																																																																													
1階	1.07 m ²	2.99 m ²	1.55 m ²		17.68 m ²	17607.69 m ²																																																																																																													
建築面積	1.07 m ²	2.99 m ²	1.55 m ²		60.68 m ²	7933.59 m ²																																																																																																													
ハ、建築物の高さ ＜令2条の六＞ ①増築校舎 : 標準地盤面 + 20.221 ②プール棟 : 標準地盤面 + 4.742 ③バス停上屋 : 標準地盤面 + 3.064 ④体育倉庫 : 標準地盤面 + 2.354 ⑤農具庫 : 標準地盤面 + 2.118				<table border="1"> <tr><th colspan="8">＜後半工事＞</th></tr> <tr><td>⑥中学校教室棟</td><td>標準地盤面 + 23.211</td><td>⑦連絡通路棟を含む</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑧EV棟</td><td>標準地盤面 + 15.191</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑨技術棟</td><td>標準地盤面 + 4.262</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑩駐輪場</td><td>標準地盤面 + 4.911</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑪部室棟</td><td>標準地盤面 + 4.405</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑫ごみ庫</td><td>標準地盤面 + 2.110</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑬防災倉庫</td><td>標準地盤面 + 2.485</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				＜後半工事＞								⑥中学校教室棟	標準地盤面 + 23.211	⑦連絡通路棟を含む						⑧EV棟	標準地盤面 + 15.191							⑨技術棟	標準地盤面 + 4.262							⑩駐輪場	標準地盤面 + 4.911							⑪部室棟	標準地盤面 + 4.405							⑫ごみ庫	標準地盤面 + 2.110							⑬防災倉庫	標準地盤面 + 2.485																																																		
＜後半工事＞																																																																																																																			
⑥中学校教室棟	標準地盤面 + 23.211	⑦連絡通路棟を含む																																																																																																																	
⑧EV棟	標準地盤面 + 15.191																																																																																																																		
⑨技術棟	標準地盤面 + 4.262																																																																																																																		
⑩駐輪場	標準地盤面 + 4.911																																																																																																																		
⑪部室棟	標準地盤面 + 4.405																																																																																																																		
⑫ごみ庫	標準地盤面 + 2.110																																																																																																																		
⑬防災倉庫	標準地盤面 + 2.485																																																																																																																		
ニ、軒 高 ①増築校舎 : 標準地盤面 + 16.671 ②プール棟 : 標準地盤面 + 3.992 ③バス停上屋 : 標準地盤面 + 3.064 ④体育倉庫 : 標準地盤面 + 2.354 ⑤農具庫 : 標準地盤面 + 2.118				<table border="1"> <tr><th colspan="8">＜後半工事＞</th></tr> <tr><td>⑥中学校教室棟</td><td>標準地盤面 + 16.711</td><td>⑦連絡通路棟を含む</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑧EV棟</td><td>標準地盤面 + 14.991</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑨技術棟</td><td>標準地盤面 + 3.877</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑩駐輪場</td><td>標準地盤面 + 2.850</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑪部室棟</td><td>標準地盤面 + 3.745</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑫ごみ庫</td><td>標準地盤面 + 2.110</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>⑬防災倉庫</td><td>標準地盤面 + 2.485</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				＜後半工事＞								⑥中学校教室棟	標準地盤面 + 16.711	⑦連絡通路棟を含む						⑧EV棟	標準地盤面 + 14.991							⑨技術棟	標準地盤面 + 3.877							⑩駐輪場	標準地盤面 + 2.850							⑪部室棟	標準地盤面 + 3.745							⑫ごみ庫	標準地盤面 + 2.110							⑬防災倉庫	標準地盤面 + 2.485																																																		
＜後半工事＞																																																																																																																			
⑥中学校教室棟	標準地盤面 + 16.711	⑦連絡通路棟を含む																																																																																																																	
⑧EV棟	標準地盤面 + 14.991																																																																																																																		
⑨技術棟	標準地盤面 + 3.877																																																																																																																		
⑩駐輪場	標準地盤面 + 2.850																																																																																																																		
⑪部室棟	標準地盤面 + 3.745																																																																																																																		
⑫ごみ庫	標準地盤面 + 2.110																																																																																																																		
⑬防災倉庫	標準地盤面 + 2.485																																																																																																																		
ホ、基礎深さ 1F基礎下端、増築校舎 : 標準地盤面 - 1.879、EV棟 : 標準地盤面 - 1.489				<table border="1"> <tr><th colspan="8">14. 工事範囲</th></tr> <tr><td colspan="8">○ 本 体 工 事</td></tr> <tr><td colspan="8">イ、建築工事</td></tr> <tr><td colspan="8">-1. 建築木体工事</td></tr> <tr><td colspan="8">-2. 外構舗装工事</td></tr> <tr><td colspan="8">-3. 昇降機工事</td></tr> <tr><td colspan="8">-4. 解体・撤去工事</td></tr> <tr><td colspan="8">ロ、電気設備工事</td></tr> <tr><td colspan="8">ハ、給排水衛生設備工事</td></tr> <tr><td colspan="8">ニ、空調設備工事</td></tr> <tr><td colspan="8">○ 別 途 工 事</td></tr> <tr><td colspan="8">イ、備品家具工事 (図中特記外)</td></tr> <tr><td colspan="8">ロ、カーテン・ブラインド工事</td></tr> </table>				14. 工事範囲								○ 本 体 工 事								イ、建築工事								-1. 建築木体工事								-2. 外構舗装工事								-3. 昇降機工事								-4. 解体・撤去工事								ロ、電気設備工事								ハ、給排水衛生設備工事								ニ、空調設備工事								○ 別 途 工 事								イ、備品家具工事 (図中特記外)								ロ、カーテン・ブラインド工事											
14. 工事範囲																																																																																																																			
○ 本 体 工 事																																																																																																																			
イ、建築工事																																																																																																																			
-1. 建築木体工事																																																																																																																			
-2. 外構舗装工事																																																																																																																			
-3. 昇降機工事																																																																																																																			
-4. 解体・撤去工事																																																																																																																			
ロ、電気設備工事																																																																																																																			
ハ、給排水衛生設備工事																																																																																																																			
ニ、空調設備工事																																																																																																																			
○ 別 途 工 事																																																																																																																			
イ、備品家具工事 (図中特記外)																																																																																																																			
ロ、カーテン・ブラインド工事																																																																																																																			

付近見取図



I 工事概要

1. 工事場所 設計概要による

2. 敷地面積 設計概要による

3. 建物概要 設計概要による

主要用途 / 構造・規模 / 建築面積 / 延べ面積

4. 工事内容
改修工事
○防水改修工事 ○外壁改修工事 ○内装改修工事
○塗装改修工事 ○耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の整体改修工事
・環境配慮改修工事

5. 工事内容
①既存校舍改修工事：上記工事種目に伴う大規模改修
②増築校舎接続工事：連絡棟の新設
③E.V.棟建替え工事：既存解体、新築
④付属施設新築工事：駐輪棟・廊下棟の新築
⑤既存施設解体工事：体育館、廊下棟、遊り広場、倉庫等の撤去
⑥外構関連整備工事：グラウンド、交流広場、駐車場ほか
⑦敷地周辺整備工事：道路拡張、歩道整備

II 建築改修工事特記仕様

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	①適用	(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁賞格部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「改修仕様」という。）による。また、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁賞格部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「仕様」という。）による。 (2) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (3) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 (4) 特記事項に記載の○印の付いた場合は、※印の付いたものを適用する。 (5) 特記事項に記載の□印の付いた場合は、共に適用する。 (6) 製造所名は、順不同とし「株式会社」等の記載は省略する。 (7) 特記仕様書に記載の「監督職員」とは、工事契約に基づき、官公庁発注工事においては監督職員、監督員又は監督官をいい、民間発注工事においては監督者をいう。 (8) 書面を提出する場合の書式（工事記録等を含む）は、発注者の指定する書式とする。発注者の指定がない場合は、監督者が指示する書式とする。
	②優先順位	設計図書の優先順位は下記による。 [1.1.1] (1) 質疑回答書（2）～（5）までに対するもの (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 改修工事標準仕様書
	③適用基準等	建築物解体工事共通仕様書 令和4年版 国土交通省大臣官庁官庁賞格部監修建築改修工事標準仕様書 令和4年版 国土交通省大臣官庁官庁賞格部監修建築改修工事写真撮影要領 令和5年版 国土交通省大臣官庁官庁賞格部監修建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年度第9編 昇降機設備工事
	④工事実績情報	サービスへの登録（コリンズ（COLINS）） 工事実績情報（受注時・変更及び完成時は、あらかじめ監督職員の確認を受け、登録履歴へ登録する。 （財）日本建設情報総合センター（JACIC）より発行された登録内容確認書を監督員に提出する。
	⑤設計図書の取扱	本工事設計CADデータの貸与 [1.1.6] 貸与したCADデータは、本工事に必要な施工図作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。当該CADデータは完成時に全て返却することとし工事受注者において工事期間中に複製または再配布している場合はすべて削除すること。 貸与するCADデータは設計業務の成果品であり、著作権に該当する場合、著作権法に規定する著作権者の権利は設計者に帰属する。

⑥品質計画

◎風圧力及び積雪荷重に対応した品質計画の策定 [1.2.2]
施工計画書の作成に際しては、以下の項目について指定された条件により建築基準法に基づき定まる風圧力（到着の特記がある場合は到着後の風圧力）積雪荷重に対応した品質及び工法を品質計画で定めること（但し、外壁に用いる場合に限る）

通用項目
ALCパネル・押出成形セメント板工、石工事（乾式工法）
合成高分子系ルーフィング防水工事（機械的固定工法）
屋根葺き材及びとい工事
アルミニウム製窓木（固定金具）
建具工事（鋼製建具、重量シャッター、軽量シャッター、
オーバーヘッドドア、ガラスブロック積み、ガラス）
カーテンウォール工事
金属板屋根、軒天井、庇、屋根・傾斜下地
外壁目隠し壁・手すり
その他（ ）

風圧力の条件
風速(Vo) 34 (m/s)
地表面粗度区分 ・Ⅰ・ⅡⅢⅣ

積雪の条件
積雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域
(別表)
多雪地域の指定 ・あり ◎なし

◎耐震基準を定める場合は次にによる。
「官庁施設の総合耐震・耐津波計画基準 令和3年版」（国土交通省大臣官庁官庁賞格部平成25年版訂正）及び「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説 平成8年版」（建設大臣官庁賞格部監修による耐震安全性の分類及び特定室の指定）
構造体（Ⅰ類 ○Ⅱ類 ○Ⅲ類）
建築非構造部材（A類 ○B類）
建築設備（A類 ○Z類）
特定室の指定 ・有（※図示 ・ ） ◎付かない

⑦電気保安技術者
工事現場におく電気保安技術者は、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督職員の承認を受け、電気工作業の保安業務を行うものとする。 [1.3.3]

⑧施工条件明示項目
○施工時間 (9:00 ~ 18:00) [1.3.5]
○施工順序等 (工事ステップ図による)
○その他の条件(施工時間や工事内容は常に学校と協議する)
上記以外には現場説明書による

⑨施工中の安全確保 [1.3.7]
建築基準法、労働安全衛生法、その他関係法令等に定めるところによるほか「建設工事安全発災防止対策要綱」に従うとともに「建築工事安全施工技術指針」を参考に常に工事の安全に留意して現場管理を行い、施工に伴う災害及び事故の防止に努める。

⑩発注者の処理等 [1.3.12]
1) 発注者に引渡しを要するもの ※ PCB含有物 ・ 金属類
2) 特別管理産業廃棄物
特別管理産業廃棄物の処理は、種類に応じた許可を有する特別管理産業廃棄物収集運搬業者、特別管理産業廃棄物処分業者による（PCB含有物に下記による）
特別管理産業廃棄物の種類
・ 廃石綿等（アスベスト）
・ PCB含有物（法令に従い、容器に入れ封じし、監督職員の指示した場所に保管する）
・ ダイオキシン類を含む廃棄物
3) 工事現場において再利用及び再生資源化を図るもの
4) その他特殊な廃棄物
5) 1)から 4)以外のものは、全て工事現場外に搬出し、建設リサイクル法（資源有効利用促進法、廃棄物処理法その他関係法令に基づき適切に処理）のうえ、発注者に報告する

⑪材料の品質等 [1.4.2]
材料、機器材等の品質及び性能
1) 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合監督職員の承認を受け、
3) 「国等による環境物品等の調達に関する法律 平成12年 法律第100号（グリーン購入法）」に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努めること

4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の手写し等）を監督職員に提出して承認を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造または施工の実績あり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制が整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型特殊用耐湿デッキプレート	鋼製建具	移動型切スライディングドア
鉄骨柱下無収縮モルタル	鋼製軽量建具	トイレブース
無収縮グラウト材	ステンレス製建具	煙突用成形ライニング材
押出成形セメント板	錠前類	天井点検口
成形珪藻目地材	クローザー類	床点検口
乾式床材（防水保護材）	自動ドア機構	グレーチング
セラミックタイル	自閉式上吊り引戸機構	屋上換気システム
既設合モルタル(タイル工用)	重量シャッター	トップライト
既設珪藻目地材	軽量シャッター	エボキシ樹脂
ルーフトロン	オーバーヘッドドア	外装タイル用有機系接着剤
吸水調整剤(モルタル用)	ガラス	ポリマーセメントモルタル
防水材	現場発泡断熱材	鋼製鉄ふた/マンホールふた
アルミニウム製建具	フリーアクセスフロア	
樹脂製建具	可動間仕切	

(一社)公共建築協会「建築材料・設備材料等品質評価事業」において評価書が発行されている材料。別途、上記以外監督職員の指示による。

⑫化学物質を放散する建築材料等
(1) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の①から⑤を満たすものとする。
① 含鉛、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙はホルムアルデヒドを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。
② 保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。
③ 接着剤はフルタレジャーナール及びフルタレジャー2ーエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。
④ 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。
⑤ ①、③及び④の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、F☆☆☆☆のものとする。

⑬特別な材料の工法
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
下記の材料・工法については品質・性能保証書を出すこと。
・

⑭石綿含有建材の調査 [1.5.1]
石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
※既存の設計図書、調査報告書等の書面調査及び現地での目視調査
・ 分析による石綿含有建材の調査
分析手法（改修仕様1.5.1(イ)による） サンプル数：1箇所あたり3サンプル

材 料 名	部 位	定性分析	定量分析
・	・	・ 箇所	・ 箇所
・	・	・ 箇所	・ 箇所
・	・	・ 箇所	・ 箇所
・	・	・ 箇所	・ 箇所

採取箇所は監督職員の指示による

調査範囲（※工事対象範囲）
調査結果が設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。
調査結果は関係法令に基づき、官公署に報告する。

⑮施工調査 [1.6.2]
施工数量調査
※ 施工に先立ち監督職員と協議し、目視、打診、計測等により施工数量調査を行い、調査報告書を2部提出する。
調査範囲は、工事対象範囲とする。
調査結果が設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

⑯調査のための破壊部分の補修 [1.6.3]
補修方法（工事対象範囲の場合）
※ 特記なき箇所は監督職員と協議する
・ 現況にない補修する [1.7.2]

工事種目	技能検定の職種	技能検定作業
仮設工事	どび	・ 技能検定作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋補修作業
コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠立て作業 ・ 型枠解体作業
	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	どび	・ どび作業
ブロック及びALCパネル工事	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業 ・ ALCパネル工事作業
ALCパネル工事	ALCパネル施工	・ ALCパネル工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ アクリル系塗膜防水工事作業 ・ アクリル系遮水防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニールシート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング系防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
木工工事	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業
金属工事	内装仕上げ施工 建築板金	・ 鋼製下地工事作業 ・ 内外装板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工 ガラス施工 自動ドア施工 ガラス用フィルム施工	・ サッシ施工 ・ ガラス施工 ・ 自動ドア施工 ・ 建築フィルム作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業 ・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	・ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーベット系床仕上げ工事作業 ・ ボード系床仕上げ工事作業 ・ 壁装作業 ・ 建築配管作業
排水工事	配管	・ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・ 道路標識・トンネルカー工事作業 ・ 加熱ペイントマーカー工事作業
構設工事	造園	・ 造園工事作業
⑯見本施工	○行う（適用箇所： 外装吹付材、木材経量、化粧天井）	(1.5.5)
⑯化学物質の濃度測定	工事の施工完了後、引渡しを完了するまでの間に、ホルムアルデヒド及び、(1.5.9)難揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを報告すること。また報告書の様式等は監督職員との協議による。 (1) 測定時期 ※完成時(家具搬入前) ・ 引渡前(家具搬入後) (2) 測定対象化学物質 ※ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、ステレン、エチルベンゼン、その他(○)ベンゾピレン (3) 測定方法 ※バッチ法(拡散方式) ・ アクティブ法(吸引方式) (4) 測定対象室及び測定箇所数 ※図示(内装仕上表)	

②完成図等	(1.7.1~2)(表1.7.1)	完成時の提出書類 ※東建建築事務所「監理書類作成要領」による。 ・発注者の指定による 完成図の作成方法 ※CAD(CADデータの提出 ※要 ・不要) ・発注者の指定による		
③保全に関する資料	提出部数 ※1部 ()部 (1.7.3)			
④工事写真等	下記により工事写真・竣工写真を撮影し、提出する。(1.2.4)			
撮影時期	撮影箇所	規格	提出方法	
工事着手前	○敷地の状況 (適宜)	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部	
工事着手時	○周囲建物の状況 (適宜)	カラー	A4ファイル 2部	
工事中	○各部配筋完了時 ○各工事の工程に応じ監督職員	カラー	プリンター用紙 A4ファイル 2部	
竣工時	○内 部 監督職員の指示 (30)箇所 ○外 部 監督職員の指示 (20)箇所 ○交 景 監督職員の指示 (10)箇所 ○航 空 監督職員の指示 (10)箇所	カラー	アルバム 4部 DVD-ROM 4部	
※竣工写真の撮影は、デジタルカメラ2000万画素以上とし、撮影アングルは監督職員の指示による。 ※竣工アルバムは印刷紙を使用し、出力解像度は原寸の300dpi以上とする。 製本方法は、印刷紙の裏面どうしを貼り付けた中折れ込み製本、又はフォトブックアルバムとする。 ※竣工写真の電子データ(DVD-ROM)の提出形式 内部、外部及び航空写真の内、監督職員の指示する主要なカットは、A3サイズ(長辺4960pixel)のJPEG形式(圧縮最高画質)とし、その他のカットは、キャビネサイズ(長辺2880pixel)のJPEG形式(圧縮最高画質)とする。 ※竣工写真として不要なものは電子データの消去、修正を行う。				
竣工写真の著作権の権利等について、工事受注者は撮影者と契約にあたって以下の事項を条件とすること。 1. その成果物が「写真の著作物」に該当するかの有無にかかわらず、発注者、設計者、施工者が社内広報誌、業界誌への掲載及び無償誌取先への頒布、広報など社内外へ公表することに対してその利用を無償許諾すること。 2. 設計者の承諾を得た場合以外は以下の行為をしてはならない。 写真の著作物に該当した場合でも、著作権人格権を行使しないこと。 3. 竣工写真を第三者に閲覧させ、複写させ、又は譲渡してはならない。 竣工写真撮影業者 ※建築写真専門の撮影業者で監督職員の承諾を受けた者				
⑤施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該権利に限る利用を [1.2.2~3]	無償許諾すること。		
⑥設備工事との取合い(総合図の作成)	設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図(総合図)を作成して、監督職員の承認を受ける。(平面詳細図・展開図・天井伏図等)			
⑦騒音・粉塵等の対策	・防音パネル (設置位置 ※ 図示) (2.1.3) ○防音シート (設置位置 ※ 図示)			
⑧足場等	内部足場 ※ 脚立、足場板等 ・ 図示 [2.2.1] 外部足場 防護シートによる養生 ※ 行う ・ 行わない [2.2.1] 材料、撤去材等の運搬 種別 [2.2.1][表2.2.1] ・ A種 ○B種 ○C種 ○D種 ○E種			
⑨既存部分の養生	既存部分の養生 ※ ビニルシート等 ・ 合板 ・ プラベニヤ [2.3.1] 既存家具等の養生 ※ ビニルシート等 ・ 合板 ・ プラベニヤ 固定家具等の移動 ※ 行わない ・ 行う (図示) 既存フラインド、カーテン等の移動 ※ 行わない ・ 行う (図示)			
4 仮設間仕切	仮設間仕切り等の種別 [2.3.2][表2.3.1]			
種 別	下 地	仕上材 (厚さ mm)	充填材	塗 装
・A種	※経量鉄骨	・合板 (※9.0)	厚さ mm	※無し
・B種	・木下地	※せつこうボード (※9.5)		・片面
・C種	・単管下地	防炎シート		
仮設扉	※木製扉	※合板張り程度		※無し
	・鋼製扉	※片面フラッシュ程度		・有り
・目張り				

⑩監督職員事務所	・ 既存建物内の一部を使用する ○ 構内を設置する ・ 設けない [2.4.1] 設置する場合の規模 (30)㎡程度 必要設備: 冷暖房、便所、湯沸湯、冷蔵庫、冷暖房等、及び女性専用更衣室・便所 監督職員事務所の備品 ○ 複合機 (LAN対応) ○ 書類棚、図面棚、行事予定表 (プリンター、コピー、スキャナー) 下足箱、時計、ヘルボード ○ Wi-Fi ルーター (Wi-Fi環境) ○ 塗落制止用器具 (5)人用 ○ PCディスプレイ (2)セット ○ 検査器具等 ○ 打合せ機、椅子 (10)人用 ○ 長靴、雨合羽 (5)セット ○ 更衣ロッカー (10)人用 ○ 事務用品、給茶セット一式
⑪会議室	各機器の仕様については監督職員と協議の上、最終決定すること。 各04機器の初期設定及び機器間の接続は本工事に含むものとする。 現場事務所には30名程度が使用できる会議室を設けること。 WEB会議用の良好なネット環境を整備し下記の備品を添設すること。 (※インチ以上のモニター、WEBカメラ、全指向性マイク) 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) 構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※有償 ・ 無償) 仮囲い ※ 要 (敷地周囲) ※ H=1800 ・ H=3000 仕様 (※ 図示) ・ 各種ゲート、交通誘導員は仮設計画図による
⑫工事用水	
⑬工事用電力	
⑭仮囲い等	
⑮工事表示板	標示事項 工事名称、建築主名、受注者名、設計監理事務所名、電気保安技術者等を明記する。 表示板の大きき取付位置は監督職員の指示による。 完成予想図 ○ 縦 (900 × 600 程度、2 ヶ所) ・ 不要
⑯既存下地の処理	既存下地の補修は補修範囲全体の (5) %程度を見込む [3.2.6]
2 アスファルト防水	[3.3.1~4][表3.1.1][表3.3.3~11] 屋根保護防水 (既存) 新設防水層の種類 改修工法の種別 新設防水層の種類 施工箇所 絶縁用シート ・ P2A ・ A-1 ・ A-2 ・ A-3 ※ポリエチレンフィルム 厚0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度 ・ P2AI ・ A-1-1 ・ A-1-2 ・ A1-3 ※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・ P2BI ・ B-1-1 ・ B1-2 立上り部の保護工法 ・ 乾式保護材 押出成形セメント板 (厚さ15mm) 保護防水断熱工法の断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 bA (スキン層付) 厚さ ・ 35 ・ 40 ※50 屋根露出防水 (既存) 新設防水層の種類 改修工法の種別 新設防水層の種類 施工箇所 仕上塗料 ・ M4C ・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4 ※アクリル樹脂 エマルション系塗料 ・ M3D ・ D-1 ・ P0D ・ D-2 ・ P0DI ・ D1-1 ・ M3DI ・ D1-2 ※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・ M4DI
露出防水断熱工法の断熱材 ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ・ 1号 ※2号 厚さ ・ 25 ・ 35 ※50 POD工法の場合の改修用ドレイン ※設けない ・ 設ける 高日射反射率防水の適用 ※ 無 ・ 有 (施工箇所) 屋内防水 防水層の種類 改修工法の種別 新設防水層の種類 施工箇所 (保護層は図示による) ・ P1E ・ E-1 ・ P2E ・ E-2 E-1の工程3を行う部位 ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位 アスファルト防水の保証年限 ※10年間	

3 改質アスファルトシート防水	屋根露出防水 (既存) [3.4.1~4][表3.1.1][表3.4.1~3] 新設防水層の種類 改修工法の種別 新設防水層の種類 施工箇所 仕上塗料 ・ M4AS ・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-U2 ※アクリル樹脂 ・ M3AS ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 エマルション系塗料 ・ P0AS ・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3 ・ M3ASI ・ ASI-U1 ・ M4ASI ・ ASI-U1 断熱工法の断熱材 各機器ウレタンフォーム断熱材2種 ・ 1号 ※2号 厚さ ・ 25 ・ 35 ※50 絶縁断熱工法の場合の防護用シートの設置 (ASI-T1工法、ASI-U1工法) 平成28年国土交通省告示第265号別表第10の地域から4に該当する場合は設置する 材質: 改質アスファルトシート系の常温粘着用シート 絶縁工法及び絶縁断熱工法の場合の断熱材の種類及び設置数量 ※改質アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による 高日射反射率防水の適用 ※ 無 ・ 有 (施工箇所) 改質アスファルト防水の保証年限 ※10年間
⑰合成高分子系ルーフィングシート防水	新設防水層の種類 [3.5.1~4][表3.5.1~3] 改修工法の種別 新設防水層の種類 施工箇所 仕上塗料 ・ P0G ・ S-F1 ・ S-M1 ※アクリル樹脂エマルション系塗料 ○S4S ・ S-F2 ○S-M2 ・ S3S ・ S-F1 ※アクリル樹脂エマルション系塗料 ・ S-F2 ・ M4S ・ S-M1 ※アクリル樹脂エマルション系塗料 ・ S-M2 ・ P0S1 ・ S1-F1 ・ S3S1 ・ S1-M1 ※アクリル樹脂エマルション系塗料 ・ S4S1 ・ S1-F2 ・ M4S1 ・ S1-M2 S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の歩行の仕様 ※歩行仕様 ○軽歩行仕様 断熱工法の断熱材 ※ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種 ・ 1号 ※2号 ・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種DA 厚さ ・ 25 ・ 35 ※50 防湿用フィルムの設置 (S1-M1工法、S1-M2工法の場合) 平成28年国土交通省告示第265号別表第10の地域から4に該当する場合は設置する 材質は合成高分子ルーフィング類製造所の仕様による 断熱材の種類及び設置数量は合成高分子ルーフィング類の製造所の指定とする。 仕上塗料の使用量は、合成高分子ルーフィング類の製造所の仕様による 高日射反射率防水の適用 ※ 無 ・ 有 (施工箇所) 機械的固定工法の場合の耐風圧性能 建築基準法により定まる風圧力の (※1.0) 倍の風圧力に対応した工法 屋内防水 改修工法の種別 新設防水層の種類 施工箇所 (保護層は図示による) ・ P1S ・ S-C1 合成高分子系ルーフィングシート防水の保証年限 ※10年間
⑱塗膜防水	新設防水層の種類 [3.6.1~4][表3.6.1~3] 改修工法の種別 新設防水層の種類 施工箇所 ○P0X ※ X-1 ○ X-2 ・ X-H ・ X-2H (P400)(既存)、底 ○L4X ※ X-1 ※ X-2 ・ X-H ・ X-2H (P500)天(既存) 断熱装置 (種別P0X-1工法の場合) [3.6.2] ・ 設ける (断熱装置の種類及び設置数量は主材料の製造所の指定とする) 仕上塗料 材質 ※アクリルウレタン系 () [3.6.2] 使用量 主材料製造所の仕様による 既存塗膜防水層表面の仕上り塗装 (L4X工法の場合) ・ 除去する (・ デッキブラシで洗い ・ 高圧洗浄) 屋内防水 改修工法の種別 新設防水層の種類 施工箇所 (保護層は図示による) ・ P1Y ※ Y-2 ・ P2Y ※ Y-2 塗膜防水の保証年限 ※10年間

⑳シーリング	シーリング改修工法の種別 [3.7.1~6][表3.7.1] ・ シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・ 広幅シーリング再充填工法 ・ フリッジ工法 シーリング材の種類、施工箇所 ※下表以外は、改修仕様表3.7.1を標準とする 施工箇所 シーリング材の種類 (記号) ・ 接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 塗装を指す地及び石目地のシーリング材はノンブリード型とする シーリング材の保証年限 ※7年間 ○10年間 (値し外部に施工するシーリング材で、防水機能を維持する部分) たてどい及び掃き出しの管材 [3.8.2][表3.8.1] ・ 配管用鋼管 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ○ ステンレス [3.8.3] 既存のといその他の撤去 ○ 撤去 (撤去部分は処分) ・ 撤去後再利用する 降雨時に対する養生 [3.8.3] ・ 図示 ○ 近接雨水管へ接続する ○ 既存排水溝へ放流 腐食防止の防護 ※ 改修仕様表3.8.4による [3.8.3][表3.8.4] ○ 次の箇所は行わない (屋外) 掃除口 ○ 有り ・ 無し
㉑アルミニウム製窓	[3.9.1~3][表3.9.1][表3.9.2] 種 別 呼称厚 (mm) 表面処理 固定方法・取附 備 考 ○250形 1.6以上 ・ BP-1種 窓木本体製作 隅角部及び突当り部等の ・ 300形 1.8以上 ○BP-2種 所の仕様による 役物は窓木本体製造所の ・ 350形 2.0以上 よる。 仕様による。 既存窓木の撤去 ○ 図示 [3.9.3] 新設窓木の天地補修工法 ・ 図示 [3.9.3] 板材折曲げ形の取付工法 ・ 図示 [3.9.3] 耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の (※1.0) 倍の風圧力に対応した工法 [9.6.2~3] (表9.6.1~2)
㉒ケイ酸質系塗布防水	種 別 施工箇所 ※○-U1 EVビット ・ ○-UP 保証年限 ○10年間 [9.6.2~3] (表9.6.1~2)
㉓その他の防水	種 別 施工箇所 製造所・型式等 (仕様以外の工法) ○ 複合塗膜防水 (露出工法) 防水範囲による 下記による ○ 複合塗膜防水 (保護工法) 防水範囲による 下記による 使用量は防水製造所の仕様による 保証年限 種別 (複合塗膜防水) ○10年間 製造所: シーカ・ジャパン「超速硬化ウレタン複合防水」 又は同等品 露出工法 (UPM-10) 保護工法 (UPM-10C)
㉔ルーフトレイン	○ なく屋根用 ○ たて形 ○ 無形 材質: ※ 鋼鉄製 ・ ステンレス製 ○ 1/2ルコニー中継用 材質: ※ 鋼鉄製 ・ ステンレス製 (13.5.2)
㉕水張り試験	試験箇所 (屋内外の防水範囲全般) 試験方法 ドレイン廻りをルーフィング類やウエス類で覆い養生し、防水層の立上がり端部を越えようように水を張り、24時間以上そのままにしておいた後、周辺や下階への漏れの有無を確認する。
㉖折板葺 (適用: 駐輪場)	[13.3.2~3] (表13.2.1) 形 式 ※ 重ね形 ・ はせ縁形 ○ 勾み合形 形状 (mm) 山高 (100mm) 山ピッチ (500mm) 板厚 ※ 6.0 ○ 8.0 材 質 ※ 塗装済55%アルミニウム一重鉛合合金めっき鋼板及び鋼管 (規格書 (JIS G 3322)) 野上面塗装 ※ 有り ・ 無し 断 熱 材 ※ 有り (種別: 製造所指定材料 厚さ: mm) ○ 無し 耐火性能 ※ 30分耐火 ・ 無し 塗装の種類 ○ フッ素樹脂塗装 ・ カラーガルバリウム鋼板 耐風圧性能 ※ 建築基準法により定まる風圧力の (※1.0) 倍の風圧力に対応した工法 断熱対策 ○ 行う (製造所指定工法) ・ 行わない 断熱防水性能保証 (製造所・施工者連名保証) ○ 10年間 製造所: 元且ビニール工業「ルーフパワール-100 (トワラ付)」 又は同等品

作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号	
		図面名称	＜後半工事＞ 改修特記仕様書 其の2		A305
			高尺 A1: - A3: -		

① 既存塗膜等の除去及び下地処理 [4.5.4][表4.5.4~7]

工法	処理範囲	下地面の補修
・サンダー工法 ※既存仕上げ全体	○ひび割れ部改修工法	
・高圧水洗工法 ※既存仕上げ全体	○厚さ部改修工法	
・加圧力 ※30MPa以上	○欠損部改修工法	
・塗膜はく離削工法 ※既存仕上げ全体		
・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上げ全体		
※石綿含有仕上げの除去については、超高压水射工法とする		

② 下地調整材 [4.5.2]

※下地調整剤
・ポリマーセメントモルタル

③ 仕上塗材仕上げ [4.5.1~3][表4.5.1~2]

仕上塗材の種類		仕上仕上げの形状		工法	防火材料
名称	呼び名(図中名称)	仕上仕上げの形状	工法	防火材料	
○薄付仕上塗材	○外装吹付材A	○土壁状	○吹付	○不燃	
○薄付仕上塗材	○外装吹付材B	○砂壁状	○吹付	○不燃	
○防水形保護塗材	○外装吹付材C	○小粒状	○吹付	○不燃	
○薄付仕上塗材	○シンク吹付	○砂壁状	○吹付	○不燃	

④ マスク塗材塗り [4.6.1~2]

種別 ・A種 ・B種
製造所:

⑤ 外壁用塗膜防水材 [4.7.1~7][表4.7.1]

工法	吹付け	ローラー
下地準動線材	・適用する	
模倣材の種類 ()	所要量 (kg/m ²)	
外壁用仕上塗材の種類 ()	所要量 (kg/m ²)	

5 製材 [6.5.2(2)][表6.5.1~2]

施工箇所	等級	寸法(mm)	含水率	保存処理	備考
見え掛り面	※上小節	図示	※A種・B種		
見え掛り面以外	※小節以上	図示	※A種・B種		
不透明塗料の塗装面	・小節	図示	※A種・B種		

⑥ 直交集成材 (DL) [6.5.2(5)]

図示 (直交集成材の特記仕様) による

⑦ 直交集成材 (DL) [6.5.2(5)]

⑧ 合板等 [6.5.2(6)]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接合の程度	板面の品質	防火処理の適用
揚上壁	※5.5	ラワン	※1種	広葉樹 ※2等以上	・1等 ・有
	・*	・*	・2種	針葉樹 ※C-D以上	・無

⑨ 化粧用合板 [「合板の日本農林規格」による] [6.5.2(6)]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	品質	保存処理	防火処理の適用	防虫処理の適用
二重床	※12	・1級	※0-0以上	○有	○有	・有	・無
	・*	※2級以上	・*	・無	・無	・無	・無

⑩ 化粧用単板積層材 [「単層積層材の日本農林規格」による] [6.5.2(4)]

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防火処理の適用
	※仕上材	※図示	・有(加工 ・天然木 ・塗装)	・有
	・素仕上材		・無(等級 ・1等 ・2等 ・3等)	・無

⑪ 防菌・防蟻処理等 [6.5.5]

適用部位	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

⑫ 鉄筋(引張り)束等の内部間仕切軸組及び床組 [6.5.6]

⑬ 経量鉄骨天井下地 [6.6.1~4][表6.6.1~2]

野縁などの種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	形状	性能
屋内	※19型	・25型		帯電防止床シート ※2 ・帯電防止数値(JIS A 1455)による評価グレードⅡ以上
天井下地材	※19型	※25型(耐風圧型)		・帯電防止床シート ※4 ・5

⑭ 経量鉄骨壁下地 [6.7.1~4][表6.7.1]

⑮ ビニル床シート張り [6.8.1~3]

名称(図中記号)	種類	JIS記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)
複層ビニル床シート(FS-A)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0
複層ビニル床シート(FS-B)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0
複層ビニル床シート(FS-C)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0
複層ビニル床シート(FS-D)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0
複層ビニル床シート(FS-E)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0

⑯ ビニル床タイル張り [6.8.1~3]

名称	種類	JISの記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)
	※コンポジション	KT	・無地	※300×300	※2.0
	・納物		・納物	・*	・*
	・無地	TT	・無地	※300×300	・*
	・納物		・納物	・*	・*
	・無地	FT	・無地	※300×300	・*
	・納物		・納物	・*	・*
	・直置き	FOA	・無地	※500×500	※4.0以上
	・納物		・納物	・*	・*
	・薄型直置き	FOB	・無地	※500×500	※4.0未満
	・納物		・納物	・*	・*

⑰ ゴム床タイル張り [6.8.1~3]

名称	種類	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考

⑱ 特殊機能床材 [6.8.1~3]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	形状	性能
・帯電防止床シート	※2	・*		帯電防止数値(JIS A 1455)による評価グレードⅡ以上
・帯電防止床タイル	※4	・5		・帯電防止床シート ※2(金厚7) ・床状 JIS T 9251適合品
・視覚障害者用床タイル	※2(金厚7)	・3(金厚8)	・床状	・床状 JIS A 1454キヌスターしごき
・耐動荷重性床シート	※2	・*		・耐動荷重性床タイル ※4 ・5
・耐動荷重性床タイル	※4	・5		試験による耐れを生じるまでの時間が3時間以上
・防汚性床シート	※2.5	・2		・防汚性床タイル ※3
・防汚性床タイル	※3	・*		JIS A 1454滑り性試験によるC50値が0.55以上

⑳ ビニル床材 [6.8.1~3]

材質 ※軟質 ・硬質
高さ(mm) ※60 ・75 ○100
厚さ(mm) ※1.5以上

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]

※壁厚程度と、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示の範囲

天井内の既存壁の除去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
※壁面より両側500mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
○図示の範囲

天井の除去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
○図示の範囲

② 既存床の除去及び下地補修 [6.2.2]

ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも)
・下地材等とも(※図示の範囲 ・除去範囲全て)
○二重床等とも(※図示の範囲 ・除去範囲全て)

合成樹脂系床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内

③ 既存壁の除去及び下地補修 [6.3.2][4.4.9]

間仕切り壁除去に伴う他の構造物の補修
○図示
・モルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の補修 ※行う ・行わない)

④ 木材施工一般 [6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
※改修仕様 6.5.2(1)のいずれかとする

7 造作用単板積層材 [6.5.2(4)]

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防火処理の適用
	※仕上材	※図示	・有(加工 ・天然木 ・塗装)	・有
	・素仕上材		・無(等級 ・1等 ・2等 ・3等)	・無

⑧ 直交集成材 (DL) [6.5.2(5)]

⑨ 合板等 [6.5.2(6)]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	品質	保存処理	防火処理の適用	防虫処理の適用
二重床	※12	・1級	※0-0以上	○有	○有	・有	・無
	・*	※2級以上	・*	・無	・無	・無	・無

⑩ 化粧用合板 [「合板の日本農林規格」による] [6.5.2(6)]

施工箇所	厚さ(mm)	等級	単板の樹種名	品質	保存処理	防火処理の適用	防虫処理の適用
揚上壁	※5.5	ラワン	※1種	広葉樹 ※2等以上	・1等 ・有		
	・*	・*	・2種	針葉樹 ※C-D以上	・無		

⑪ 防菌・防蟻処理等 [6.5.5]

適用部位	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

⑫ 鉄筋(引張り)束等の内部間仕切軸組及び床組 [6.5.6]

⑬ 経量鉄骨天井下地 [6.6.1~4][表6.6.1~2]

野縁などの種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	形状	性能
屋内	※19型	・25型		帯電防止床シート ※2 ・帯電防止数値(JIS A 1455)による評価グレードⅡ以上
天井下地材	※19型	※25型(耐風圧型)		・帯電防止床シート ※4 ・5

⑭ 経量鉄骨壁下地 [6.7.1~4][表6.7.1]

⑮ ビニル床シート張り [6.8.1~3]

名称(図中記号)	種類	JIS記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)
複層ビニル床シート(FS-A)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0
複層ビニル床シート(FS-B)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0
複層ビニル床シート(FS-C)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0
複層ビニル床シート(FS-D)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0
複層ビニル床シート(FS-E)	発泡層無し	FS	※納物・マフム・無地	※300×300	※2.0

⑯ ビニル床タイル張り [6.8.1~3]

名称	種類	JISの記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)
	※コンポジション	KT	・無地	※300×300	※2.0
	・納物		・納物	・*	・*
	・無地	TT	・無地	※300×300	・*
	・納物		・納物	・*	・*
	・無地	FT	・無地	※300×300	・*
	・納物		・納物	・*	・*
	・直置き	FOA	・無地	※500×500	※4.0以上
	・納物		・納物	・*	・*
	・薄型直置き	FOB	・無地	※500×500	※4.0未満
	・納物		・納物	・*	・*

⑰ ゴム床タイル張り [6.8.1~3]

名称	種類	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考

⑱ 特殊機能床材 [6.8.1~3]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	形状	性能
・帯電防止床シート	※2	・*		帯電防止数値(JIS A 1455)による評価グレードⅡ以上
・帯電防止床タイル	※4	・5		・帯電防止床シート ※2(金厚7) ・床状 JIS T 9251適合品
・視覚障害者用床タイル	※2(金厚7)	・3(金厚8)	・床状	・床状 JIS A 1454キヌスターしごき
・耐動荷重性床シート	※2	・*		・耐動荷重性床タイル ※4 ・5
・耐動荷重性床タイル	※4	・5		試験による耐れを生じるまでの時間が3時間以上
・防汚性床シート	※2.5	・2		・防汚性床タイル ※3
・防汚性床タイル	※3	・*		JIS A 1454滑り性試験によるC50値が0.55以上

⑳ ビニル床材 [6.8.1~3]

材質 ※軟質 ・硬質
高さ(mm) ※60 ・75 ○100
厚さ(mm) ※1.5以上

作成日 2025.03

① 改修範囲 [6.1.3]

② 既存床の除去及び下地補修 [6.2.2]

③ 既存壁の除去及び下地補修 [6.3.2][4.4.9]

④ 木材施工一般 [6.5.2]

⑤ 製材 [6.5.2(2)][表6.5.1~2]

⑥ 直交集成材 (DL) [6.5.2(5)]

⑦ 直交集成材 (DL) [6.5.2(5)]

⑧ 合板等 [6.5.2(6)]

⑨ 化粧用合板 [「合板の日本農林規格」による] [6.5.2(6)]

⑩ 化粧用単板積層材 [「単層積層材の日本農林規格」による] [6.5.2(4)]

⑪ 防菌・防蟻処理等 [6.5.5]

⑫ 鉄筋(引張り)束等の内部間仕切軸組及び床組 [6.5.6]

⑬ 経量鉄骨天井下地 [6.6.1~4][表6.6.1~2]

⑭ 経量鉄骨壁下地 [6.7.1~4][表6.7.1]

⑮ ビニル床シート張り [6.8.1~3]

⑯ ビニル床タイル張り [6.8.1~3]

⑰ ゴム床タイル張り [6.8.1~3]

⑱ 特殊機能床材 [6.8.1~3]

⑳ ビニル床材 [6.8.1~3]

工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事

図面名称 <後半工事> 改修特記仕様書 その4 高尺 A1: - A3: -

図面番号 A307

23	カーペット敷き	・織じゅうたん [6.9.2~3][表6.9.1]																																						
		種別	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性																																		
<p>・A種 ・カットバイル ・ウィルトンカーペット</p> <p>・B種 ・ループバイル ・ダブルフェイスカーペット</p> <p>・C種 ・カット、ループバイル併用 ・アキスミンカーペット</p> <p>※無地 ・適用する性能：※人体帯電電圧3kV以下</p> <p>※適用しない</p>																																								
<p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>製造所： ・タフテッドカーペット [6.9.2~3][表6.9.1]</p>																																								
<table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>※5~7</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用する性能：※人体帯電電圧3kV以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>※4~6</td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・レベリングバイル</td> <td>※4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> </table>						バイル形状	バイル長(mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	※5~7	※全面接着工法	・適用する性能：※人体帯電電圧3kV以下		・ループバイル	※4~6	・グリッパー工法	・適用しない		・レベリングバイル	※4				・カット、ループ併用			・適用しない											
バイル形状	バイル長(mm)	工法	帯電性	備考																																				
・カットバイル	※5~7	※全面接着工法	・適用する性能：※人体帯電電圧3kV以下																																					
・ループバイル	※4~6	・グリッパー工法	・適用しない																																					
・レベリングバイル	※4																																							
・カット、ループ併用			・適用しない																																					
<p>下敷き材 (グリッパー工法の場合)</p> <p>※反毛フェルト (JIS L 3204)の第2種2号呼び厚さ8mm</p> <p>製造所： ○タイルカーペット [6.9.2~3][表6.9.1]</p>																																								
<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>バイル形状</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>別貼ベタA</td> <td>○ループバイル</td> <td>※第一種</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※第二種</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・カットバイル</td> <td>※第一種</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※第二種</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・カット、ループ併用</td> <td>※第一種</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※第二種</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> </tr> </table>						名称	バイル形状	種類	寸法(mm)	総厚さ(mm)	別貼ベタA	○ループバイル	※第一種	※500×500	※6.5			※第二種	※500×500	※6.5		・カットバイル	※第一種	※500×500	※6.5			※第二種	※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	※第一種	※500×500	※6.5			※第二種	※500×500	※6.5
名称	バイル形状	種類	寸法(mm)	総厚さ(mm)																																				
別貼ベタA	○ループバイル	※第一種	※500×500	※6.5																																				
		※第二種	※500×500	※6.5																																				
	・カットバイル	※第一種	※500×500	※6.5																																				
		※第二種	※500×500	※6.5																																				
	・カット、ループ併用	※第一種	※500×500	※6.5																																				
		※第二種	※500×500	※6.5																																				
<p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※布粒敷き ・模様流し ・階段部分 ※模様流し ・巾松敷き ・見切り、押入金物 ・適用する(材質、形状等 ※図示) ・※適用しない</p> <p>製造所： スミノエ 「ECOS LP-3100」 又は同等品</p>																																								
24	23 敷き	・A種 ・B種 ※C種 ・D種 [6.12.1~3][表6.12.1]																																						
		(畳床 ・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) ・衝撃線と型番 畳表 (JIS A 5962) ・C1 ・C2																																						
<p>24 ポリスチレン フォーム床下地材</p> <p>畳下地用 厚さ(mm) ※40 ・65 ・80</p> <p>フローリング類下地用 厚さ(mm) ※80 ・95</p>																																								
<p>25 乾式二重床下地材</p> <p>※ユニット型乾式二重床 (一般仕様) 掃捨 コンパ厚12</p> <p>製造所： フクビ化学工業 「フリオアCP」 又は同等品</p>																																								
26	せっこうボード	[6.13.1~3][表6.13.1~5]																																						
		種類	JISの記号	厚さ(mm)	規格等																																			
<p>○硬質木セメント板 HW ・15 ・20 ・25</p> <p>○中質木セメント板 MW ・15 ・20 ・25</p> <p>○普通木セメント板 NW ・15 ・20 ・25</p> <p>○硬質木片セメント板 HF ・12 ・15 ・18 ・21</p> <p>○普通木片セメント板 NF ・30</p> <p>○けい酸ガラスシウム板 タイプ2(無石棉) ○A, 8FK ・1, 0FK ・8</p>																																								
<p>○ロックウール化粧吸音板 DR ※フラットタイプ / 表記：DR ○9 ・12 (※不燃 ・準不燃) ・凹凸タイプ / 表記：DR (凹凸) ・12 ・15 ・19 (※不燃 ・準不燃)</p>																																								
<p>○せっこうボード GB-R ○12.5(不燃) ○9.5(準不燃) ・15(不燃)</p> <p>○不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5(不燃) ・化粧面(下地張り用) ・化粧面(トランパーチン仕様)</p>																																								
<p>○シーリングせっこうボード GB-S ○12.5(不燃) ○9.5(準不燃)</p> <p>○強化せっこうボード GB-F ○12.5(不燃) ・15.0(不燃) ○21</p> <p>○普通硬質せっこうボード GB-RH ○9.5</p> <p>○せっこうラスボード GB-L 9.5</p>																																								
<p>○化粧せっこうボード (トラバーチン仕様) ○12.5(不燃) ○9.5(準不燃)</p> <p>○化粧せっこうボード(有孔) ○12.5(不燃) 幅40mm程度</p> <p>○化粧せっこうボード(木目) ○12.5(不燃) 幅40mm程度</p> <p>○化粧せっこうボード(木目) ○12.5(不燃) 幅40mm程度</p> <p>○化粧せっこうボード(木目) ○12.5(不燃) 幅40mm程度</p>																																								
<p>○普通合板 接着の程度 ・特種 ・1類 ※2類 厚み ※図示 塗装仕上げ ※図示 樹種 ※図示 ・防虫処理</p> <p>○天然木化粧合板(難燃) 接着の程度 ・特種 ・1類 ※2類 化粧板の樹種： 化粧板の厚み： ・防虫処理 基材 ※A1(火山性ガラス繊維層) ・けい酸カルシウム板 0, 8FK 化粧板の樹種： 化粧板の厚み： ・防虫処理</p> <p>○特殊加工化粧合板 接着の程度 ・特種 ・1類 ※2類 ・ケイ酸樹脂接着合板 ※2, 5 ・3, 8 ・プリント合板 ※2, 5 ・カラー塗装合板 ※2, 5 ・オレフィンシート化粧合板 ※2, 7</p>																																								
<p>○ミディアムデンシティファイバーボード MDF ・3 ・7 ・9 ・12</p> <p>○インシュレーションボード IB A級(・天井仕上 ・内装仕上) ・9 ・12 ・15 ・18</p>																																								
<p>○車板張りパーティールボード VN ・無研磨板 ・研磨板 VS ・10 ・12 ・15 ・18</p> <p>○化粧けい酸カルシウム板 化粧FK ※6</p> <p>○メラミン樹脂化粧板 ※1, 2</p> <p>○メラミン化粧不燃板 ※3</p> <p>○繊維混入せっこう板 FRG ・5 ・6 ・8</p> <p>○吸音孔あきせっこう板 GB-P ・9.5 (※不燃 ・準不燃)</p> <p>○吸音孔あきけい酸カルシウム板タイプ2(無石棉) FK-P ・6 ・8</p>																																								
<p>軽量鉄骨下地ボード造音壁の高音シールド ※適用する ※アクリル系またはウレタン系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド(JIS A914)</p> <p>・適用しない</p>																																								

27	吸音材	[6.13.2][表6.13.1]																																																										
		種類	JISの記号	厚さ(mm)																																																								
<p>・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・厚手ガラスクロス貼</p> <p>※ガラスウール吸音ボード32K GW-B ※25 ・厚手ガラスクロス緑貼張り</p>																																																												
28	壁紙張り	[6.14.1~3]																																																										
		名称	壁紙の種類	防火性能																																																								
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="6">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維系</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質</th> <th>塩化ビニル</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>壁紙</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・不燃○準不燃・難燃</td> </tr> <tr> <td>指示クロス</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・不燃○準不燃・難燃</td> </tr> </table> <p>素地ごしえ [表7.3.4・5・7]</p> <p>モルタル、プラスチック ※B種 ・A種(施工面：)</p> <p>コンクリート、ALCのネル面 ※B種 ・A種(施工面：)</p> <p>せっこうボード面、けい酸カルシウム板面 ※B種 ・A種(施工面：)</p> <p>製造所： 壁紙： 一般品(AA)のみ サンゲツ「フレイ」 又は同等品</p> <p>指示クロス： サンゲツ「ワカム・パーク」-II 又は同等品</p>					名称	壁紙の種類						防火性能	紙	繊維系	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他	壁紙	・	・	・	・	○	・	・不燃○準不燃・難燃	指示クロス	・	・	・	・	○	・	・不燃○準不燃・難燃																										
名称	壁紙の種類						防火性能																																																					
	紙	繊維系	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他																																																						
壁紙	・	・	・	・	○	・	・不燃○準不燃・難燃																																																					
指示クロス	・	・	・	・	○	・	・不燃○準不燃・難燃																																																					
29	モルタル塗り	[6.15.1~6][表6.15.1~3]																																																										
		モルタル塗り材料	※現場合材料	※既調合材料																																																								
<p>防水モルタル ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による)</p> <p>既製目地材 ・設ける 施工面() 形状() ○設けない</p> <p>床の目地 ※設ける 目地割 ※2m程度(最大目地間隔3m程度) ・種類 ※押し目地 ・設けない</p> <p>内装のモルタル塗り、及びタイル下地モルタル塗り又は下地調整材塗り 硬化後、全面打診を行い、浮き及び精度について確認し、結果を監督職員に報告すること。</p> <p>内装の吹き付け部等のモルタル塗り、及びタイル下地モルタル塗り又は下地調整材塗り部分の接着力試験 ※行う ・行わない</p>																																																												
30	タイル張り	[6.16.1~4][表6.16.1~6]																																																										
		伸縮目地	※縦、横とも4m以内ごと	・図示																																																								
<p>床タイル以外 ・図示</p> <p>目地寸法 ・図示</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所・名称</th> <th>形状・寸法(mm)</th> <th>吸水率による(品名・品番)</th> <th>区分</th> <th>釉薬</th> <th>色</th> <th>役物の有無</th> <th>耐凍害性の有無</th> </tr> <tr> <td>床用タイルA</td> <td>壁外用床用磁器質 300角</td> <td>○I類・II類</td> <td>・無釉 ○無釉</td> <td>・無釉</td> <td>・特注</td> <td>○有</td> <td>○有</td> </tr> <tr> <td>床用タイルC</td> <td>壁外用床用磁器質 50角</td> <td>○I類・II類</td> <td>・無釉 ○無釉</td> <td>・無釉</td> <td>・特注</td> <td>○有</td> <td>○有</td> </tr> <tr> <td>内装タイルA</td> <td>屋内壁用多孔質けい酸カルシウム板 909×303</td> <td>○I類・II類</td> <td>・無釉 ○無釉</td> <td>・無釉</td> <td>・特注</td> <td>○有</td> <td>○有</td> </tr> <tr> <td>内装タイルB</td> <td>屋内壁用磁器質 200角</td> <td>○I類・II類</td> <td>・無釉 ○無釉</td> <td>・無釉</td> <td>・特注</td> <td>○有</td> <td>○有</td> </tr> <tr> <td>手洗いタイル</td> <td>壁外用磁器質 22.5×22.5×7</td> <td>○I類・II類</td> <td>・無釉 ○無釉</td> <td>・無釉</td> <td>・特注</td> <td>○有</td> <td>○有</td> </tr> <tr> <td>汚濁石</td> <td>壁外用磁器質 800×600×6</td> <td>○I類・II類</td> <td>・無釉 ○無釉</td> <td>・無釉</td> <td>・特注</td> <td>○有</td> <td>○有</td> </tr> </table>					施工箇所・名称	形状・寸法(mm)	吸水率による(品名・品番)	区分	釉薬	色	役物の有無	耐凍害性の有無	床用タイルA	壁外用床用磁器質 300角	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有	床用タイルC	壁外用床用磁器質 50角	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有	内装タイルA	屋内壁用多孔質けい酸カルシウム板 909×303	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有	内装タイルB	屋内壁用磁器質 200角	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有	手洗いタイル	壁外用磁器質 22.5×22.5×7	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有	汚濁石	壁外用磁器質 800×600×6	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有
施工箇所・名称	形状・寸法(mm)	吸水率による(品名・品番)	区分	釉薬	色	役物の有無	耐凍害性の有無																																																					
床用タイルA	壁外用床用磁器質 300角	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有																																																					
床用タイルC	壁外用床用磁器質 50角	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有																																																					
内装タイルA	屋内壁用多孔質けい酸カルシウム板 909×303	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有																																																					
内装タイルB	屋内壁用磁器質 200角	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有																																																					
手洗いタイル	壁外用磁器質 22.5×22.5×7	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有																																																					
汚濁石	壁外用磁器質 800×600×6	○I類・II類	・無釉 ○無釉	・無釉	・特注	○有	○有																																																					

31	セルフプレベング材	[6.17.1~5][表6.17.1]		
		塗り	※改修仕様表6.17.1により、施工箇所に適したものとす	・セメント系 高強度品(・40N/mm ² 程度) ・適用箇所(共用廊下、エントランス他)
<p>標準仕様 ※10mm ・製造所： MUMATEX 「S L フローG」 又は同等品</p>				
32	断熱材	[9.3.1~9.3.4] (19.9.1~4)		
		種類	厚さ(mm)	施工箇所
<p>・押出法ポリスチレンフォーム断熱材(ススキ層なし) ※3種 BA ・35 ※50 ・75 ・土に接する部分</p> <p>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 ・1号 ・2号</p> <p>・硬質ウレタンフォーム断熱材 ※2種 2号A ・20 ・25 ・30 ・50 ・外壁の内断熱 ・屋根の内断熱</p> <p>・フェノールフォーム断熱材 ※1種 2号A ・</p> <p>○断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 建築物断熱用吹付硬質ウレタンフォーム ※A種1 ・A種1 H 吹付け厚さ(mm) ○25 ○30 ・施工箇所 ※図示による ○25 - 一般部 30 軒天部 上記のほか、断熱材打込み部の取合修繕箇所</p> <p>製品の品質 ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による)</p>				
33	フリーアクセスフロア	(20.2.2)		
		施工箇所	工法	位置調整
<p>・位置調整式 ・支柱調整式</p> <p>所定荷重 ※3,000N ・5,000N ※3,000N ・5,000N</p> <p>耐震性能 ・1.0G ・0.6G ・1.0G ・0.6G</p> <p>パネル寸法(mm) ・500×500 ・500×500</p> <p>高さ(mm) ・</p> <p>表面仕上材 ※タイルカーペット ※タイルカーペット</p> <p>帯電防止性能 ※U ≧ 1.2 ・帯電防止床タイル ・帯電防止床タイル</p> <p>漏えい抵抗 ※R ≧ 1×10 Ω ・</p> <p>耐衝撃性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐熱性能の試験方法及び性能 ※標準仕様書20.2.2(2)による</p> <p>品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける</p>				

天井のボードの重ね張りの貼り付け方法(ロックウール吸音板を除く)	
天井にロックウール吸音板直貼り工法を行う場合、設置器具等の開口箇所には製造所の仕様により、必要箇所にボード裏面の補強を行う	
せっこうボードの目地工法	
○縫目処理工法(○トランパーエッジ ・ペベルエッジ)	
○突付け工法(○ペベルエッジ ・スクエアエッジ)	
○目地工法(・ペベルエッジ ・スクエアエッジ)	
吹付硬質ウレタンフォーム下地に直接張り用接着材を施工する場合は、施工に先立ち、吹付硬質ウレタンフォーム下地とプライマーの接着力を確認すること。	
合板の張り付け ・A種 ※B種	
塗装下地の場合は高粘砂がけ抜きを除き、目地目にして割れ防止を行う	
化粧FKのけい酸カルシウム板タイプ2(無石棉) ・指定色(基材色合せ)とは異なる	
製造所： 化粧FK 7社工業 「ルナライト 変染生産品」 又は同等品	
化粧せっこうボード(有孔) 吉野石膏「タイガスエアートンプラス」 又は同等品	
[6.13.2][表6.13.1]	
種類	
JISの記号	
厚さ(mm)	
仕様	
・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・厚手ガラスクロス貼	
※ガラスウール吸音ボード32K GW-B ※25 ・厚手ガラスクロス緑貼張り	
[6.14.1~3]	
名称	
壁紙の種類	
防火性能	
紙	
繊維系	
プラスチック	
無機質	
塩化ビニル	
その他	
壁紙	
指示クロス	
素地ごしえ [表7.3.4・5・7]	
モルタル、プラスチック ※B種 ・A種(施工面：)	
コンクリート、ALCのネル面 ※B種 ・A種(施工面：)	
せっこうボード面、けい酸カルシウム板面 ※B種 ・A種(施工面：)	
製造所： 壁紙： 一般品(AA)のみ サンゲツ「フレイ」 又は同等品	
指示クロス： サンゲツ「ワカム・パーク」-II 又は同等品	
[6.15.1~6][表6.15.1~3]	
モルタル塗り材料	
※現場合材料	
※既調合材料	
防水モルタル ※品質を証明する資料を提出し、監督職員の承認を受ける (特記仕様書1.11 材料の品質等、5)による)	
既製目地材 ・設ける 施工面() 形状() ○設けない	
床の目地 ※設ける 目地割 ※2m程度(最大目地間隔3m程度) ・種類 ※押し目地 ・設けない	
内装のモルタル塗り、及びタイル下地モルタル塗り又は下地調整材塗り 硬化後、全面打診を行い、浮き及び精度について確認し、結果を監督職員に報告すること。	
内装の吹き付け部等のモルタル塗り、及びタイル下地モルタル塗り又は下地調整材塗り部分の接着力試験 ※行う ・行わない	
[6.16.1~4][表6.16.1~6]	
伸縮目地	
※縦、横とも4m以内ごと	
・図示	
床タイル以外 ・図示	
目地寸法 ・図示	
タイルの種類	
形状・寸法(mm)	
吸水率による(品名・品番)	
区分	
釉薬	
色	
役物の有無	
耐凍害性の有無	
施工箇所・名称	
床用タイルA	
壁外用床用磁器質 300角	
○I類・II類	
・無釉 ○無釉	
・無釉	
・特注	
○有	
○有	
床用タイルC	
壁外用床用磁器質 50角	
○I類・II類	
・無釉 ○無釉	
・無釉	
・特注	
○有	
○有	
内装タイルA	
屋内壁用多孔質けい酸カルシウム板 909×303	
○I類・II類	
・無釉 ○無釉	
・無釉	
・特注	
○有	
○有	
内装タイルB	
屋内壁用磁器質 200角	
○I類・II類	
・無釉 ○無釉	
・無釉	
・特注	
○有	
○有	
手洗いタイル	
壁外用磁器質 22.5×22.5×7	
○I類・II類	
・無釉 ○無釉	
・無釉	
・特注	
○有	
○有	
汚濁石	
壁外用磁器質 800×600×6	
○I類・II類	
・無釉 ○無釉	
・無釉	
・特注	
○有	
○有	

作成日		2025.03		工事名称		令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事		図面番号	
作成者				図面名称		＜後半工事＞ 改修特記仕様書 その5		A308	
作成場所				高尺		A1 -			
作成機				AS -					

34 可動間仕切 (パーティション) 構造形式による種類 構成素材の種類 ハネル表面仕上 遮音性能 防火性能

39 表示標識 (サイン) 誘導標識、非常用出入口表示等は市販品とし、その他はサイン図による。 40 ブラインド 取付箇所 ※図示

41 ロールスクリーン 材 質 操作方式 品質 幅、高さ 取付箇所 42 カーテン 形式 開閉操作方式 ひだの種類

43 カーテンレール 材料等 ※アルミニウム製又はアルミニウム合金の押出成形材 44 ブラインドボックス 材 質 ※鋼製(仕上: ※図示)

35 移動間仕切 (スライディングウォール) 遮音性能 操作方式 圧接装置の パネル表面材

45 止水板 (防漏板) 材 質 ※ステンレス SUS304 形状 ビニルタイヤ入り

46 天井点検口 材 質 ※アルミニウム製 寸法(mm) 形式

47 防煙垂れ壁 材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考

36 トイレブース 表面仕上り材 ※メラミン樹脂系化粧板 足形状 ※幅木型(ステンレス製) パネルの材質 ※トイレブースの製作所の仕様による

37 階段消止め 「ノズル」金物 材 種 ステンレス SUS304 形状 ビニルタイヤ入り

38 手すり及びタラップ 種類 材料の種類 表面処理 (塗装仕上は図示による)

39 表示標識 (サイン) 誘導標識、非常用出入口表示等は市販品とし、その他はサイン図による。 40 ブラインド 取付箇所 ※図示

41 ロールスクリーン 材 質 操作方式 品質 幅、高さ 取付箇所 42 カーテン 形式 開閉操作方式

43 カーテンレール 材料等 ※アルミニウム製又はアルミニウム合金の押出成形材 44 ブラインドボックス 材 質 ※鋼製(仕上: ※図示)

45 止水板 (防漏板) 材 質 ※ステンレス SUS304 形状 ビニルタイヤ入り

48 視覚障害者用 床タイル (誘導用及び注意喚起用床材) 材 質 ※強化ビニル製

49 エキスパンション ・ジョイント金物 材 質 ○アルミ製 (仕上: BB-2種) ○ステンレス製(仕上: HL)

50 その他の材料 材 質 ※無機質系人造木材 製造所: 太平洋マテリアル「エスライド」

51 材料 ※屋内の柱、壁、天井仕上げは防火材料とする。 52 床材ごしらえ (塗装替え) 下地面の種類 下地調整の種類

53 錆止め塗料塗り [7.4.1~4] [表7.4.1~6] 鉄鋼面 塗装の種類 錆止めの塗料の種類

54 塗装 [7.5.1~7.13.2] [表7.5.1~7.13.1] 塗装の種類 塗装面 工場の種別

6 防塵用塗料塗り 材 質 水性アクリル系樹脂塗料 (※標準色)

7 その他塗料塗り ※図中特記外は屋内の鉄部、集材材・単体部はQLとする。

8 耐震改修工事及び躯体改修工事 構造特記仕様書による

9 環境配慮改修工事 本工事対象外のため省略 (若くは含有建材の除去については躯体特記による)

作成日 2025.03 工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 改修特記仕様書 図面番号 A309

Ⅲ 建築工事特記仕様 (追記)																														
③ 土工事	<p>① 埋戻し及び盛土 材料及び工法 (3.2.3)(表3.2.1) ・材料 () (工法) ※標準仕様表 3.2.11による ・A種 適用箇所 () ・B種 適用箇所 () ※他現場からの受入浜土も含む ・C種 適用箇所 () 土質 () 受渡場所 () ・D種 適用箇所 ()</p> <p>② 建設発生土の処理 ※機外搬出適切処理 (処分先:) (3.2.5) ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し</p> <p>③ 山留めの撤去 ※撤去する () (3.3.3) ・撤去する (範囲:)</p> <p>④ 掘り切り底支持地盤の確認 (直接基礎の場合) 地盤をかくし乱した場合の処置 (3.2.1) ※監督職員の承諾を受け、以下のいずれかの処置を適切に行うこと。 ○地盤改良 ・ コンクリート打設 ・ 砂質土と置き換え締め固め</p>																													
⑥ コンクリートブロックパネル・押出成形セメント板 (ECP)	<p>① 押出成形セメント板 (ECP) (8.5.2~5)(表8.5.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>幅 (mm)</th> <th>構造種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○外壁パネル</td> <td>※フラットパネル</td> <td>・50 ○60</td> <td>※600</td> <td rowspan="2">○A種</td> </tr> <tr> <td>・デザインパネル</td> <td>・50 ・60</td> <td>※600</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・間仕切壁パネル</td> <td>※フラットパネル</td> <td>・50 ・60</td> <td>※600</td> <td rowspan="2">・B種</td> </tr> <tr> <td>・デザインパネル</td> <td>・50 ・60</td> <td>※600</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・タイル下地パネル</td> <td>・62</td> <td>※600</td> <td></td> <td rowspan="2">・C種</td> </tr> <tr> <td>・タイル下地パネル</td> <td>・62</td> <td>※600</td> </tr> </tbody> </table> <p>パネル幅の最小限度 ※300mm () mm 耐火構造は建築基準法に基づき国土交通大臣の認定を受けたものとする 耐火構造以外の目地及び継目の処理 ※パネルの製造所の仕様による 役物の有無 ○有り (コーナード) ・無し パネル相互の目地幅 長辺の目地幅 ○10mm以上 () mm 短辺の目地幅 ○15mm以上 () mm 出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地幅 ※15mm程度 (シーリング材充填) ・図示 外壁パネル工法の2次防水仕様 ※適用する ・適用しない 外壁パネル構造の耐風圧性能 ※建築基準法により定まる風圧力の (※1.0) 倍の風圧力に対応した工法 外壁パネル構造の耐震性能 設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 () 鉛直方向 (KV) ※0.5 () 間仕切パネル構造の耐震性能 設計用震度 水平方向 (KH) ※1.0 () 鉛直方向 (KV) ※0.5 () 取付け金物の耐火被覆 ・行方 (適用箇所:) ○行わない パネルの欠き込み パネルにやむを得ず欠き込みを行う場合は、欠損部を考慮して強度計算を行い、安全を確認すること。 ドレンパイプ ※SUS304 径8mm 逆流防止弁付 高さ60mを超える建物の外壁に使用する工法 ※材料製造所の指定工法による 製造所: ノゾフ 「アスロック」 又は同等品</p>	種 別	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	構造種別	○外壁パネル	※フラットパネル	・50 ○60	※600	○A種	・デザインパネル	・50 ・60	※600	・間仕切壁パネル	※フラットパネル	・50 ・60	※600	・B種	・デザインパネル	・50 ・60	※600	・タイル下地パネル	・62	※600		・C種	・タイル下地パネル	・62	※600
種 別	表面形状	厚さ (mm)	幅 (mm)	構造種別																										
○外壁パネル	※フラットパネル	・50 ○60	※600	○A種																										
	・デザインパネル	・50 ・60	※600																											
・間仕切壁パネル	※フラットパネル	・50 ・60	※600	・B種																										
	・デザインパネル	・50 ・60	※600																											
・タイル下地パネル	・62	※600		・C種																										
	・タイル下地パネル	・62	※600																											
⑩ 石工事	<p>① 石材の割付け (10.1.3)</p> <p>石材の割付 図示 水平打継ぎ部、異種下地の取り合い部等は、原則として1枚の石材をまいたで取り付けてはならない。 止むを得ず取り付ける場合は、工法を監督職員と協議し、承諾を得ること。</p> <p>② 石材等 (10.2.1)(表10.2.1~2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所等</th> <th>種類</th> <th>産地・名称</th> <th>厚さ</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巾木</td> <td>花崗石</td> <td>中国産・G381 年青</td> <td>図示</td> <td>本産き</td> </tr> </tbody> </table> <p>石材は上記により見本品提出の上決定する。</p>	施工箇所等	種類	産地・名称	厚さ	仕上げの種類	巾木	花崗石	中国産・G381 年青	図示	本産き																			
施工箇所等	種類	産地・名称	厚さ	仕上げの種類																										
巾木	花崗石	中国産・G381 年青	図示	本産き																										

⑭ 1-般事項	<p>③ステンレス鋼板は、図中特記以外はSUS304とする。 (14.1.3) ○金鋼板の曲げ加工端部処理 ※原則として四隅とも折り曲げ(小口部蓋付)とする。 ・外鉄金鋼板の表面絶縁防止措置 ※行方 (仕様:) ○金鋼板の継目処理 屋内 ※目地棒(材質※ステンレス) ・空目地 ・シーリング 屋外 ※シーリング ・見本の製作 ※行方 (適用箇所:) あと施工アンカーの引抜き耐力確認試験 ※行方 (適用箇所:)</p>																																													
⑮ 2-ステンレスの表面仕上げ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○H/L程度</td> <td>特記外の見え掛り全て</td> </tr> <tr> <td>○No.2B程度</td> <td>床見切金物</td> </tr> <tr> <td>・鏡面仕上げ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種 別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	○H/L程度	特記外の見え掛り全て	○No.2B程度	床見切金物	・鏡面仕上げ																																						
種 別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																																													
○H/L程度	特記外の見え掛り全て																																													
○No.2B程度	床見切金物																																													
・鏡面仕上げ																																														
⑯ 3-アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	<p>(14.2.1)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>色合い等</th> <th>施工箇所(成形板、笠木、建具、C以外)</th> <th>JISの種類</th> <th>皮膜の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・BA-1種</td> <td>無着色</td> <td></td> <td>JIS H 8602</td> <td>A2(通常の環境)</td> </tr> <tr> <td>・BA-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> <td>JIS H 8602</td> <td>B(外部一般)</td> </tr> <tr> <td>・BB-1種</td> <td>無着色</td> <td></td> <td>JIS H 8602</td> <td>C(屋内)</td> </tr> <tr> <td>・BB-2種</td> <td>・標準色 ・特注色</td> <td></td> <td>JIS H 4001</td> <td>による焼付塗装</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>化成皮膜の上に塗装</td> <td></td> <td>JIS H 4001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>化成皮膜の上に塗装</td> <td></td> <td>JIS H 4001</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・E種</td> <td>・有機系塗装 ・メタリック色、ソリッド色</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・F種</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>陽極酸化被覆の着色方法 ※二次電解着色</p>	種 別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具、C以外)	JISの種類	皮膜の種類	・BA-1種	無着色		JIS H 8602	A2(通常の環境)	・BA-2種	・標準色 ・特注色		JIS H 8602	B(外部一般)	・BB-1種	無着色		JIS H 8602	C(屋内)	・BB-2種	・標準色 ・特注色		JIS H 4001	による焼付塗装	・C種	化成皮膜の上に塗装		JIS H 4001		・D種	化成皮膜の上に塗装		JIS H 4001		・E種	・有機系塗装 ・メタリック色、ソリッド色				・F種				
種 別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具、C以外)	JISの種類	皮膜の種類																																										
・BA-1種	無着色		JIS H 8602	A2(通常の環境)																																										
・BA-2種	・標準色 ・特注色		JIS H 8602	B(外部一般)																																										
・BB-1種	無着色		JIS H 8602	C(屋内)																																										
・BB-2種	・標準色 ・特注色		JIS H 4001	による焼付塗装																																										
・C種	化成皮膜の上に塗装		JIS H 4001																																											
・D種	化成皮膜の上に塗装		JIS H 4001																																											
・E種	・有機系塗装 ・メタリック色、ソリッド色																																													
・F種																																														
⑰ 4-鉄鋼の亜鉛めっき	<p>(14.2.2)(表14.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種 別</th> <th>施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">溶融亜鉛めっき</td> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電気亜鉛めっき</td> <td>※C種 外部</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・F種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鉄骨工事の部材の溶融亜鉛めっきは、別図 (構造特記仕様書 第7章、鉄骨工事 16.溶融亜鉛めっき工法) の記載による</p>	表面処理方法	種 別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		電気亜鉛めっき	※C種 外部		・D種			・E種			・F種																											
表面処理方法	種 別	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)																																												
溶融亜鉛めっき	・A種																																													
	・B種																																													
電気亜鉛めっき	※C種 外部																																													
	・D種																																													
	・E種																																													
	・F種																																													
⑱ 5-金属成形板張り	<p>(14.6.2~3)(表14.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>形 状</th> <th>製 法</th> <th>材 種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○スバンドレ形</td> <td>○押出し</td> <td>※アルミニウム製</td> <td>図示</td> <td>1.3</td> <td>・BB-1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ロール</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○BB-2種 (アポコ)</td> </tr> <tr> <td>・パネル形</td> <td>※プレス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・BC-1種</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・BC-2種 ()</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・C種 (樹脂系塗装)</td> </tr> </tbody> </table> <p>伸縮調整手 ※設けない ・設ける(施工箇所 図示) 製造所: オクジュー「ORA-15-3」(スバンドレ) 又は同等品</p>	形 状	製 法	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理	○スバンドレ形	○押出し	※アルミニウム製	図示	1.3	・BB-1種		・ロール				○BB-2種 (アポコ)	・パネル形	※プレス				・BC-1種						・BC-2種 ()						・C種 (樹脂系塗装)									
形 状	製 法	材 種	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理																																									
○スバンドレ形	○押出し	※アルミニウム製	図示	1.3	・BB-1種																																									
	・ロール				○BB-2種 (アポコ)																																									
・パネル形	※プレス				・BC-1種																																									
					・BC-2種 ()																																									
					・C種 (樹脂系塗装)																																									
⑲ 6-床見切目地	<p>材質 SUS304 4×12 詳細 詳細図による</p>																																													
⑲ 7-アルミ庇	<p>仕様 アルミ製 化粧無し D.L=図示 製造所 アルフィン 「AD1N」 又は同等品</p>																																													

⑰ 1-下地	<p>・ラス系下地 (木下地の内外壁を対象としたラス系下地) (15.2.4~5) ・通気工法 (外壁通気構法下地) ・二層下地 ・単層下地 ・直張り工法 ・ラスモルタル下地 ・ラスシートモルタル下地 ・その他 ・図示による ・ラス下地、下地用合板、面材等の下地の仕様 建築基準法に基づく耐力、防火構造、準耐火構造等の指定 ・有 (図示による) ・無 ○せこうボード、その他ボード下地 材料の種類及び厚さ ○図示による</p>												
⑰ 2-床コンクリートの直均し仕上げ	<p>コンクリートの仕上げが平たんさの標準値 (表6.2.5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>平たんさ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他良好な着床状態が必要な場合</td> <td>3mにつき7mm以下</td> <td>合成樹脂塗床、ビニール床材張り床コンクリート製成仕上げ、フローアクスフロア (置き式)</td> </tr> <tr> <td>仕上げ厚さ7mm未満の場合その他かなり良好平たんさが必要な場合</td> <td>3mにつき10mm以下</td> <td>カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材張り</td> </tr> <tr> <td>仕上げ厚さ7mm以上の場合又は下地の影響を及ぼさない仕上げの場合</td> <td>1mにつき10mm以下</td> <td>タイル下地、モルタル塗り、二重床</td> </tr> </tbody> </table> <p>床のひび割れ誘発目地 ・設ける(工法:) 適用箇所: ()</p>	施工箇所	平たんさ (mm)	備 考	コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他良好な着床状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	合成樹脂塗床、ビニール床材張り床コンクリート製成仕上げ、フローアクスフロア (置き式)	仕上げ厚さ7mm未満の場合その他かなり良好平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材張り	仕上げ厚さ7mm以上の場合又は下地の影響を及ぼさない仕上げの場合	1mにつき10mm以下	タイル下地、モルタル塗り、二重床
施工箇所	平たんさ (mm)	備 考											
コンクリートが見え掛りとなる場合又は仕上げ厚さが極めて薄い場合その他良好な着床状態が必要な場合	3mにつき7mm以下	合成樹脂塗床、ビニール床材張り床コンクリート製成仕上げ、フローアクスフロア (置き式)											
仕上げ厚さ7mm未満の場合その他かなり良好平たんさが必要な場合	3mにつき10mm以下	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材張り											
仕上げ厚さ7mm以上の場合又は下地の影響を及ぼさない仕上げの場合	1mにつき10mm以下	タイル下地、モルタル塗り、二重床											
⑰ 3-仕上塗材仕上げ	<p>仕上塗材の種類 (15.6.2)(表15.6.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>呼び名 (図中名称)</th> <th>仕上げの形状</th> <th>工法</th> <th>防火材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○液層仕上塗材</td> <td>○内装吹付材</td> <td>○ゆず肌</td> <td>○吹付</td> <td>○準不燃</td> </tr> </tbody> </table> <p>屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする 製造所: エスケー化研 「レナコード」 又は同等品</p> <p>鉄骨工事の耐火被覆は構造特記仕様書による (15.12.1~4)(表15.2.1) 仕上吹付け厚さ (mm) ※図示</p>	名 称	呼び名 (図中名称)	仕上げの形状	工法	防火材料	○液層仕上塗材	○内装吹付材	○ゆず肌	○吹付	○準不燃		
名 称	呼び名 (図中名称)	仕上げの形状	工法	防火材料									
○液層仕上塗材	○内装吹付材	○ゆず肌	○吹付	○準不燃									
⑰ 4-黒板及びホワイトボード	<p>○黒板 (20.2.9) 区分 ※焼付 ・ 種類 ・ 傾製 ○ほうろう その他は図示による ○ホワイトボード ○図示 製造所: 黒板・白板 青井黒板製作所、カンサイ 又は同等以上 良駒式黒板 青井黒板製作所「UDスライダー」 又は同等品 寸法 (mm) ○図示 (20.2.10) 厚さ (mm) ※5mm ○6 手洗い滑り台前化粧鏡 (四層SUSFB4.5×32) 製造所: TOTO「YMG045A」 又は同等品</p>												
⑰ 5-造作家具	<p>材 質 木製家具 (メラミン化粧板、一部天然木製板)、鋼製家具 形状・寸法 ※詳細図参照 製造所 岡村製作所、西尾家具工業社、内田洋行 又は同等以上</p>												
⑰ 6-学校間仕切	<p>材質 鋼製タイプ 後施工(改修)型 上吊仕様 形状・寸法 ※詳細図参照 製造所: 山金工業、文化シャッター、日本スピンドル製造 又は同等以上</p>												
⑰ 7-アコーディオン扉	<p>仕様 折れ戸 埋込レール 製造所 立川プラインド工業「ブレイス」 又は同等品</p>												
⑰ 8-耐火間仕切壁 (耐火認定品)	<p>耐火片面壁 (1時間耐火) 「防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁と取り合う柱廻りに適用」 製造所 吉野石膏「S9+6(認定:FP060NP-0007)」 又は同等品 耐火間仕切壁 壁厚109mm 「防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁に適用」 製造所 吉野石膏「n(n)-q1+2(認定:FP060NP-0199)」 又は同等品 耐火遮音間仕切 (TLd-52相当品) 壁厚119mm 「遮音仕様の耐火壁に適用」 製造所 吉野石膏「n(n)-q1+2・W1(認定:FP060NP-0200)」 又は同等品</p>												
⑰ 9-耐震スリット	<p>耐震スリットは、構造特記仕様書 6章コンクリート工事による。</p>												

⑰ 8-屋内標示板	<p>枠の材質 ※アルミニウム製 ○木製 (掲示壁) 表面の材質 ※塩化ビニールシート張り ○機示クロス ・ コルク 仕様・寸法については標準詳細図 (掲示壁) 参照のこと</p>
⑰ 9-消火器ボックス	<p>材 質 スチール製既製品 指定色焼付 設置場所図示 製造所: 塩田製作 ユニオン「UPB-1F-2720」 又は同等品 置型タイプ ユニオン「UPB-3W-2752」 又は同等品</p>
⑰ 10-コーナー見切 (30°見切)	<p>材 質 複質強化ビニル製既製品 65×65 ※コーナー見切A,Bは木製 (詳細は部分詳細図による) 設 置 図示 製造所: ナカ工業 「NPO-6655V」 又は同等品</p>
⑰ 11-ピクチャーレール	<p>仕様 アルミ製押出型材 中量用 (安全荷重30kg) フック・ハンガー (@1000) 共 製造所 タキヤ「コレターラインC-2E」 又は同等品</p>
⑰ 12-パンバーガード	<p>材 質 合成ゴム製既製品 100×100 設 置 図示 製造所: ナカ工業 「NCD-1010M」 又は同等品</p>
⑰ 13-ライニング	<p>パネリング材加工 化粧材(貼板)と同色とすること 製造所: アイカ工業 又は同等品</p>
⑰ 14-化粧リブ壁	<p>木製型材 三角リブ リフH1 @20 製造所 サカイ「サカイリブ 4.4」 又は同等品</p>
⑰ 15-昇降機設備	<p>用途 乗用 1台 積載量(定員) 750kg(11人) 速度 定格速度 60m/min 仕様 図示 (昇降機設備詳細図による) 製造所: 三菱電機「リリウス」、日立「お23F、フジテック」 又は同等以上</p>

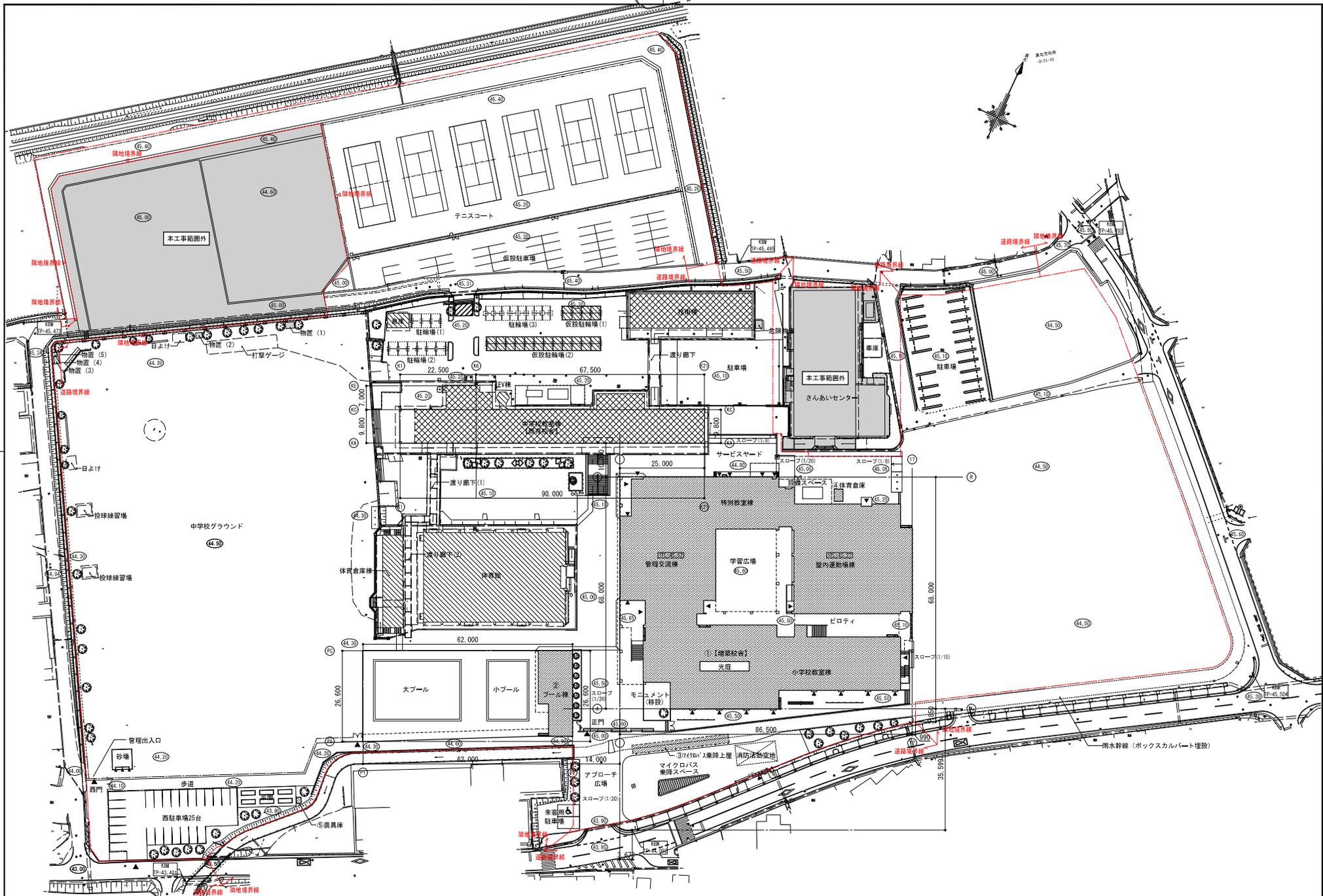
排水工事	① 屋外雨水排水	排水管用材料 (21.2.1) (表21.2.1~2)	材種 ※通心力鉄筋コンクリート管 ※外圧管 (※1種・2種) ※硬質ポリ塩化ビニル管 ※硬質ポリ塩化ビニル管継手	管の種類 ※外圧管 (※1種・2種) ※PP・RS-VU ※WU ※DV・WU継手	管形状(接合方法) B形管 (ゴム接合) (IV型) ※接着受口付片受直管 ・ゴム輪形受口片受直管 1 類A ※接着剤			
	② 舗装	舗装材料 (21.2.1)	名称 舗装材料 マンホールふた マンホールふた マンホールふた 仕上げは周囲舗装仕上げと同材	種類 水射形 簡易密閉形 (バッキン式) 密閉形 (ターバ・バッキン式) 申ふた付密閉形 目地 ※ステンレス製	適用荷重 ※図示	適用箇所 ※図示		
	③ グレーディング	グレーディング	名称 (適用箇所) 舗装材料 マンホールふた マンホールふた 仕上げは周囲舗装仕上げと同材	材質 ※図示	形式 ※図示	適用荷重 ※図示	メインバーピッチ ※図示	上面形状 ※図示
	④ 街きよ	街きよ	種類 緑石、側溝	形状、寸法	備考			
	⑤ 5 層上抑制層	5 層上抑制層	砂地層の材料 砂利地層に用いる材料 砂利地層の厚さ (mm) 製造所 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン 厚さは図示	・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ※再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込砕石 ※100 ・図示 カサイコンクリート「グッドレイン」又は同等品 ・切込砂利 ・砂				
	⑥ 現場打ちの場合	現場打ちの場合	※普通コンクリート 設計基準強度 スラブ 鉄筋の種類	※18N/mm ² ※15cm又は18cm ※SD295				
	⑦ 埋戻し土	埋戻し土	・A種 ・B種 (標仕 表3.2.1)					
	⑧ 舗床	舗床	種類 ○盛土 ・土上抑制層 ○フィルター層	材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (標仕 表3.2.1) ※図示 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 ・砂 ※図示	厚さ (mm) ※図示 ※図示 ※図示			
	⑨ 舗床安定処理	舗床安定処理	安定処理の方法 安定処理工法の添加材料 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・生石灰 () 添加量を定めるために用いるCBR	安定処理工法 置換工法 ・フライアッシュセメントB種 ・消石灰 () ・3以上 ・5以上				

舗装工事	① 舗床	舗床材料 (22.2.2~5) (表22.2.1)	種類 ○盛土 ・土上抑制層 ○フィルター層	材料 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (標仕 表3.2.1) ※図示 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切り込み砂利 ・砂 ※図示	厚さ (mm) ※図示 ※図示 ※図示
	② 舗床	舗床材料 (22.3.1~2) (表22.3.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.3.1~2) (表22.3.1)	
	③ アスファルト舗装	アスファルト舗装 (22.4.1~6) (表22.4.1~6)	アスファルト舗装の構成及び厚さ 材料 アスファルト ※再生アスファルト (※60~80 ・80~100 (寒冷地域)) ・ストレートアスファルト 加熱アスファルト混合物等の種類	舗装材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.4.1~6) (表22.4.1~6)
	④ 舗床	舗床材料 (22.5.1~6) (表22.5.1~6)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.5.1~6) (表22.5.1~6)	
	⑤ コンクリート舗装	コンクリート舗装 (22.6.1~6) (表22.6.1~6)	コンクリート舗装の構成及び厚さ 材料 コンクリート ※普通コンクリート (標仕表22.5.1による) 早強ポルトランドセメント 注入目地材料 目地の種類、間隔、構造 ※標仕表22.5.3及び図22.5.11による	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.6.1~6) (表22.6.1~6)
	⑥ カラー舗装	カラー舗装 (22.6.1~6) (表22.6.1~6)	舗装材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.6.1~6) (表22.6.1~6)	
	⑦ 透水性アスファルト舗装	透水性アスファルト舗装 (22.7.1~6) (表22.7.1~6)	透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ 材料 アスファルト ※再生アスファルト (※60~80 ・80~100 (寒冷地域)) ・ストレートアスファルト	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.7.1~6) (表22.7.1~6)
	⑧ ブロック舗装	ブロック舗装 (22.8.1~3) (表22.8.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.8.1~3) (表22.8.1)	
	⑨ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)	

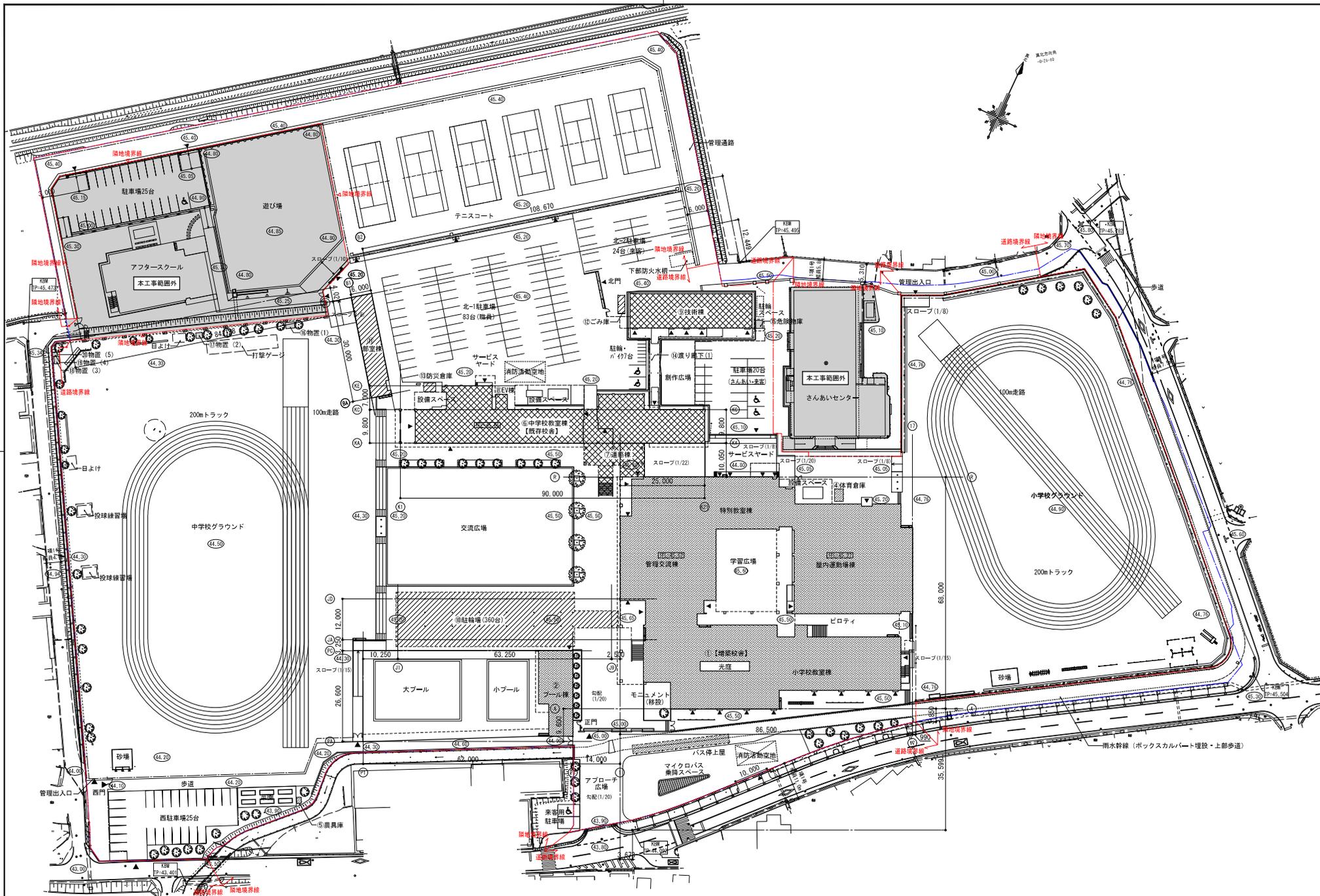
舗装工事	① インターロッキングブロック舗装	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	② 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	③ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	④ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	⑤ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	⑥ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	⑦ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	⑧ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	⑨ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)
	⑩ 舗床	舗床材料 (22.9.1~3) (表22.9.1)	舗床材料 ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ※再生クラッシュラン ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ※再生粒度調整砕石 ・粒度調整鉄鋼スラグ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ	舗床厚さ ※図示による (22.9.1~3) (表22.9.1)

舗装工事	① 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	② 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	③ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	④ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	⑤ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	⑥ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	⑦ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	⑧ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	⑨ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
	⑩ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ

① 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
② 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
③ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
④ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
⑤ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
⑥ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
⑦ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
⑧ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
⑨ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ
⑩ 砕巻き用材料	砕巻き用材料 (23.3.2) (表23.3.2)	種類 ※コウライシバ ・ノシバ	用途 ※コウライシバ ・ノシバ	備考 ※コウライシバ ・ノシバ

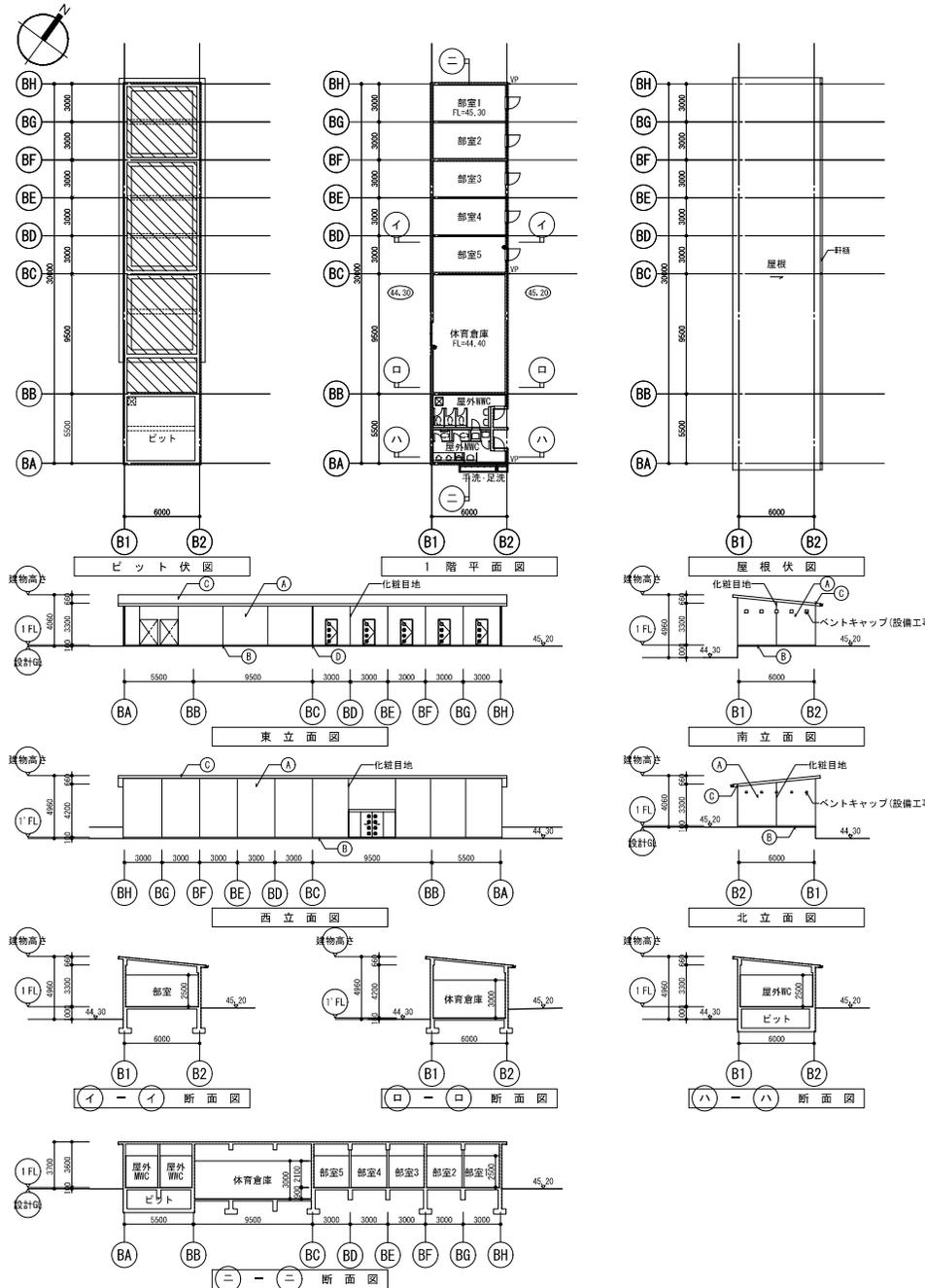


<ul style="list-style-type: none"> 計画建物（前半工事） 改修予定建物（後半工事） 解体予定建物（後半工事） 工事外範囲 	<p>作成日 2025.03</p>	<p>工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 現況図(前半工事完了時点) 縮尺 A1: 1/500 A3: 1/1000</p>	<p>図面番号 A319</p>
--	--------------------	--	------------------

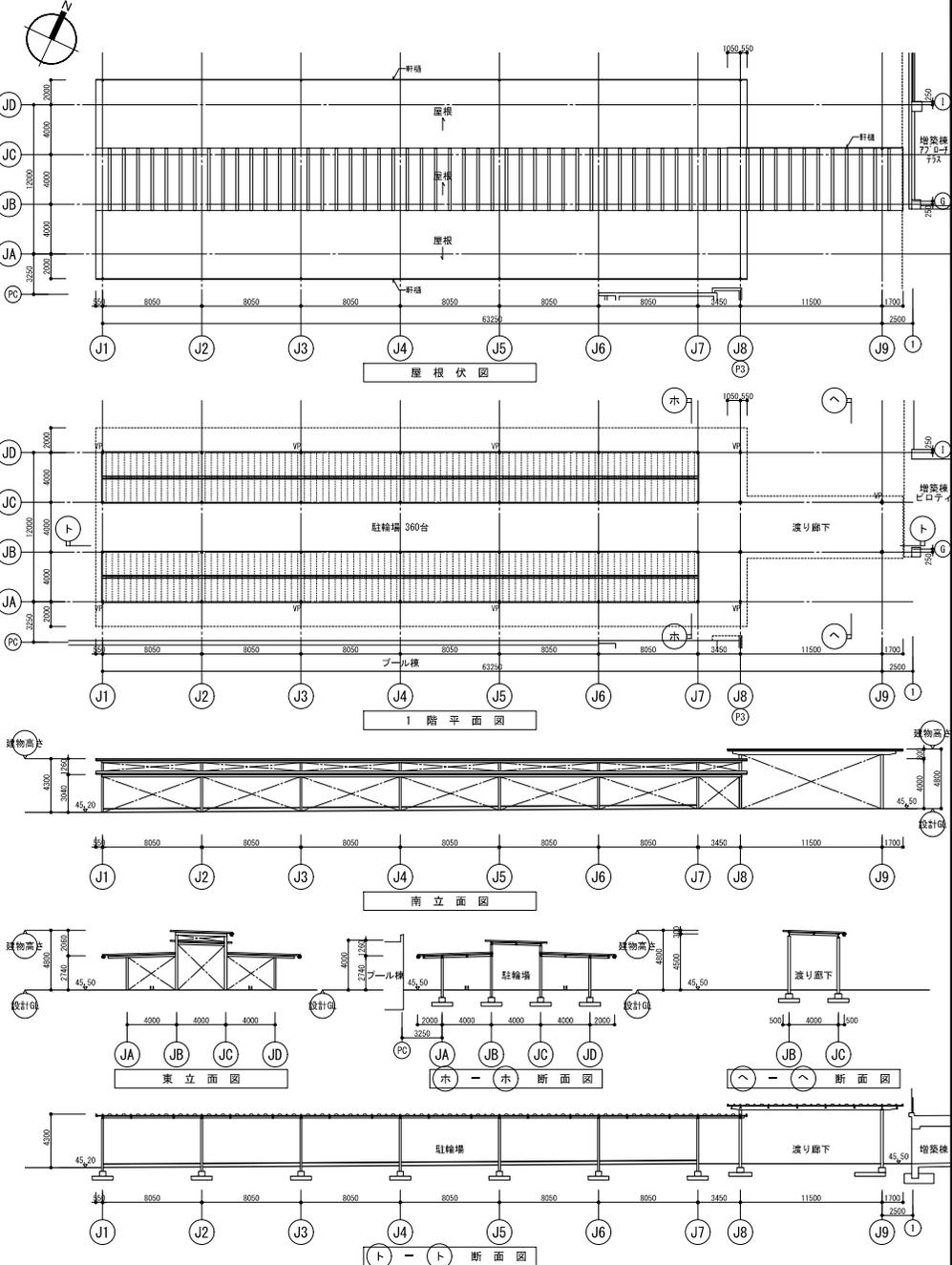


計画建物（後半工事） 改修建物（後半工事） 完成済建物（前半工事） 工事外範囲	作成日 2025.03	工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 配膳図 縮尺 A1: 1/500 A3: 1/1000	図面番号 A320
--	----------------	---	--------------

部室棟



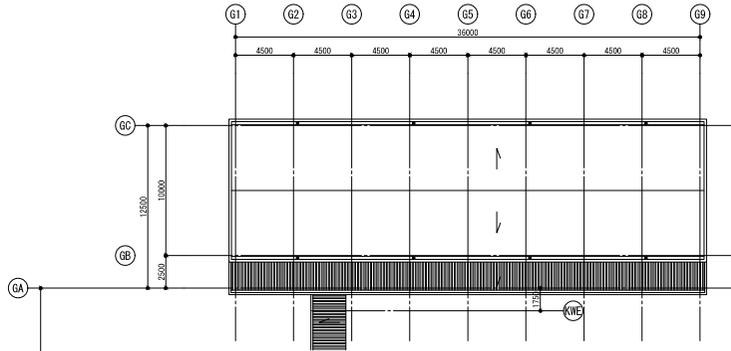
駐輪場・渡り廊下



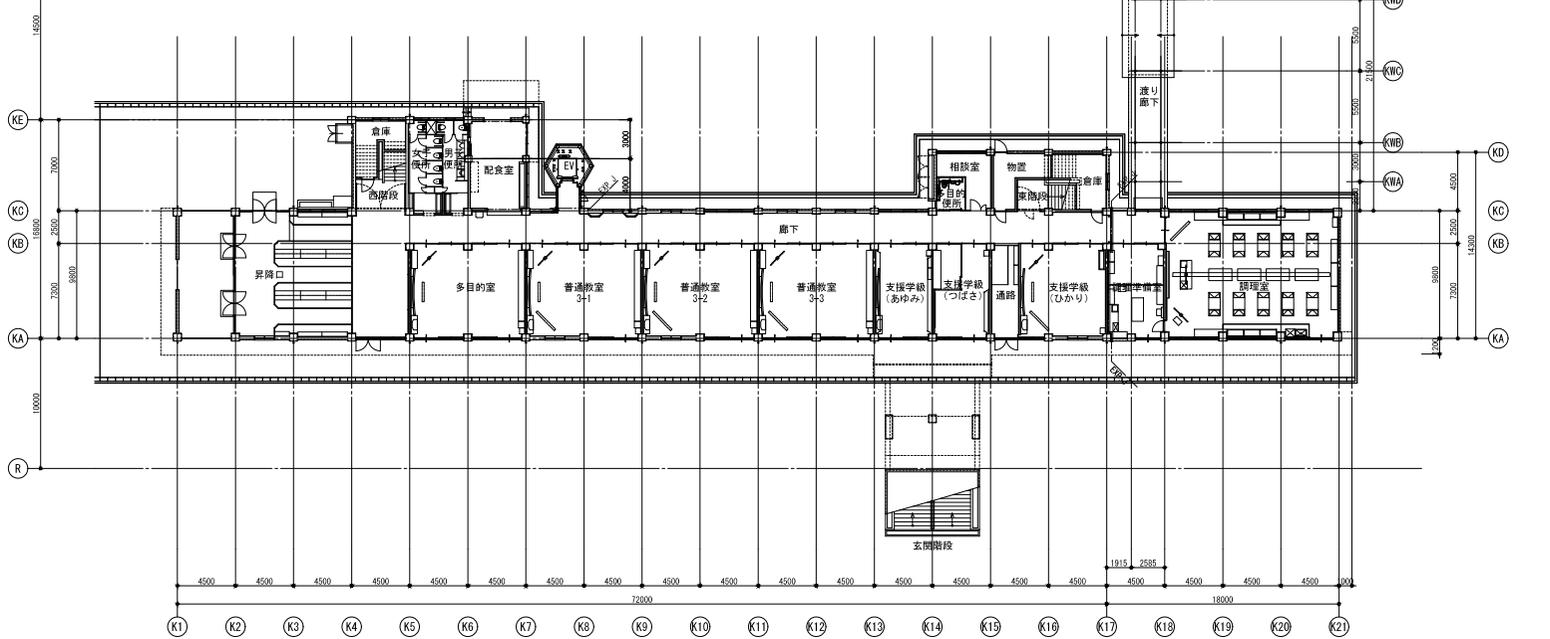
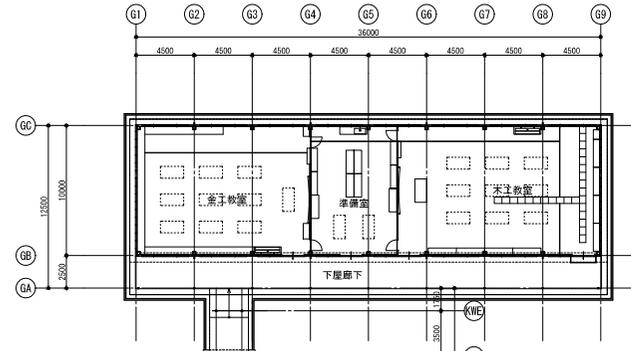
<p>平面図凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 換気口(タラップ4段付) ■ 壁と窓 ○ VP (物置ない渡り VP75) ● 消火器ボックスB(置型) 	<p>立面図凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ A 外装吹付材 ○ B 和打放し(A)の上巻米材塗布 ○ C 塗膜防水 ○ D 塩ビ製装飾 	<p>作成日</p> <p>2025.03</p>	<p>工事名称</p> <p>令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事</p> <p>図面名称 <後半工事></p> <p>附属棟 平面図・立面図・断面図</p> <p>縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400</p>	<p>図面番号</p> <p>A321</p>
--	---	---------------------------	---	-------------------------



技術棟屋根伏図

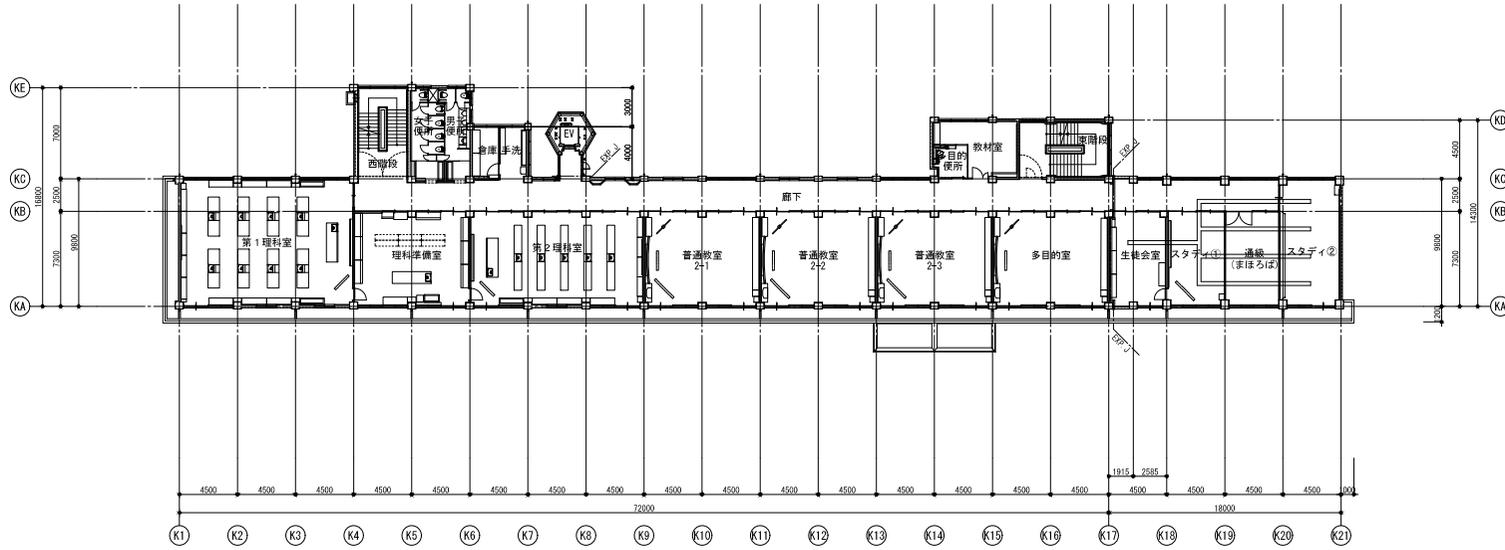


技術棟平面図

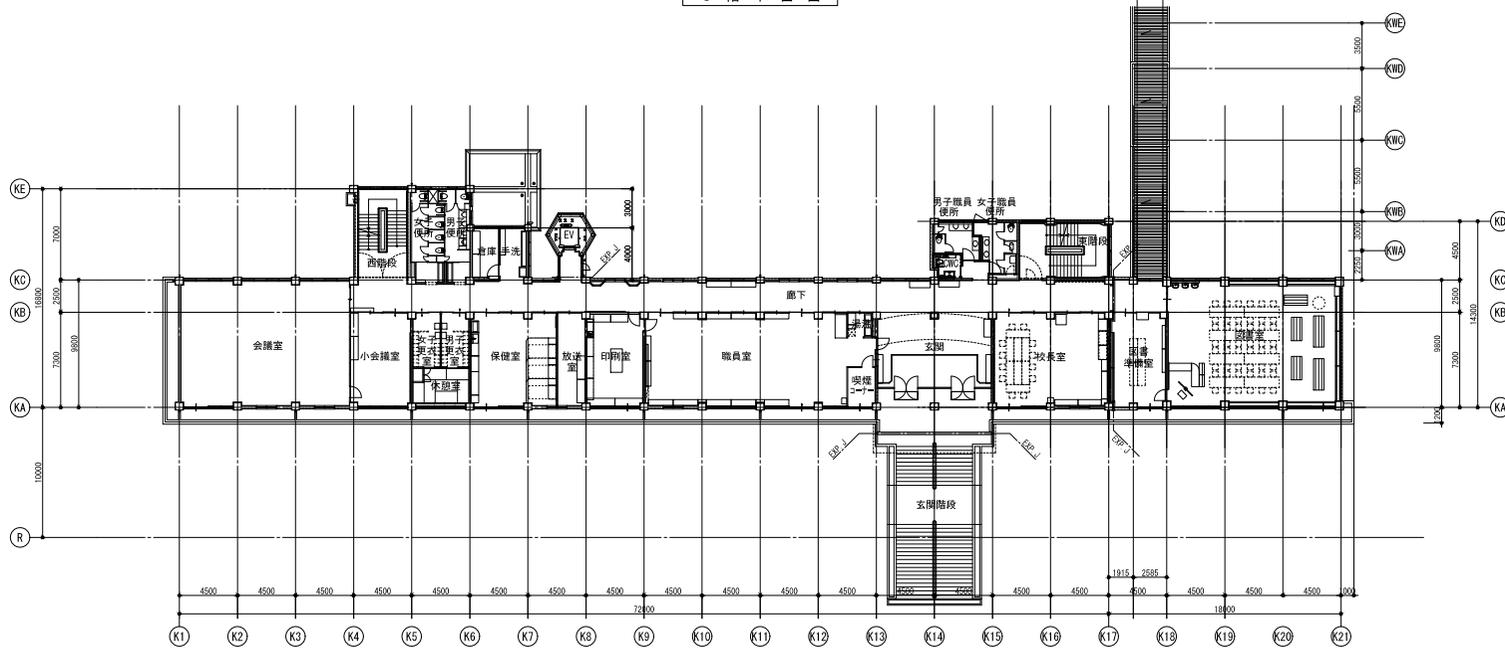


1階平面図

						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 現況平面図 その1 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A322
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------

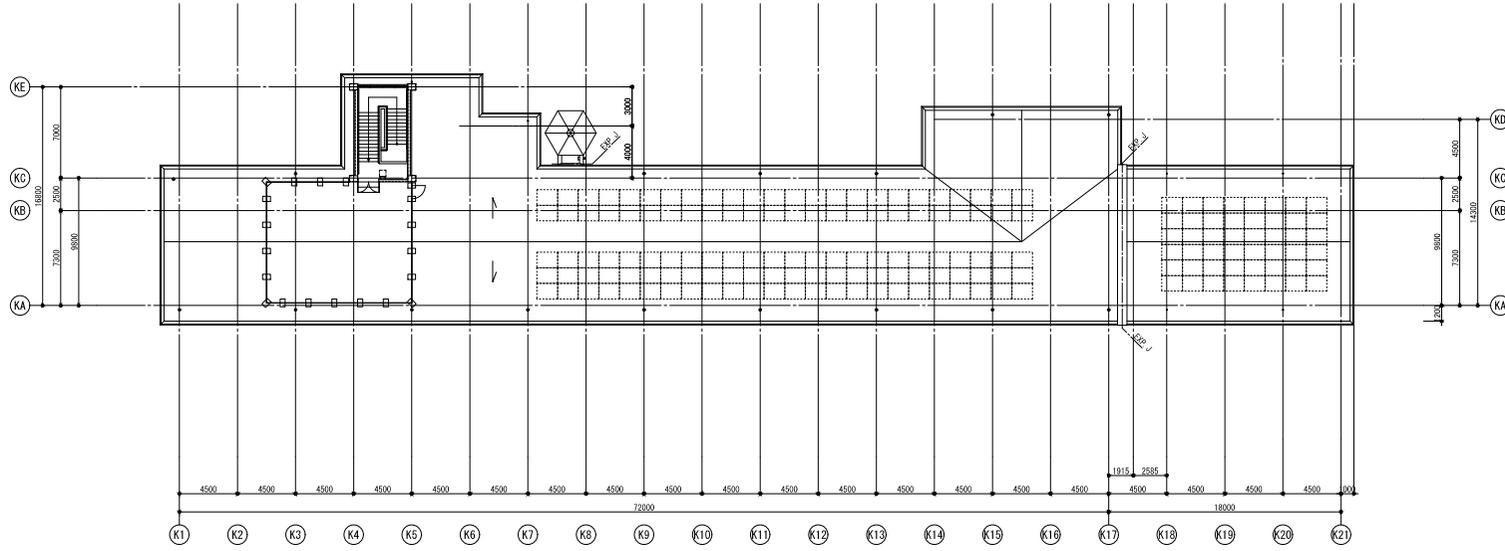
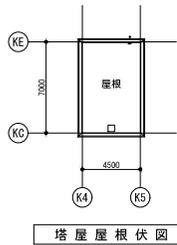


3階平面図

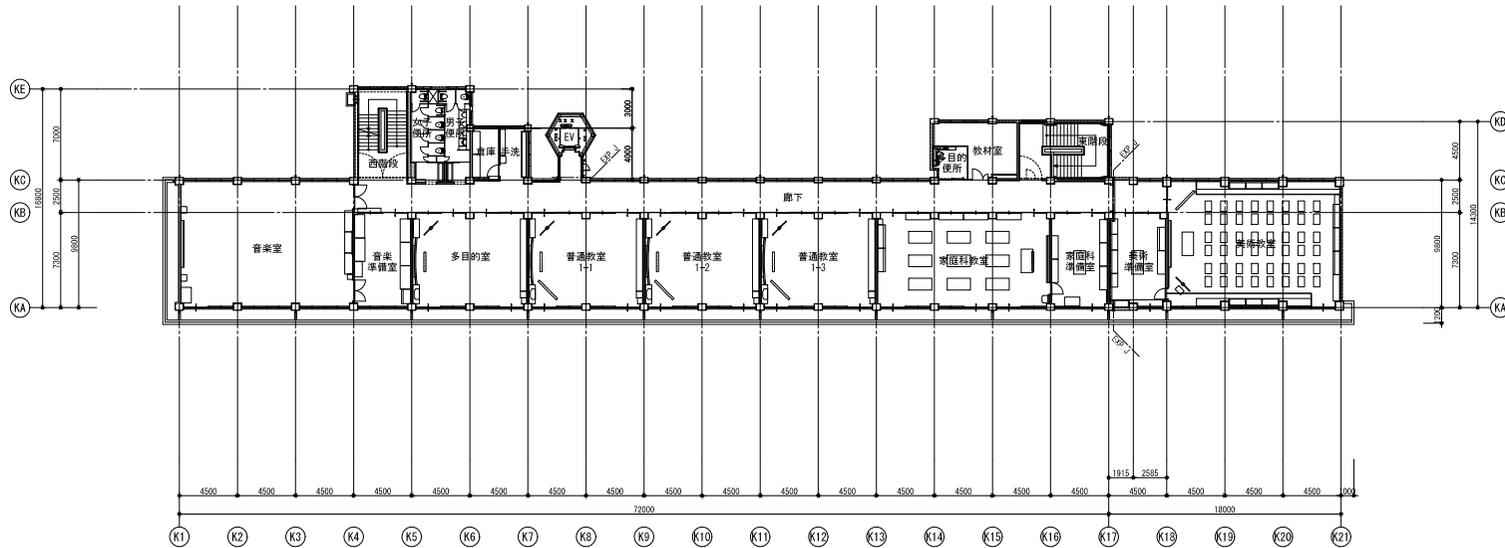


2階平面図

作成日	2025.03	工事名称	令和7年度 加東市海野地域小中一貫校建設工事	図面番号	
		図面名称	<後半工事> 既存校舎・技術棟 現況平面図 その2	A323	
		縮尺	A1: 1/200 A3: 1/400		

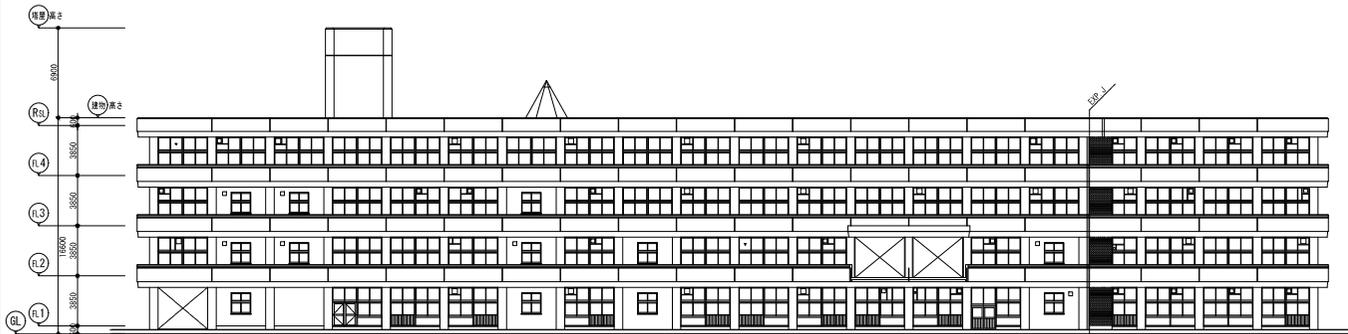


R階平面図

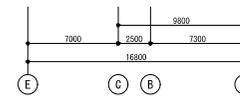
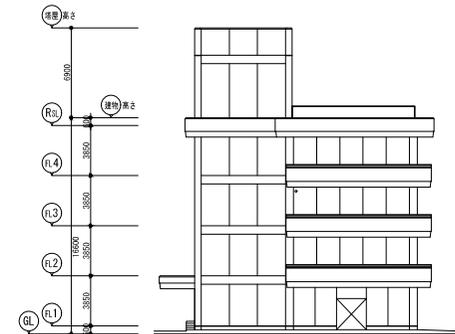


4階平面図

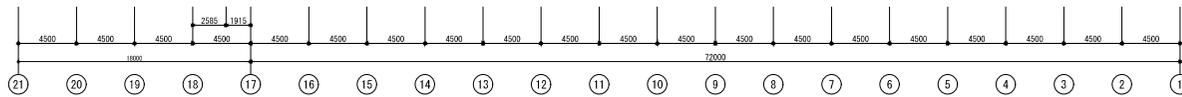
						作成日 2025.03		工事名称 加東市滝野地域小中一貫校建設工事 令和7年度<後半工事> 図面名称 既存校舎・技術棟 現況平面図 その3 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A324
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------



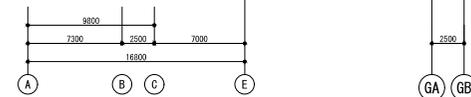
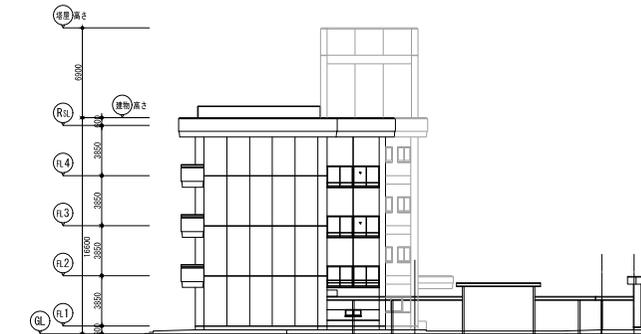
南立面图



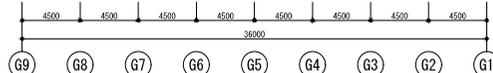
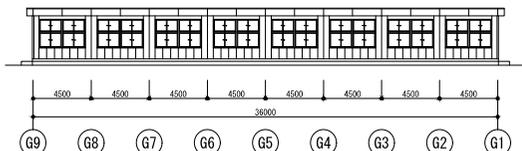
西立面图



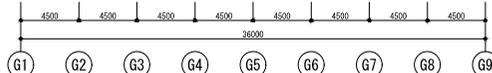
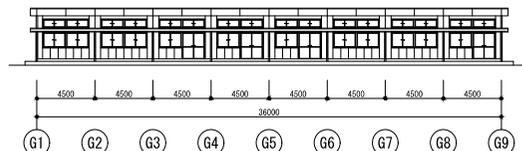
北立面图



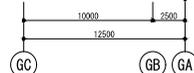
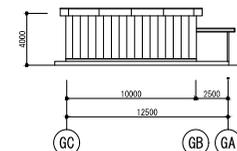
东立面图



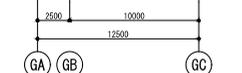
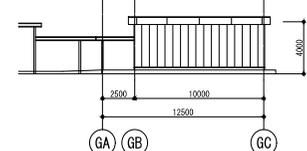
技术楼北立面图



技术楼南立面图

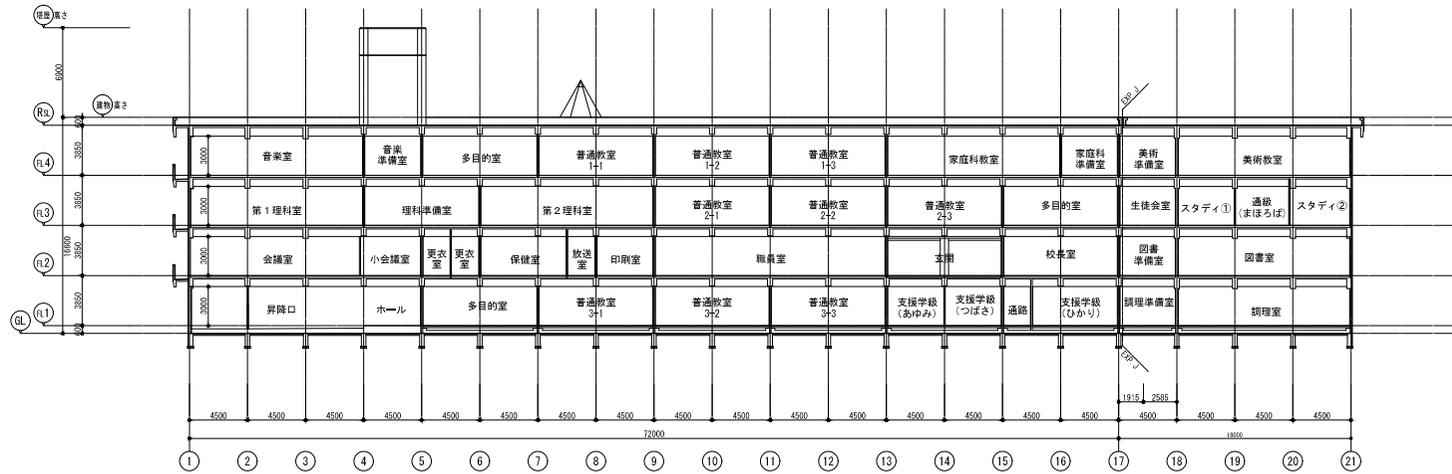


技术楼西立面图

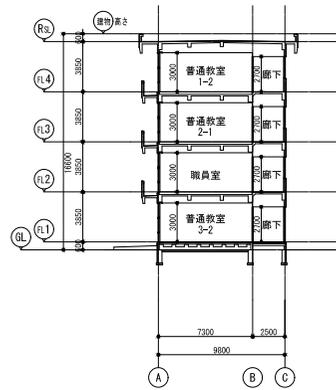


技术楼东立面图

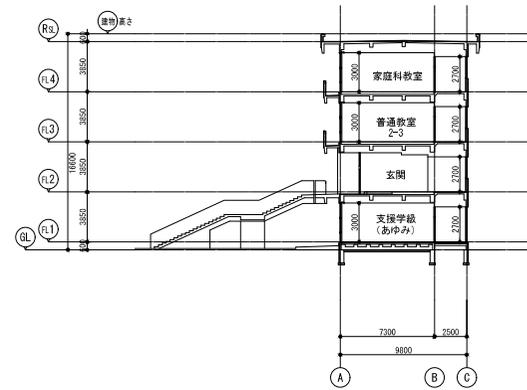
		作成日 2025_03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事	図面番号 A325
			図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 現況立面図	
			縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	



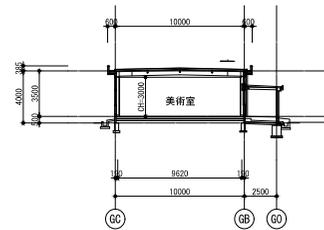
イ - イ 断面図



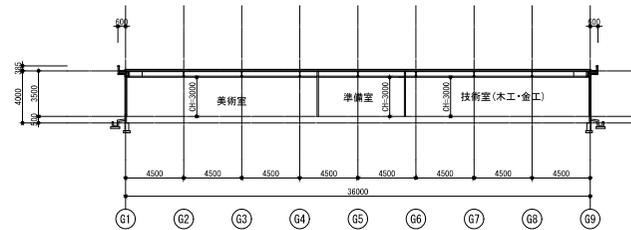
ロ - ロ 断面図



ハ - ハ 断面図



ニ - ニ 断面図



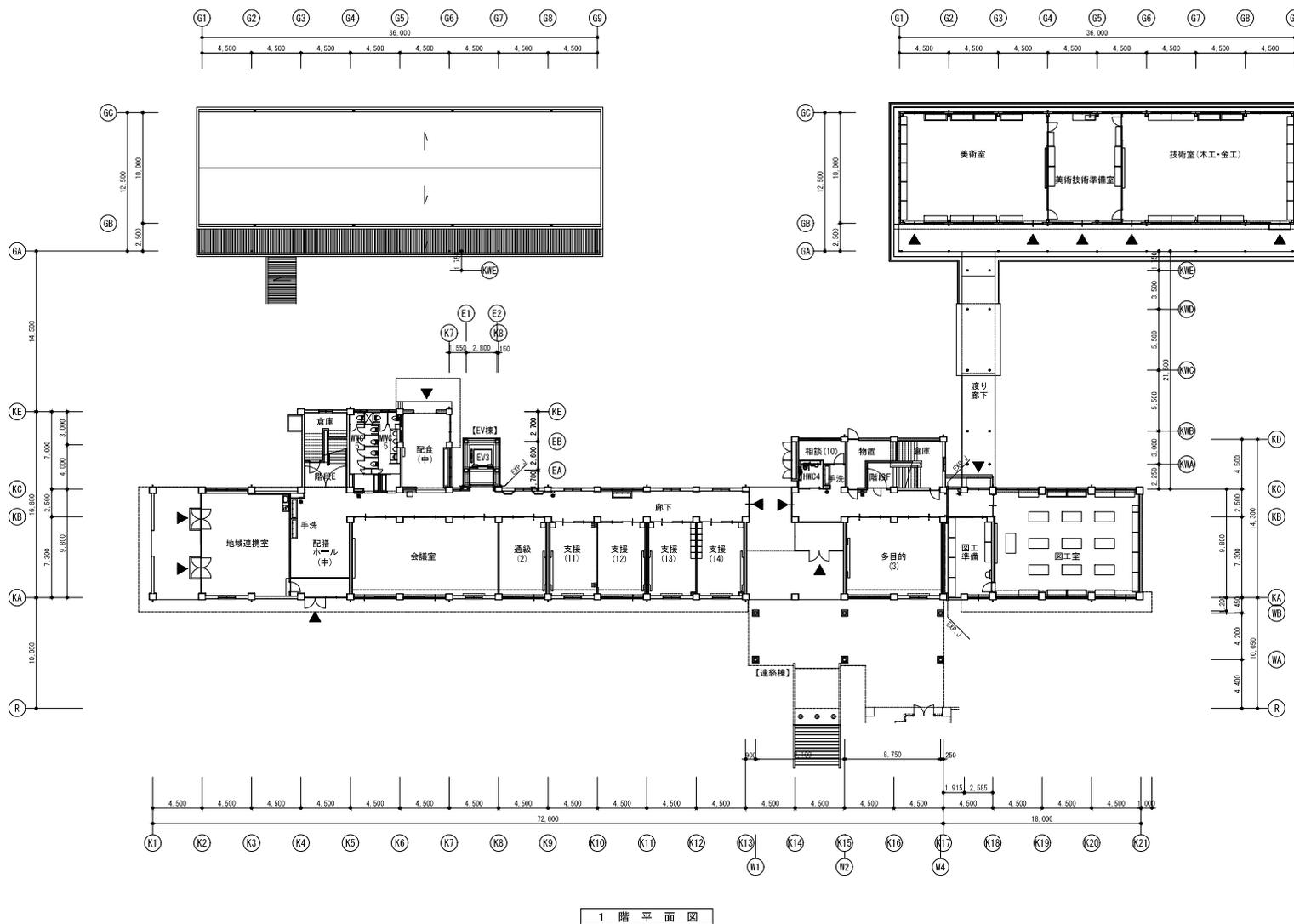
ホ - ホ 断面図

						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 現況断面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A326
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------



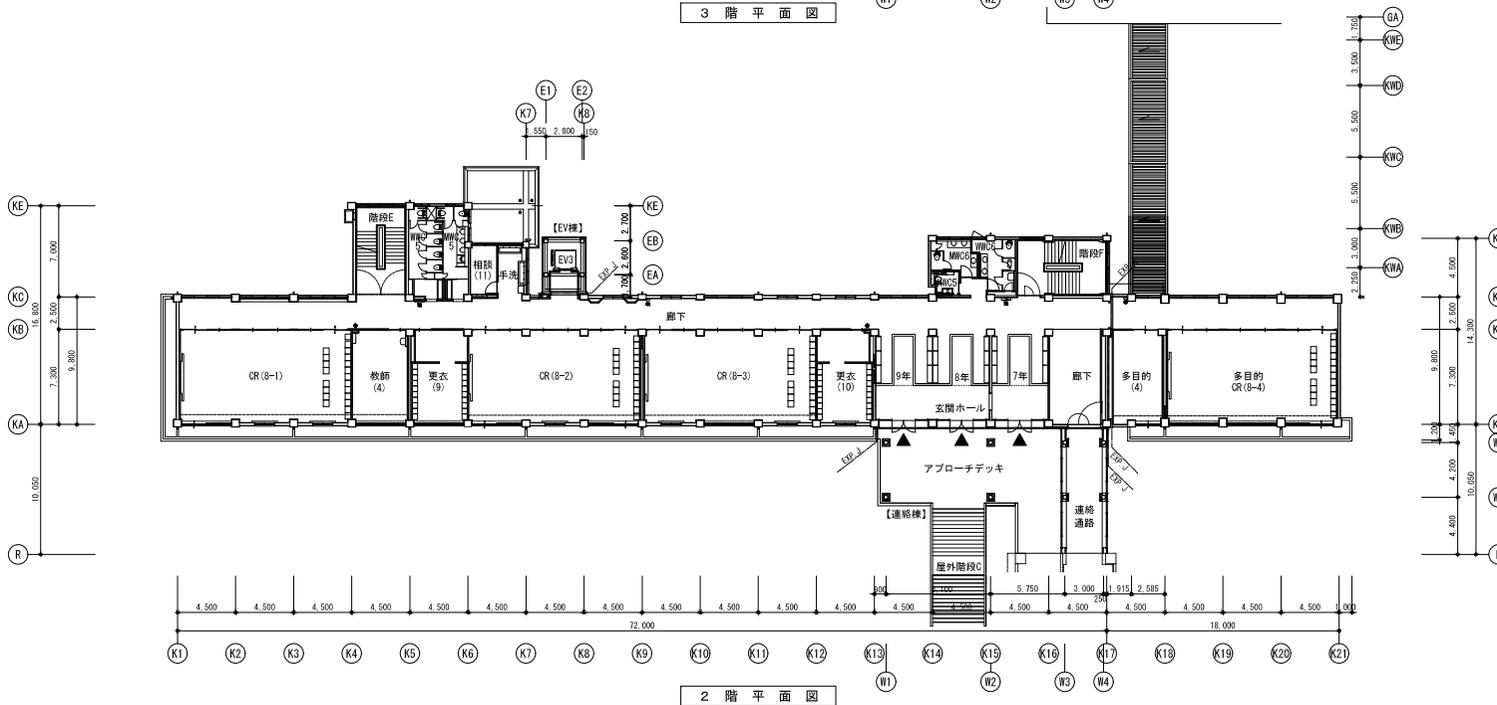
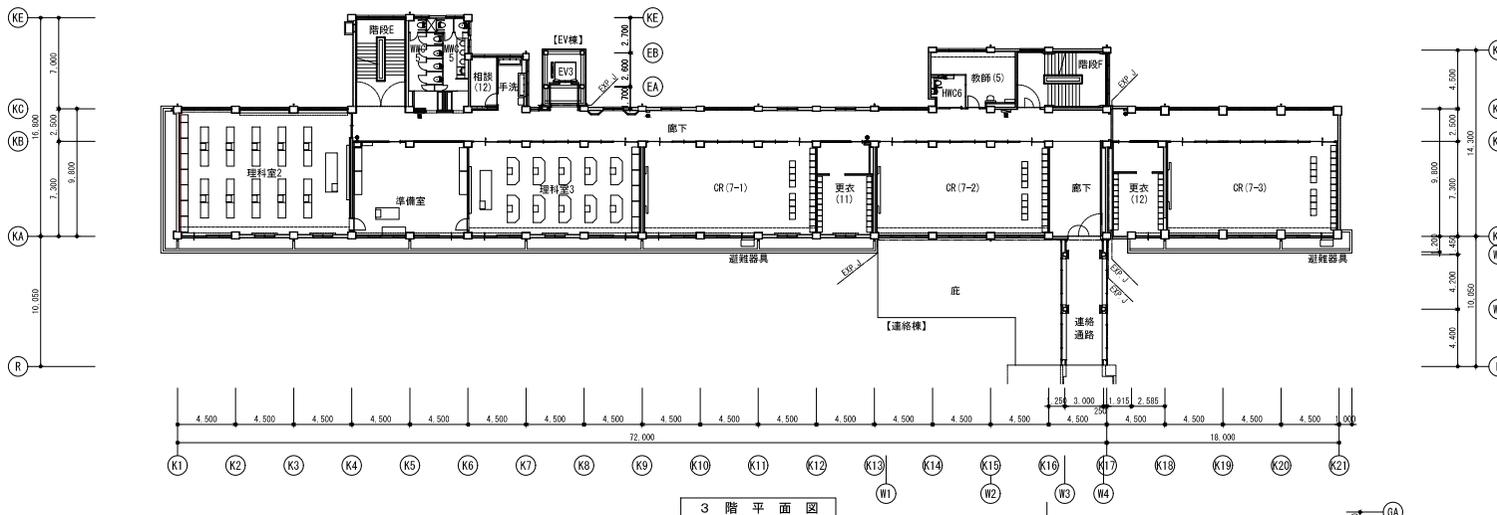
技術棟屋根伏図

技術棟平面図

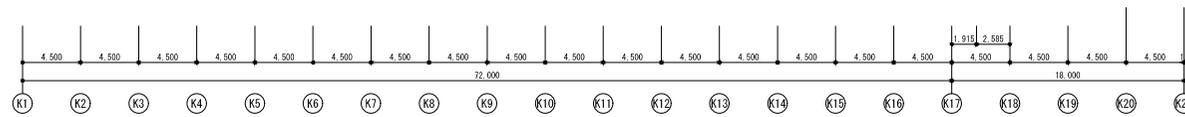
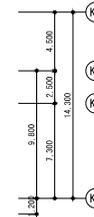
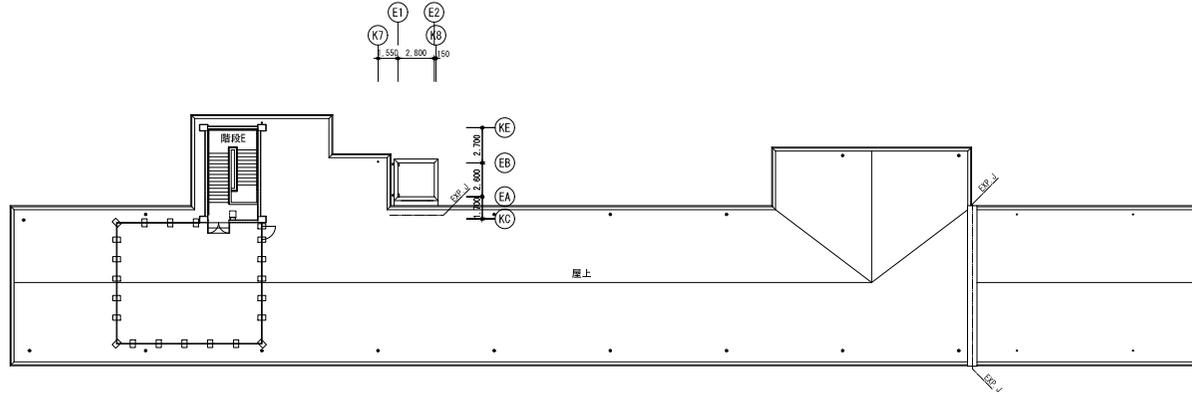
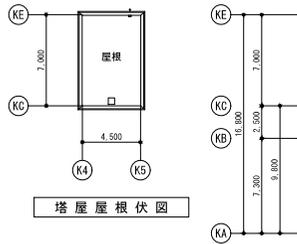


1階平面図

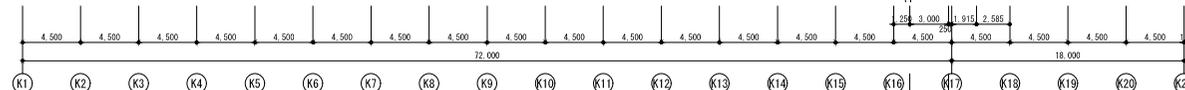
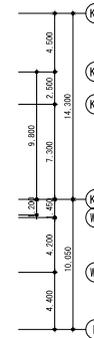
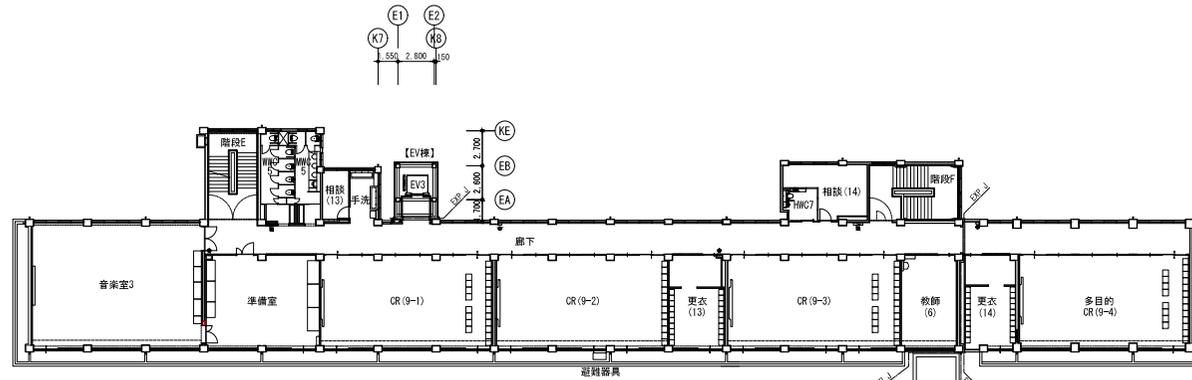
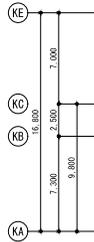
						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修平面図 その1 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A327
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------



						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修平面図 その2 縮尺 A1: 1/500 A3: 1/400	図面番号 A328
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------

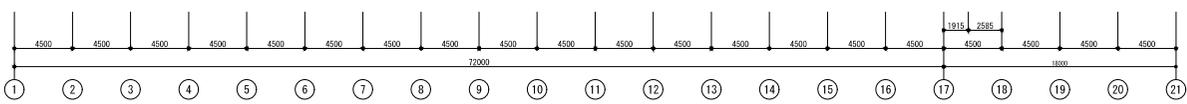


R階平面図

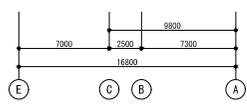
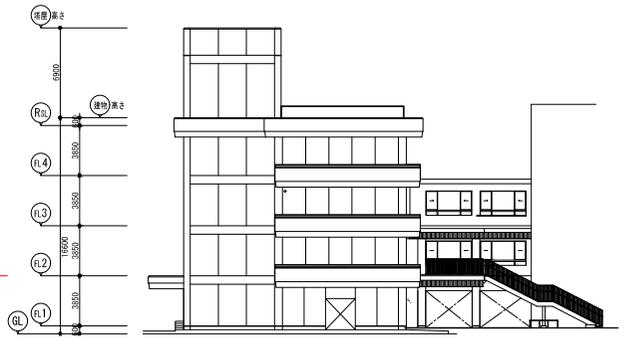


4階平面図

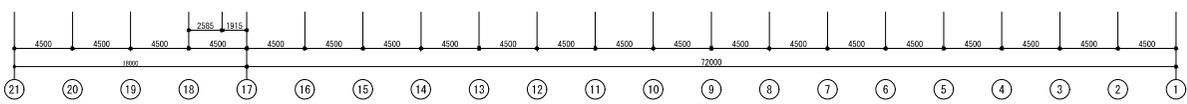
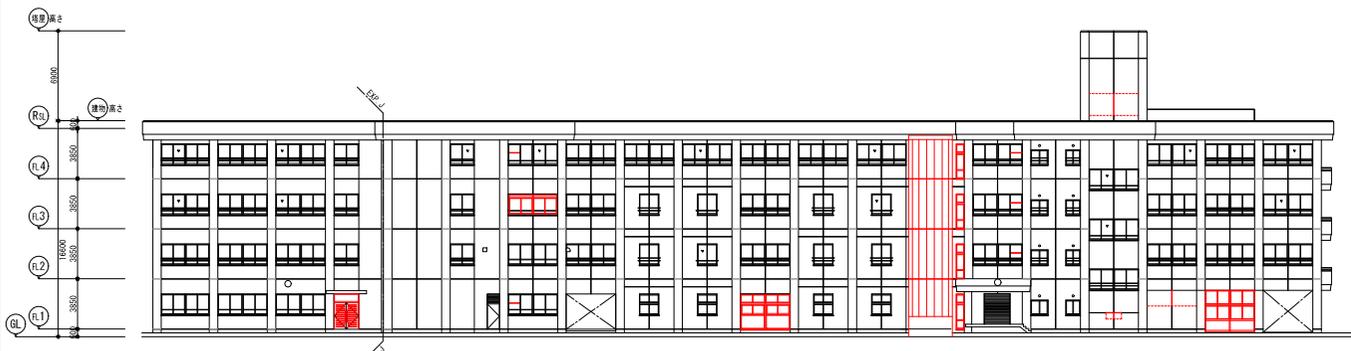
						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修平面図 その3 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A329
--	--	--	--	--	--	----------------	--	--	--------------



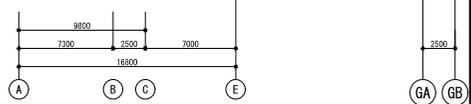
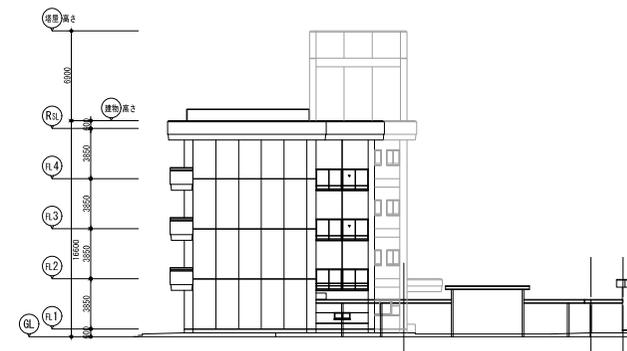
南立面图



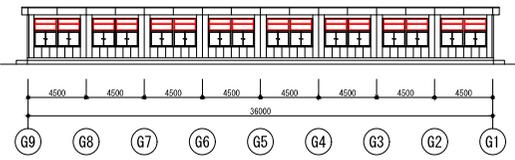
西立面图



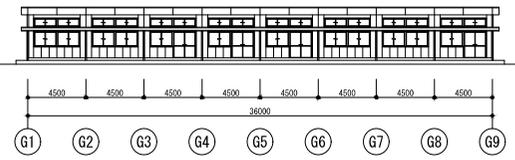
北立面图



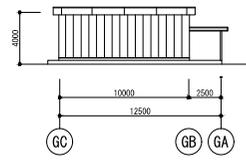
東立面图



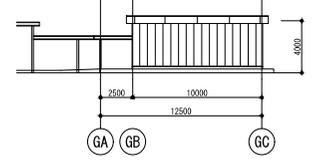
技術棟北立面图



技術棟南立面图

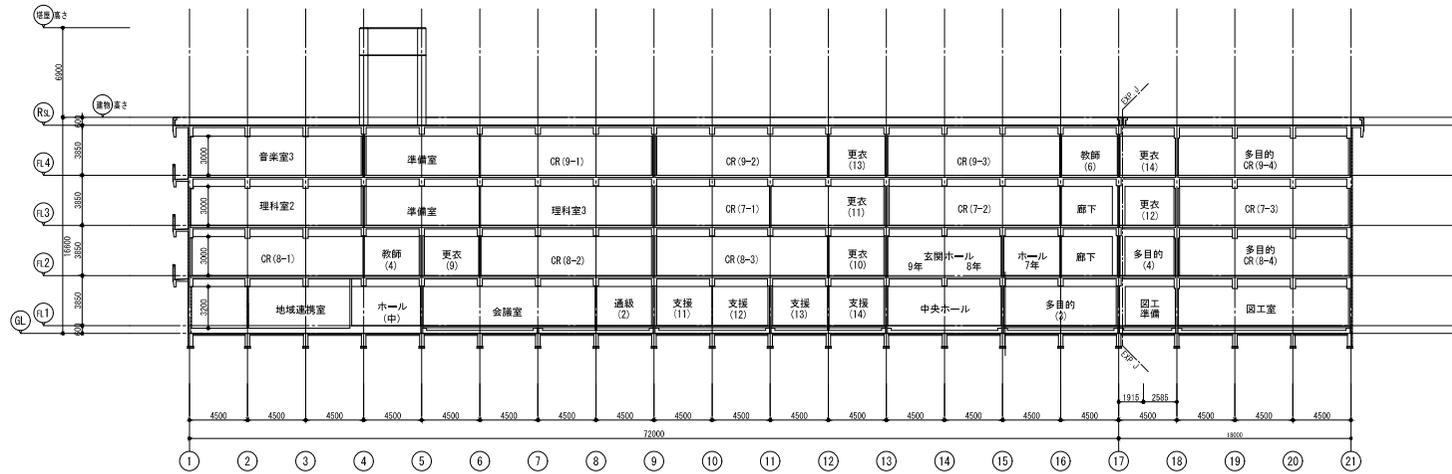


技術棟西立面图

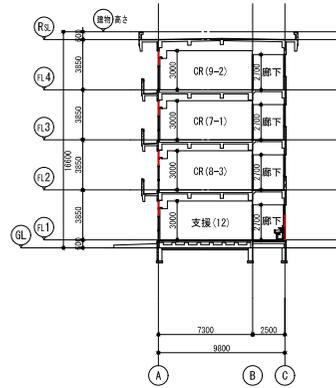


技術棟東立面图

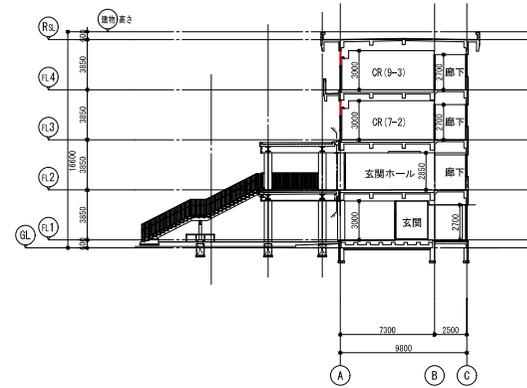
		作成日 2025_03	工事名称 令和7年度 加東市港野地域小中一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修立面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A330
--	--	----------------	--	--------------



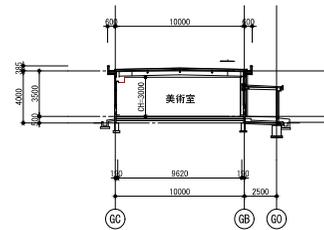
イ - イ 断面図



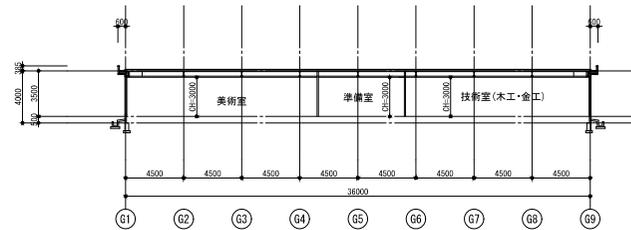
ロ - ロ 断面図



ハ - ハ 断面図



ニ - ニ 断面図



ホ - ホ 断面図

						作成日 2025.03		工事名称 令和7年度 加東市港野地域小一貫校建設工事 図面名称 <後半工事> 既存校舎・技術棟 改修断面図 縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 A331
--	--	--	--	--	--	----------------	--	---	--------------

令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事 仕様書

1. 工事名等

工事名 令和7年度 加東市滝野地域小中一貫校建設工事

工事場所 加東市下滝野 761 番地（加東市立滝野中学校）ほか

工期 契約締結日の翌日から令和10年3月25日まで

※当該工事の入札日は令和7年8月上旬であるが、加東市議会承認（9月1日予定）を経て本契約とする。よって入札日から本契約までの間は、仮契約とする。現場での工事着手は本契約後とする。

2. 工事概要

「令和7年度加東市滝野地域小中一貫校建設工事（以下、本工事という）」は、加東市立滝野中学校敷地及び周辺地において、以下施設の建設及び改修を実施する。

(1) 事業対象施設

対象施設（新築）	構造等	延べ面積
小学校教室棟 管理交流棟 特別教室棟 屋内運動場棟	RC造一部S造3階建	11,984.09 m ²
プール棟	RC造平屋建	119.10 m ²
部室棟	RC造平屋建	176.04 m ²
連絡通路棟	S造3階建	77.34 m ²
屋外付帯	バス停上屋、駐輪場等	—
外構	テニスコート、小グラウンド等	—

対象施設（既存改修）	構造等	延べ面積
中学校教室棟	RC造4階建	4031.05 m ²
技術棟	S造平屋建	450.00 m ²

対象施設（解体撤去）	構造等	延べ面積
既存屋内運動場棟	RC造2階建	約1,256 m ²
既存体育倉庫棟	RC造2階建	約324 m ²
既存プール (付帯棟含む)	RC造平屋建	約113 m ²
既存駐輪場	S造平屋建	約225 m ²
屋外付帯	渡り廊下、倉庫等	—

(2) 工事ステップ

工事ステップについて、別紙「加東市滝野地域小中一貫校整備概要」も併せて参考とすること。

本工事は、ステップ4からステップ8までが対象工事範囲となる。ステップ1からステップ3は完了している。

なお、実際の工事工程は、契約後、施工者、監理者、発注者において協議の上、決定するものとする。

【ステップ1 先行工事①】 令和6年5月～令和6年10月

- ・南東側、北側農地を造成
- ・農業用水路の撤去

【ステップ2 先行工事②】 令和6年11月～令和7年3月

- ・北東側農地を造成、管理道路整備
- ・保健センター解体

【ステップ3 先行工事③】 令和7年4月～令和7年8月

- ・新設テニスコート整備（4面）
- ・既存テニスコート、既存駐輪場解体
- ・埋蔵文化財調査（7月～9月）

【ステップ4 滝野地域小中一貫校建設工事（前半工事①）】 令和7年9月～令和8年7月

- ・小学校教室棟、管理交流棟、特別教室棟、屋内運動場棟建設
- ・新設テニスコート整備（2面）
- ・仮設駐輪場建設

※新設テニスコート2面は、ステップ3で新設されたテニスコート4面の西側に整備する。整備にあたり、中学校テニス部が活動している中で実施するため、学校及び発注者とスケジュール調整を行うこと。テニス部活動の長期休止はできない。

【ステップ5 滝野地域小中一貫校建設工事（前半工事②）】 令和8年8月～令和8年9月

- ・小学校教室棟、管理交流棟、特別教室棟、屋内運動場棟建設
- ・既存プール棟解体、既存駐輪場解体
- ・南西農地を造成

※既存プール及び既存駐輪場（プール南側）の解体は、令和8年度の水泳授業終了後（令和8年7月末）から実施する。

※解体時における騒音については、実施時期や工程について、市監督員・学校関係者と事前によく協議すること。騒音により授業や学校生活に支障が出ると想定される場合は、土日祝日や長期休みにおいて実施する。

【ステップ6 滝野地域小中一貫校建設工事（前半工事③）】 令和8年10月～令和9年3月

- ・小学校教室棟、管理交流棟、特別教室棟、屋内運動場棟建設
- ・プール棟建設

※小学校教室棟、管理交流棟、特別教室棟、屋内運動場棟は、令和9年3月の春季休業時に、中学中学校教室棟より中学生の引っ越し、新規備品搬入、仮設教室改造工事を行うため、令和9年2月末までに引っ越しができる状態まで完成させる。仮設教室改造工事とは、本来小学生が利用するための校舎を中学生が利用できるよう仮設工事を行う予定としている。

※中学生が引っ越し後、新校舎をすみやかに供用開始できるよう、建築確認申請等法的完了検査及び消防検査ほか必要な諸手続き及び協議を行うこと。特に、消防設備の切り替えのタイミングについては、十分な協議と調整が必要となるため、注意すること。

【ステップ7 滝野地域小中一貫校建設工事（後半工事①）】 令和9年4月～令和9年9月

- ・中学校教室棟長寿命化改修
- ・既存屋内運動場棟解体

【ステップ8 滝野地域小中一貫校建設工事（後半工事②）】 令和9年10月～令和10年3月

- ・中学校教室棟長寿命化改修
- ・小学校グラウンド整備
- ・駐輪場、部室建設
- ・既存駐輪場解体

※中学校教室棟の長寿命化改修工事については、令和10年1月末までに完了させること。令和10年2月より、中学校教室棟の新規備品搬入及び、中学生の引っ越し、新校舎の仮設教室を復旧させる工事等を実施する。中学生の学校生活に支障がない範囲の工事は、令和10年3月まで続行しても構わない。

※中学生が引っ越し後、中学校教室棟をすみやかに供用開始できるよう、建築確認申請等法的完了検査及び消防検査ほか必要な諸手続き及び協議を行うこと。特に、消防設備の切り替えのタイミングについては、十分な協議と調整が必要となるため、注意すること。

(3) 関連する別途工事について

本工事の敷地内及び敷地周辺において、以下別途工事（作業）を実施する。請負工事業者（作業）の搬出入動線や作業工程において、随時調整を行うこと。

①雨水幹線付け替え工事 令和6年7月～令和7年7月

敷地中央を通っている雨水幹線を、敷地南側の道路沿いへ付け替えている。本工事が開始するまでに完了している予定。

②埋蔵文化財調査による発掘作業 令和7年7月～令和7年10月

敷地南側の道路沿い付近において、埋蔵文化財の発掘調査を実施する。現場作業は令和7年9月に完了する予定。

③滝野地域アフタースクール建設工事 令和8年12月～令和9年11月

敷地北西側において、滝野地域アフタースクールの建設工事を実施する。

3. 契約不適合責任期間

工事一般 2年（加東市へ引き渡した日から）

但し、その契約不適合が請負人の故意又は、重大な過失によって生じたものであるとき、契約不適合に関する受注者の責任については、民法の定めるところによる。

4. 契約

工事契約は、加東市工事請負契約約款による。

5. 監督員の指示

当該工事の実施を通じ、市が当該工事の履行を監督する者として定めた職員（以下「市監督員」という。）の指示に従い円滑に業務を遂行する。

6. 設計変更

設計変更を生じた時は、市監督員と打ち合わせの上、変更契約を締結した後に変更工事に着手すること。その場合は、各工事とも契約時の設計単価・経費率により、設計金額に落札率を乗じて請負金額の増減を行う。

現場の納まり・取合いなどの関係で軽微な変更をする場合も、市監督員の指示による。なお、軽微な変更においては、請負金額の増減はしない。

ア. 当該工事において、精算対象となる項目例は以下の通りである。

- 例1) 設計図書に示した条件から変わるもの（諸室位置の変更、仕上材のグレード変更、機器仕様の変更等）
- 例2) 市や学校要望による追加・変更指示
- 例3) 発生材運搬処分
- 例4) 足場設置後でなければ判別が付かないもの（外壁劣化部の補修）
- 例5) 隠蔽部等、不測の事象によるもの（躯体劣化部の補修、設備配管ルートの変更等）
- 例6) その他、協議を要するもの

イ. 納まり上、明らかに必要となる下記項目例、その他これらに類する軽微な変更においては、請負金額の増減はしない。

- 例1) 仕上げ見切材、窓廻りの額縁
- 例2) 支持金物等、撤去跡の左官補修
- 例3) 塗装のタッチアップ
- 例4) 外壁改修における端部や打継・化粧目地のシーリング
- 例5) 内装工事における下地材
- 例6) 内装工事における衛生機器や家具と取合うシーリングや化粧目地
- 例7) 家具や設備の支持部材及び取合う補助部材
- 例8) 改修範囲における設備機器や器具の一時取外し復旧

- 例9) 屋外や屋内に面する鉄部塗装
- 例10) 仮設足場、仮囲い、仮設計画に係る一切(誘導員は増減対象)
- 例11) スクラップ控除

7. 建築工事仕様書

(1) 優先順位 (設備工事も同様とする。)

- ① 質疑応答書 ② 現場説明事項 ③ 特記仕様書 ④ 設計書
- ⑤ 設計図 ⑥ 共通仕様書

また、以下記載の有無に関わらず当該工事に関連する適用基準・指針等があれば遵守すること。

- ・ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 公共建築工事標準仕様書(電気工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 公共建築改修工事標準仕様書(電気工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 公共建築工事標準仕様書(機械工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 建築工事標準詳細図(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 公共建築工事標準詳細図(電気設備工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 公共建築工事標準詳細図(機械設備工事編)(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 建築設備設計・施工上の運用指針(日本建築設備・昇降機センター)
- ・ 建築工事安全施工技術指針(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 建築保全業務共通仕様書(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- ・ 小中学校施設整備指針(文部科学省大臣官房文教施設企画・防災部)
- ・ LPガス設備設置基準及び取扱要領(高压ガス保全協会)
- ・ 非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針(有害物質含有等製品廃棄の適正処理検討会)
- ・ 「建築物の解体等の作業及び労働者が石綿等にはく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する技術上の指針」に基づく石綿飛散漏洩防止対策徹底マニュアル(厚生労働省)
- ・ 営繕工事写真撮影要領
- ・ 工事写真の撮り方 建築設備編(一般社団法人 公共建築協会編)
- ・ 内線規程(一般社団法人 日本電気協会 電気技術基準調査委員会編)
- ・ 高压受電設備規定(一般社団法人 日本電気協会 電気技術基準調査委員会編)
- ・ 高周波抑制対策技術指針(一般社団法人 日本電気協会 電気技術基準調査委員会編)

8. 現場施工要領

(1) 工事着手前

- ① 当該工事(仮設工事含む)の着手前に(必要であれば工事中も随時)、近隣住民に対し工事内容・工程・その他必要と思われる事項をチラシ配布等で十分に周知し、近隣トラブルの防止に努めること。また、市監督員と協議し、住民に対しての説明会を行うこと。

②当該工事に必要な水や電力等の仮設は請負者側にて準備すること。敷地内公共施設の、水・電力を有償譲渡することは可能。

③現場事務所及び資材置き場、作業員駐車場等は、設置場所については市監督員と協議すること。敷地外へ設置する場合も事前に市監督員と協議を行い、別敷地利用にかかる費用は請負者負担とする。

④車両待機場所についても、事前に市監督員と協議をすること。待機場所利用にかかる費用は請負者負担とする。

⑤着手前には以下の書類を市監督員へ提出すること。

- ・着手届 ・現場代理人、主任技術者届 ・工程表 ・コリンズ登録
- ・施工計画書（仮設・安全・施工体系図関係、再生資源利用計画書、産業廃棄物処理関係書類共） ・工事用材料使用届 ・下請業者選定届
- ・その他必要なもの

⑥必要に応じて、現場周辺に工事・安全対策の表示および誘導看板を設置すること。

⑦当該工事敷地周辺には以下の公共施設があるため、それぞれの施設運営に支障のないよう十分に留意すること。

【滝野中学校】

・平日だけではなく土日祝日も部活動等で教職員・生徒の出入りがあるため、工事車両の動線に注意すること。

・工事車両の搬入出は、生徒の登校時間 7 時～8 時頃、下校時間 16 時～18 時（時期により変動）の間を外して調整すること。

・学校行事によって大きな音の出る工事を制限することがある。その際、例えばテストや講演会等の場合は大きな音の出る工事は認めない。音の出ない軽微な作業（墨出し等、工具や重機を用いない作業）は可とする。

《参考》令和 6 年度の行事

体育大会：9/14

入学式：4/9

卒業式：3/15

期末テスト：6/19～6/21、11/27～11/29、2/26～2/28

中間テスト：5/16～5/17、10/24～10/25

実力テスト：4/18、9/2、1/7、3/12

三者面談：12/11～12/19

参観日：4/27、6/8、11/2

合唱コンクール：11/2

新入生入学説明会：1/23

ほか、講演会、臨時テスト等

・上記のほか、学校行事や講演会の際は、市監督員と協議の上、音に配慮した作業を行う。

【さんあいセンター】

・昼夜問わず利用者の出入りがあるため、工事車両の動線に注意すること。

⑧工事中は周辺住民に対し防塵対策・騒音対策（散水・養生等）を十分におこなうこと。

⑨騒音測定及び家屋調査は、別途実施する。当該工事に含まない。

⑩工事に関する近隣説明会や起工式は、市監督員とスケジュールや内容を調整の上、請負者の負担において実施すること。

(3) 工事管理

①工事写真・完成写真

「工事前・工事中・工事後」の写真は必ず施工箇所全てにおいて撮影しておくこと。特に工事前写真は、施工後撮影することは不可能である為、施工箇所全ての事前写真を撮影できているか入念に確認すること。着工前に工事監理者及び市監督員に工事前写真を提出し、チェックを受けること。

②各種検査

各検査は、適宜時期をはずさぬよう市監督員と事前に打合せの上、日時を決定し、検査を受けること。また完了検査前に請負者による自主検査、及び工事監理者による監理者検査を行い、市監督員に報告書を提出すること。

③工程会議

定期的な工程会議は1週間～2週間に1回開催することとする。現場の進行状況に併せ、臨時の工程会議を開催することもある。その際、現場代理人及び関係者は必ず会議に出席すること。また現場において、工程・施工上打合せ等の必要な時は、その前日までに連絡し立会をもとめること。

④告知義務

設計図書に従って施工した後、契約不適合の発生を予期したる時は、市監督員に文書にて報告しなければならない。

⑤災害対策

災害を予期したる場合は、すみやかに防衛対策を講ずること。また、万一災害を受けた場合は、調査報告並びに復旧対策書を提出すること。

⑥材料機器承諾願い

使用資材の仕様届及び必要に応じ見本を提出すること。

承諾願いを事前に提出し、設計書に記載されている内容の同等品以上であることの確認を受け、市監督員の承諾を得ること。

缶等の材料の使用前・使用後の数量がわかる書類を提出すること。

(納品書・写真等で数量がわかるようにすること)

⑦シンナー等有機溶剤の保管管理

トルエン、酢酸エチル又はメタノールを含有するシンナー、接着剤、塗料及びシーリング材の保管は盗難防止に留意し、厳重に保管すること。

なお、盗難にあった場合は直ちに警察署へ被害届を提出し、市監督員に届出ること。

⑧ホルムアルデヒド放射量について

J I S等により放射量の区分規定がある材料（下地の材料共）を使用する場合は、F☆☆☆☆を使用すること。

⑨産業廃棄物の処理

建設廃材等の産業廃棄物が発生する時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和 45 年法律第 137 号）に基づき、適正に処理すること。

また建設廃棄物処理委託契約書及びマニフェスト票（A票及びD票、またはA票及びE票）の写し、処分した廃棄物の種類・廃棄量がわかるものを提出すること。

⑩建設発生土及び建設副産物

建設発生土及び建設副産物の搬出先は、積算参考条件として以下を設定している。

再生資源化等をする施設等の名称及び所在地

品 目	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等 諸条件	その他
発生土	(株) G & T	6.48km	加西市繁昌町 366-1		
Co 無筋 がれき	(株) 西畑土建	9.84km	小野市船木町 875-132		
As 殻	(株) 新生工業 加西工場	14.40 km	加西市鎮岩町 699-7		
木くず・樹木	(株) 宮下木材	13.4km	加東市新定 315		
廃プラスチック類	(株) 姫路環境 開発	37.7km	姫路市飾磨区中島宝来 3067-17		
ボード類					
混合廃棄物					
アスベスト含 有建材					

上記搬出先は、積算条件を明示しているものであり、受入施設を指定するものではない。請負者は県登録施設から搬出先施設を選定し、仕様書に基づき施工計画書に含め、市監督員へ提出すること。

運搬距離については、工事場所から各搬出先までの距離としている。なお、請負者の選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

上記に記載のない発生材及び建設副産物については、積算条件の明示を行わない。請負者において受入施設の選定を行うこと。

【留意事項】

- ①安全確保に万全を期し工事を施工すること。現場での作業は、午前 8 時から午後 6 時までとする。ただしやむを得ない事情で工事をする時は、市監督員の承諾を得ること。

②現場の監督員及び作業員は、作業中において必ず名札を着用すること。

7. 交通安全対策

①工事中は、周辺住民・施設利用者及び一般車両を優先し、通行に注意すること。

②必要に応じて、現場周辺に工事、安全対策の表示及び誘導看板を設置すること。

③監督員、作業員の車両及び工事用車両については、指定の位置に駐車し、無断で付近の道路や空き地に駐車しないよう注意すること。

8. その他

①工事範囲内の既存部分及び工事進入経路上の既設施設を破損しないように十分注意すること。また、破損の恐れがある部分については、必要な養生をすること。万が一、破損事故等が発生した場合は、速やかに市監督員及び学校に連絡し、指示に従うこと。

②施工期間中、学校敷地内で使用を許可された場所等の管理は、事業者の責任にて適正に行うこと。また、工事着手前に現況写真の撮影等を行い、工事完了時には現状復旧を行うこと。

③この工事は、加東市工事等の契約に係る労働環境の適正化に関する条例（平成 27 年条例第 26 号）に該当する。本工事全体を通じて、カーボンニュートラルの実現に向けた環境負荷の低減に十分配慮すること。本工事の際に使用する材料の選定や施工方法において、環境負荷を低減するための工夫に取り組むこと。

1 設計方針 (基本コンセプト)

○加東市がめざす小中一貫教育の推進ができる学校

- ・4 -3 -2 制に則した教室配置
- ・児童生徒の発達段階への対応
- ・日常的な異学年交流
- ・多様な学びの形態への対応
- ・教職員の業務を円滑にする

○地域とともに全ての世代間の交流ができる学校

- ・地域のシンボルとなり、誇りに思える施設
- ・地域交流ができる施設
- ・ふるさとの歴史・文化を大切にする

○安全・安心な環境を備えた学校

- ・児童生徒の活動が把握できる
- ・安全通行への配慮
- ・災害対応、避難所機能への配慮
- ・衛生管理への配慮
- ・ユニバーサルデザインの採用

○快適でゆとりのある学校

- ・豊富な掲示や展示等のできるゆとり
- ・明るさ、風通しの確保
- ・スムーズな移動

○脱炭素社会に貢献する持続可能な学校

- ・環境にやさしい施設
- ・木の温かみやぬくもり
- ・維持管理、修繕への配慮

2 配置計画

(1) 3つの道を軸としたマスタープラン

- ・児童生徒、地域、すべての人の活動や交流のつながりを生み出す**3つの道(動線)**を整備します。
- ・3つの道が交差することで、増築校舎と既存校舎の**一体性を創出し**、施設一体型小中一貫校のメリットを象徴する空間の骨格が生まれます。
- ・南北、東西に視線が通ること、敷地全体に人の目が届きやすい計画となります。

- ①「**集いの道**」:敷地を南北に貫く**中心軸**。この道を中心として既存施設や増築施設、広場が展開することで、**出会いや交流**が生まれ活動の輪が広がります。
- ②「**つながりの道**」:小学校グラウンドと中学校グラウンドを**一直線につなぐ東西軸**。様々な活動がお互いに見え、**興味や刺激の与え合い**を可能とします。
- ③「**地域の道**」:さんあいセンター、屋内運動場棟と中学校教室棟1階に設けた地域交流室の前を東西に一直線につなぎ、**地域開放時の交流軸**をつくり出します。

(2) 運用に配慮した校舎配置

- ・校舎は管理交流棟を中心として**コンパクトに各棟を集約し**、児童生徒の日常移動がスムーズにできる計画とします。
- ・グラウンドは小学校用と中学校用に分けることにより**体格差による事故を防止**する計画とします。
- ・子ども達の活動が**展開する3つの広場**を設け、学校全体に**1~9年生の活動の輪**が広がる計画とします。
- ・アフタースクールは敷地北西角に設け、**単独でも運用しやすい計画**とします。

(3) 明快なアプローチと安全な動線計画

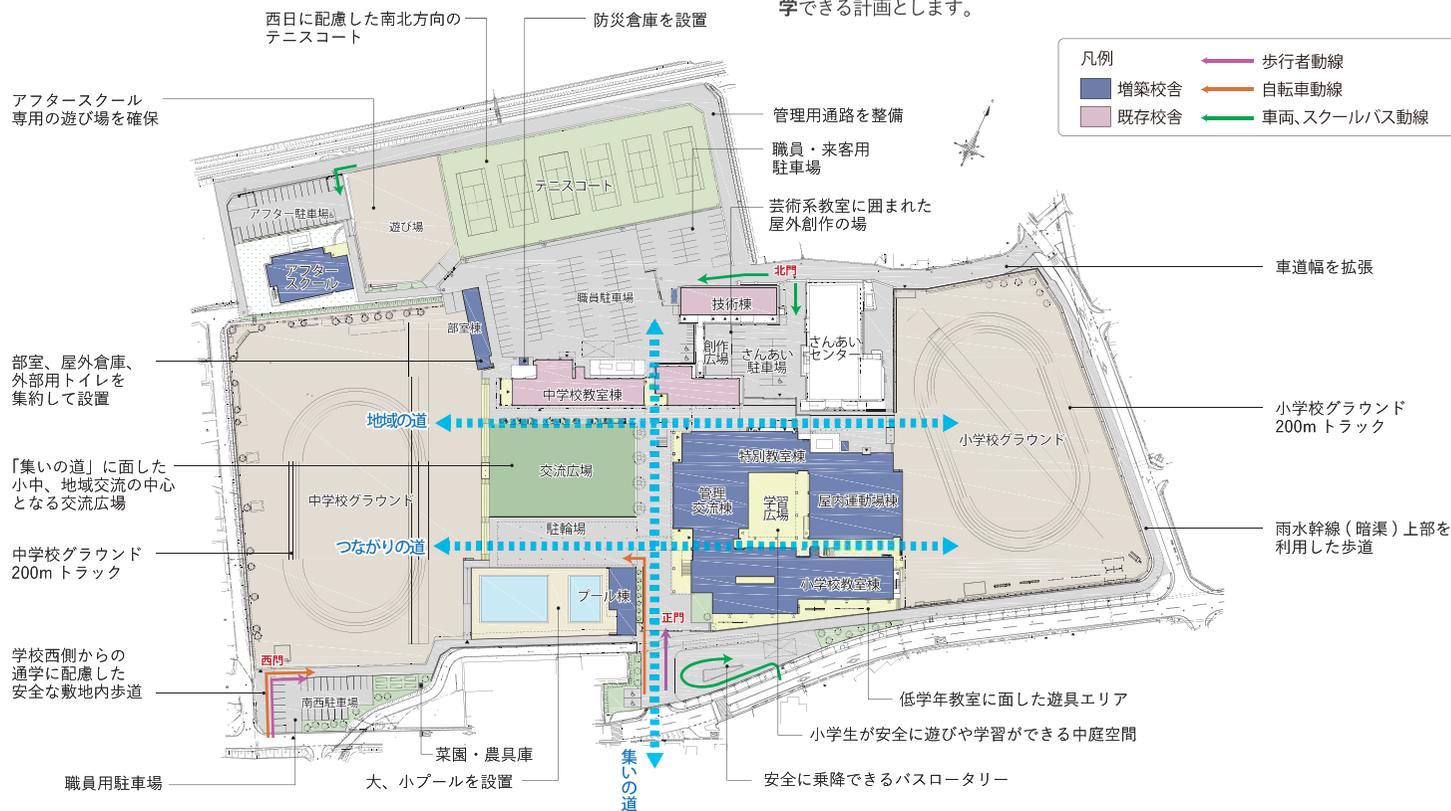
- ・「集いの道」から小学校教室棟、中学校教室棟、管理交流棟の各棟にアクセスできる**明快な動線計画**とします。
- ・車両進入は北側に集約し、敷地内の**歩車分離を明確**にします。
- ・正門周りの拡張、敷地外周の歩道、敷地内通路の整備により**児童生徒が安全に通学**できる計画とします。

【敷地概要】

建設地 : 兵庫県加東市下滝野761番ほか
 敷地面積 : 50,608.67㎡(小中一貫校)、4,220.64㎡(アフタースクール)
 区域の指定 : 市街化調整区域(現在)→市街化区域(R8年3月予定)
 用途地域 : 無指定(現在)
 →第1種中高層住居専用地域(R8年3月予定)
 防火地域 : 指定なし(法22条区域(R8年3月予定))
 建ぺい率 : 60%
 容積率 : 200%

【建物概要】

<小中一貫校>		<アフタースクール>	
施設用途	小学校、中学校	児童福祉施設	
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨、鉄骨鉄筋コンクリート造	鉄骨造	
規模	地上4階建て	地上2階建て	
建築面積	7,933.59㎡(付属棟含む)	519.19㎡	
延床面積	17,607.69㎡(付属棟含む)	984.31㎡	
建物高さ	23.211m	7.966m	



3 平面計画

(1) コンパクトで機能的、見通しの良い施設計画

- ・学習広場を中心とする回遊動線で各ゾーンがつながるコンパクトで機能的な平面計画とします。
- ・見通しを良くし、死角をつくらないことで、教職員の目が行き届きやすい計画とします。
- ・行き止まりがなく回遊性があるため、児童生徒の機能的な移動を促進し、活動が連続します。

(2) 共用部について

- ・1,2年生・3~6年生・7~9年生で昇降口を分けることで、小中学生の体格差や登下校時の混雑に配慮した安全な計画とします。
- ・トイレ、更衣室は各階の学年毎に分散して配置し、利用しやすい計画とします。
- ・3階に配置した多目的ホールは学年集会や異学年交流、各種発表など様々な交流、活動の場として利用します。

(3) 普通教室について

- ・普通教室は4・3・2制の学年ステージに沿った階別、棟別構成とします。
- ・1,2年生と3,4年生、5,6年生と7年生、8年生と9年生の学年毎のまとまりを持ちながら、小学生エリアと中学生エリアに分け、各ステージの中でも、ゆるやかに環境を変えた各年代に適した学習環境を整えます。
- ・中学校教室棟3階に7年生を配置することで、5,6年生とのつながりを持ちながらも中学生エリアにも属する計画とします。

(4) 特別支援教室について

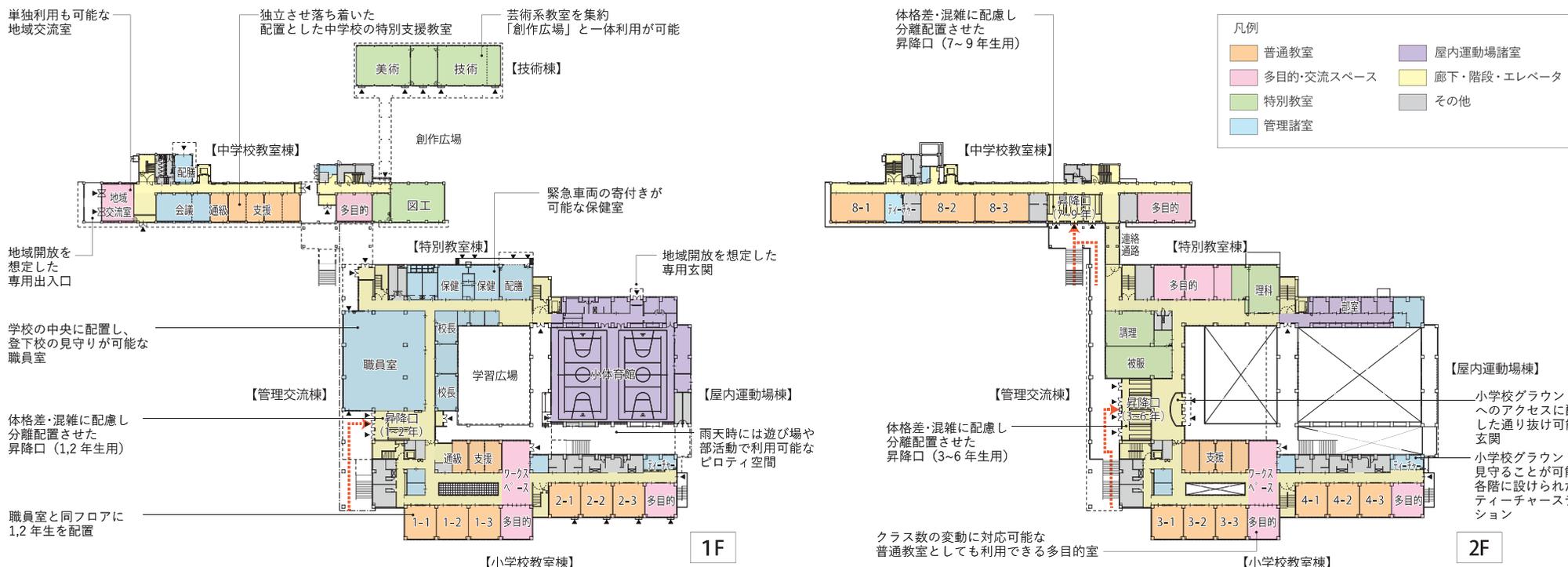
- ・1~6年生の特別支援教室は学習広場に面した北側の落ち着いた環境に配置し、インクルーシブ教育にも配慮しつつ支援エリアを形成します。
- ・7~9年生が利用する特別支援教室は中学校教室棟の1階に集約し、専用の出入口を設けることで、通級も行いやすい計画とします。
- ・特別支援教室はトイレやエレベーターからアクセスの良い位置とします。

(5) 特別教室について

- ・特別教室は小中それぞれの普通教室からアクセスしやすい、校舎中央に配置する計画とします。
- ・図書室は新旧校舎をつなぐ管理交流棟に配置し、どの学年からも使いやすい位置とすることで異学年交流を促進します。

(6) 管理部門について

- ・職員室は正門周りやグラウンド、1,2年生の普通教室に近い管理交流棟1階に設ける計画とします。
- ・既存、増築校舎ともにティーチャーステーションを設けることで児童生徒の見守りを可能とします。また、教室に近い位置で作業ができるため教職員の負担を軽減させます。
- ・小中それぞれに保健室を設け、相談室を近接配置することで、独立した心と身体のケアゾーンを形成します。保健室は緊急車両の寄り付きが可能な配置計画とします。



3 平面計画

(7) 屋内運動場棟について

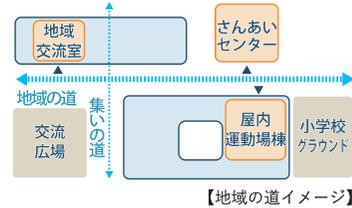
- ・小アリーナを1階、大アリーナを3階に配置する計画とします。
- ・地域開放に配慮し、「地域の道」に面してアリーナ専用の玄関を設ける計画とします。
- ・休日や夜間などの屋内運動場棟のみの利用を想定し、学校エリアとの間に管理扉を設け、**単独運用可能な計画**とします。

(8) プール・部室棟について

- ・プール棟は敷地南側に設けることで、**日当たりに配慮**します。
- ・近隣住宅が接近しているため、プール外周は目隠し壁、住宅側に防音壁を設ける計画とします。
- ・部室棟は中学校グラウンド、テニスコート、校舎から**利用しやすい中学校グラウンド北東角**に設ける計画とします。

(9) 地域開放について

- ・屋内運動場棟、中学校教室棟1階の地域交流室を**地域開放可能な計画**とします。
- ・「地域の道」に面して地域利用が想定されるさんあいセンター、屋内運動場棟、地域交流室の出入口を集約し、**地域活動を行いやすい地域軸**を形成します。
- ・地域交流室は学校施設とは**セキュリティを明確に分離**し、単独利用も可能な計画とします。
- ・交流広場に地域交流室を面することで、広場を活用した様々なイベントに対応が可能となり、**地域活性化に向けたコミュニティの場**としての利用を目指します。



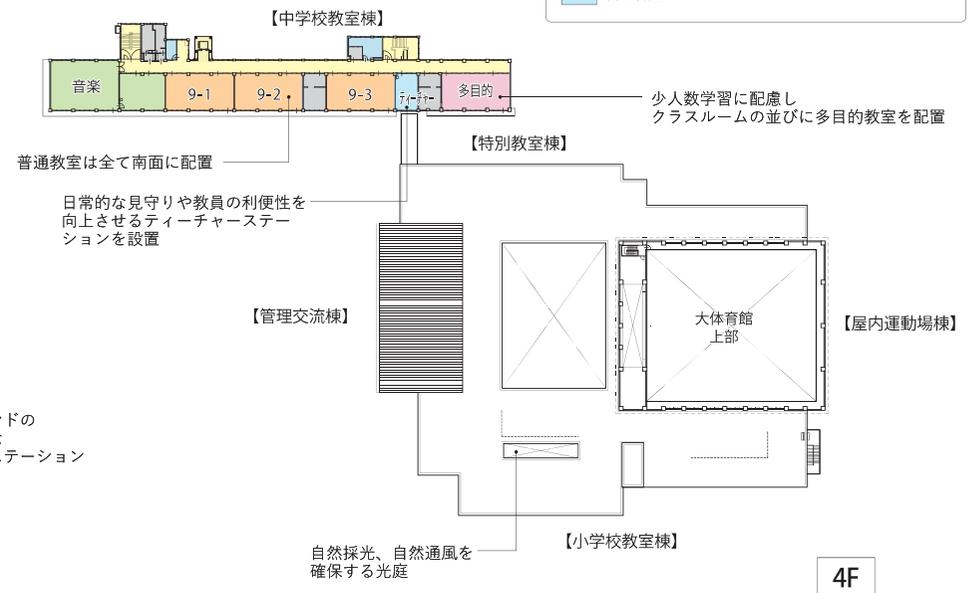
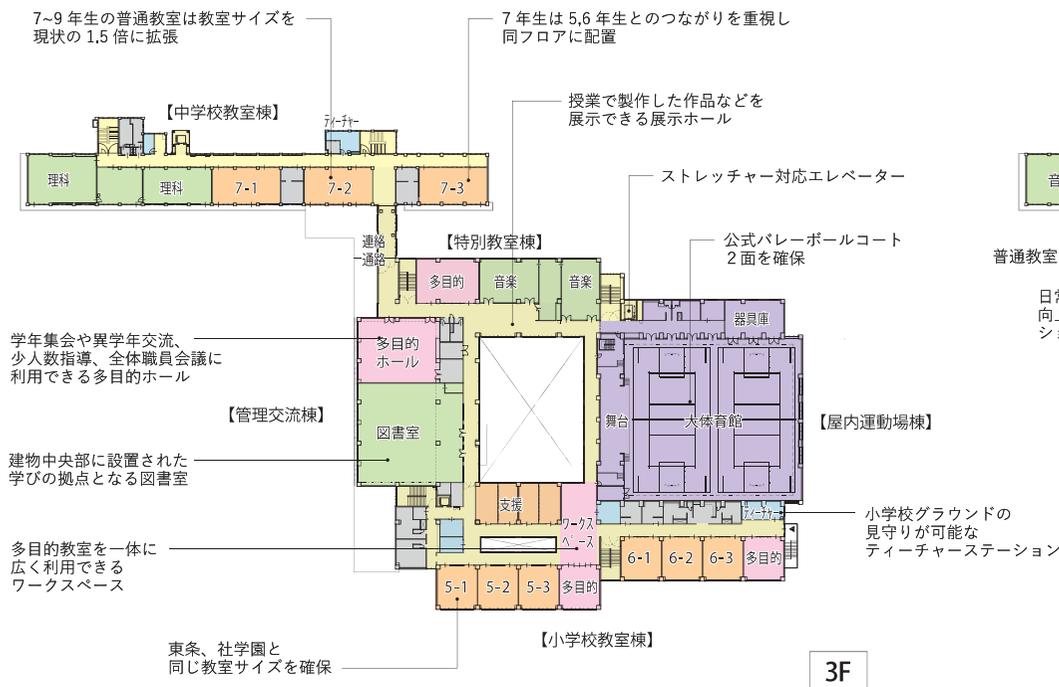
4 児童生徒が健やかに学習、生活できる環境づくり

(1) 学習、生活環境

- ・展示ホールや廊下に掲示壁を設けることで、児童生徒が**刺激し合い、活動や交流の発信を促進**できる計画とします。
- ・児童生徒が**様々な活動を展開**できるように、雨の日も遊べる屋根のある空間（ピロティ）を設けます。

(2) みんなにやさしく、使いやすい学校

- ・児童生徒や教職員だけではなく、地域の活動の場であることを考慮し、子どもから高齢者、障がいの有無に関わりなく**誰もが使いやすいユニバーサルデザインに配慮**した施設とします。
- ・1～9年生まで体格差の異なる児童生徒が利用する施設として**各成長段階に合わせた空間の作り方**に配慮した計画とします。



5 防災計画

(1) 防災・減災への対応

- ・校舎は**耐震構造**として、震災に備えます。
- ・水害による浸水を考慮し、敷地外から正門までの間で**地盤レベルを1.5m上げる**計画とします。また、**2階レベルを前面道路+5m以上の高さ**に設定します。
- ・構造体だけでなく、耐震金物による天井地下の落下防止や設備機器類の脱落防止や耐震支持、ガラスの飛散防止、棚類の壁面固定など、建築二次部材、設備機器、家具什器類の耐震安全性を確保します。

(2) 避難所としての機能

- ・日常の安全性・利便性に加え、災害発生時には学校の機能を利用して、速やかに**避難所に転換できる施設計画**とします。
- ・避難スペースとなる屋内運動場棟は隣接するさんあいセンターやグラウンドと連携しやすい配置計画とします。
- ・大アリーナ（避難所）は3階、キュービクルは屋上に設置します。

6 環境配慮計画

(1) 滝野の自然を生かした環境整備

- ・加古川に沿って流れる風をつかむ建物配置、窓の位置とし、春、夏、秋に自然の風を取り入れ、建物を涼しくし、**快適な教育環境**とします。
- ・普通教室は**全て南向き教室**とし、明るく暖かく風通しの良い学習環境をつくります。
- ・増築校舎中央の学習広場や光庭を設けることで**安定した光環境の確保と自然通風を促進**します。

(2) 省エネルギー技術の採用

- ・床、外壁、屋上は断熱材を適切に施し、窓は複層ガラスとして**建物全体の高断熱化**を図ります。
- ・防汚性、耐久性の高い内外装仕上を選定し、**維持管理のしやすさに配慮**します。
- ・LED照明の全面採用や人感センサー設置、トイレなどに節水型器具を採用し、**省エネ化**を図ります。

7 外観、内観計画

(1) 外観計画

- ・増築校舎外観は**加古川の流れをイメージした水平基調の伸びやかな構成**とし、既存校舎バルコニーの水平ラインと調和を図ります。
- ・増築校舎は3階建てとし、建物の平面や壁面形状の工夫により**圧迫感を低減させ、まちなみに合わせたスケール**とします。
- ・外壁は落ち着いた色彩計画とすることで、**周囲の山並みやまちなみとの調和**を図ります。

(2) 内観計画

- ・手や目に触れやすい箇所などに効果的に木を使い、木の温かみに包まれた**落ち着きと安らぎのある空間づくり**を行います。
- ・ゾーニングに合わせたエリアカラーデザインや、サイン等も含め、**成長段階に合わせた空間設計**を行うことで、**9年間の長い学校生活に変化を与える計画**とします。



外観イメージ

- 左上：交流広場から見た増築校舎
- 右上：正門付近から見た増築校舎
- 左下：南側からの鳥瞰イメージ
- 右下：南東側からの鳥瞰イメージ

8 工程計画

・滝野中学校周囲の造成工事後、増築校舎新設工事を行います。増築校舎完成後、長寿命化改修工事、アフタースクール新設工事を行います。



9 工程図

